

令和3年度

上田市社会福祉協議会事業報告

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

社会福祉法人 上田市社会福祉協議会



- 目次 -

令和3年度 総括 . . . . . 1～2

No.	事業名	ページ
1	組織図	3
2	職員構成	4
3	法人運営	5～14
4	善意銀行	15～28
5	企画・広報	29
6	希望の旅事業	30
7	上田市ファミリー・サポート・センター事業	30～32
8	福祉推進事業	32～37
9	点字・声の広報発行事業	38
10	日常生活自立支援事業	38～40
11	地域ふれあい事業	41～43
12	上小圏域成年後見支援センター事業	43～51
13	“まいさぼ上田”上田市生活就労支援センター事業	51～53
14	有償在宅福祉サービス事業	54～58
15	心配ごと相談事業	58～60
16	結婚相談事業	60～61
17	たすけあい資金貸付事業	62～65
18	ボランティア地域活動センター事業	66～76
19	地域子育て支援拠点事業	76～78
20	上田市高齢者福祉センター管理事業	78～80
21	上田市丸子老人福祉センター設置管理事業	80～81
22	上田市真田老人福祉センター管理事業	81～82
23	真田ふれあいバス運行事業	82～83
24	上田市ふれあい福祉センター管理事業	84
25	上田市真田総合福祉センター管理事業	85～86
26	上市長瀬市民センター管理事業	86
27	共同募金配分金事業	87～95
28	地域包括支援センター事業	95～106
29	通所介護事業	106～110
30	居宅介護支援事業	110～114
31	児童館・児童センター事業	115～123
32	その他の事業	124～128

## 令和3年度 総括

令和元年12月に初めて報告された新型コロナウイルス感染症は、収束の兆しが見られず、世界的な感染が拡大している状況です。これまでも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、地域におけるサロン活動や敬老会等の福祉活動の制限、さまざまな行事等の縮小開催や中止など、余儀なくされてきました。

また、新型コロナウイルス変異株の発生や、国際紛争など、経済活動や生活環境への影響も大きく、地域における課題もますます複雑多様化してきました。

しかし、コロナ禍であっても、例年とは違った新たな方法で、少しずつ地域福祉活動が再開され、地域のつながりへの支援活動も取り組まれてきました。

上田市社会福祉協議会においても、事業計画に掲げた6つの重点目標を念頭に、あらゆる世代や分野を越えて、持続可能な事業展開を図り、事業実施に取り組んでまいりました。

社協主催のイベントや会議等については、ICTを有効的に活用し、可能な限り中止することなく、感染予防対策を徹底し実施できるよう工夫してきました。

また、社会情勢の変化を考慮し、地域の福祉ニーズに耳を傾け、行政や福祉団体・施設、民間企業と協働・連携を図り、生活困窮者を対象とした食糧支援の事業を展開してまいりました。

令和2年度に引き続き、大変厳しい社会情勢ではありましたが、「あったかい 心あふれる協働のまち」を行動指針に「笑顔 花咲く 上田市社協」を目指し、住民の皆様が誰もが安心して暮らせる社会を目指して、事業を実施してまいりました。

### ○ 令和3年度重点施策の実施状況

#### 1 「生活困窮者等への重層的な支援の推進」

新型コロナウイルス感染症の影響から、失業や休業等による生活困窮者への経済的支援として実施されている、「緊急小口資金」、「総合支援資金」、「住居確保給付金」の特例貸付期間が延長され、令和2年度に引き続き、相談者の対応をしました。

また、フードドライブ事業の実施により、ご家庭で使いきれない多くの食品を、市民の皆さんに持ち寄っていただき、コロナ禍でアルバイト収入が減少した学生や、生活困窮者世帯へ配布会を開催し配布をしました。

新規事業では、食品ロス削減事業として、ひとり親世帯の方々に食糧をお渡しする「もぐもぐサポーター（通称「もぐサポ」）」の事業を開始し、ひとり親世帯の支援を行いました。

#### 2 「住民参加と協働による持続可能な地域福祉活動の推進」

地区社協住民会議では、感染予防対策や、コロナ禍の地域福祉のあり方など、住民が主体となり、地域福祉推進に向け理解を深めるための講演会等を開催しました。

住民支え合いマップについては、近年災害が増加したことに伴い、更新作業を行う自治会、未完成だったマップを完成させる自治会が増加しました。要援護者に対する避難誘導の意識が高まり、自治会での支援活動の一環として取り組まれました。

#### 3 「ボランティア地域活動センターの充実とボランティア活動及び福祉教育の推進」

施設訪問などのボランティア活動が制限されていたため始まった自宅での切手整理活動や、手紙・手作り作品等を福祉施設へ届ける「おうちでボランティア」の取組を継続的に実施し、ボランティアの推進を図りました。

また、感染予防対策を徹底して各種ボランティア講座を開催し、新たなボランティアの育成に取り組みました。

福祉教育の推進としては、障がい者への理解を深めることを目的に、ユニバーサルスポーツ体験（ボッチャ、モルック）を取り入れ、小・中学校や高等学校で実施しました。

#### 4 「介護保険事業の経営改善と包括的な支援の推進」

居宅支援事業では、支援困難ケースや、利用者及び家族の病気や不調の際の調整など、担当者一人のみの対応ではなく、職員間で情報共有を図り対応しました。

また、現状把握のためアンケートを行い、アンケートの結果を踏まえサービスの向上を図りました。

デイサービスセンター事業では、介護ボランティアの受入れが困難な状況の中、新たなレクリエーションの企画に取り組み、感染予防対策を徹底し、利用者が安心して楽しい雰囲気でご過ごせるよう取り組みました。

#### 5 「地域で安心して生活できる環境づくりのための子育て支援事業の推進」

児童館・児童センターは、共働き世帯の増加に伴い、児童の放課後等の居場所としての必要性が高まり、児童の登録者数も増加傾向にありました。引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、低学年を優先とした来館や、事前連絡をいただき来館していただくなど、保護者の理解と協力を得ながら、安全を確保し開館をしました。

子育てひろばでは、コロナ禍のため休止となった際にも、電話での相談に応じ、子育ての不安を和らげました。

また、上田市ファミリー・サポート・センターでは、日常的な子育ての支援を行うだけでなく、出張登録や交流会を開催し、地域や家庭で安心して子育てができるよう支援を行いました。

子ども服リユース事業「ふくふくひろば」においては、児童館・児童センターや、子ども服リユース活動を行う団体とも連携を図り、広く周知し、大変多くの方に利用いただきました。

#### 6 「社協運営の基盤強化の推進」

地震などの災害時や感染症拡大の中でも切れ目のない支援を行うために、自然災害及び感染症に対応したBCP（業務継続計画）を作成しました。

また、市民のサービスの向上と事業の効率的・効果的な実施を図るため、各種書類の押印について見直し、不要な押印について廃止を行いました。

令和3年度から、職場環境について協議を行う職員衛生委員会を立ち上げ、ストレスチェックや各職場の巡視等を実施し、職場環境の改善を図りました。

職員研修においては、ICT（情報通信技術）を活用したオンラインでの研修を実施し、感染症拡大防止を図るとともに職場間の移動効率化が図れ、多くの職員が参加し資質の向上を図ることができました。

#### 7 その他

令和3年度については、新たに「フードドライブ事業（P28 参照）」を開始いたしました。

近年増加している個別相談に対して、総合的な相談支援を行うために、担当窓口の配置異動を行い、相談者に配慮した相談スペースも増設しました。

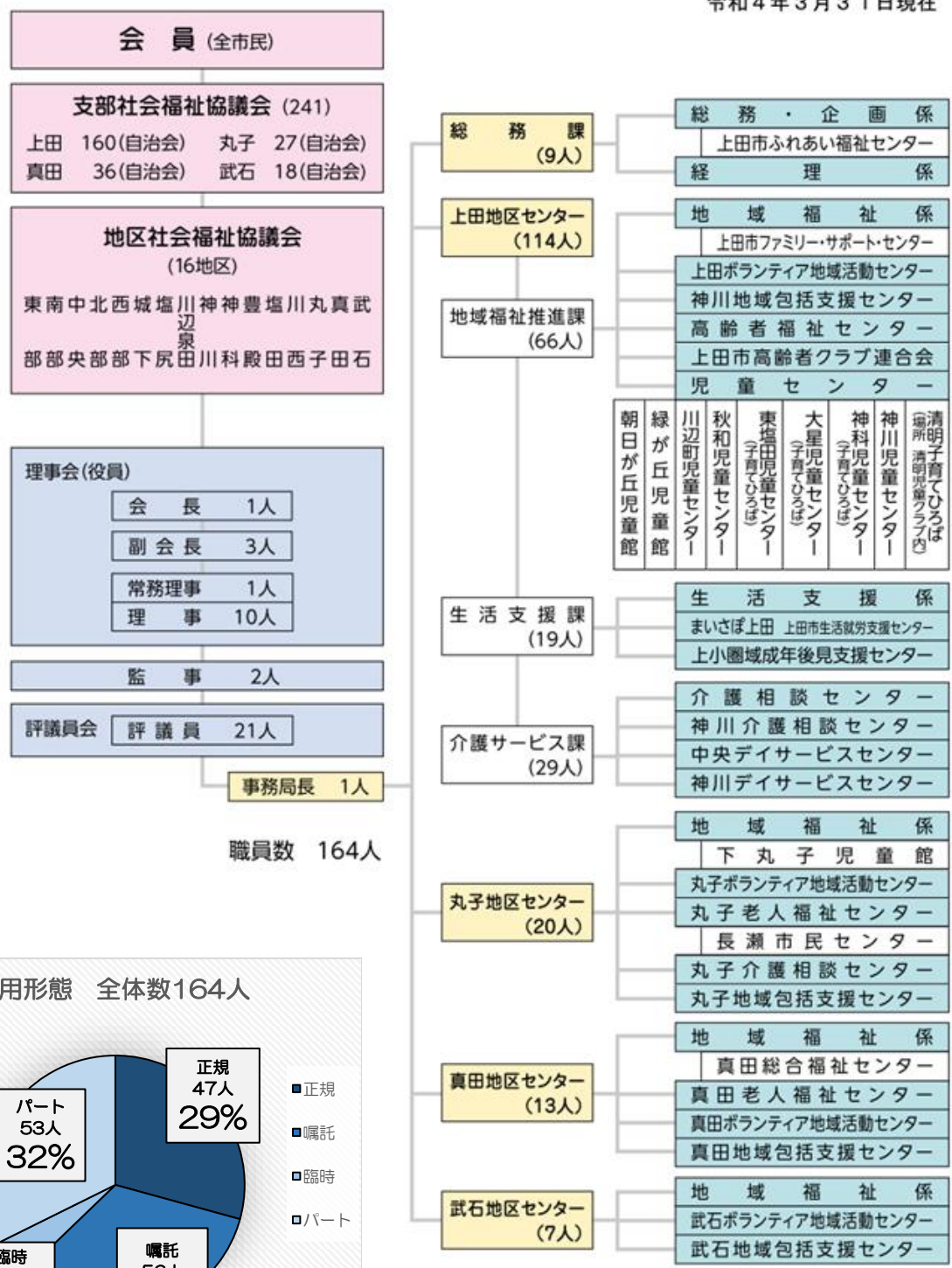
また、新型コロナウイルス感染症拡大の中、各種事業が途切れることなく継続的に実施し、その時々ニーズに合った事業を展開できるように努めてまいりました。

今後も、大きな社会情勢の変化により生まれるニーズを汲み取り、迅速に対応できるよう事業成果及び実施過程の課題を検証し、誰もが笑顔であふれる上田市になるよう取り組んでまいります。

# 1 組織図

## 上田市社会福祉協議会組織図

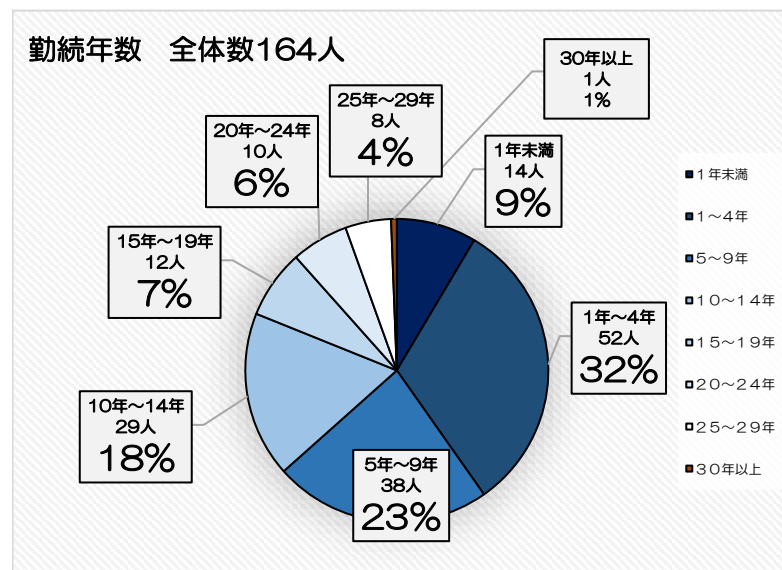
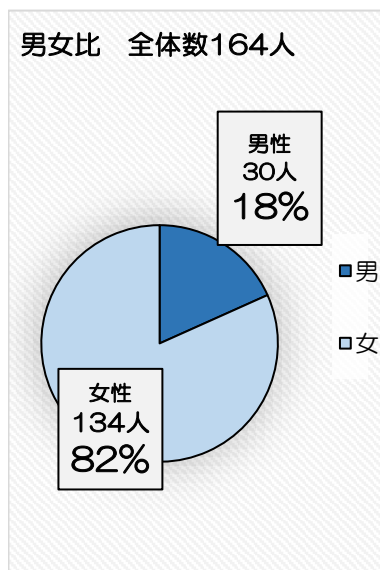
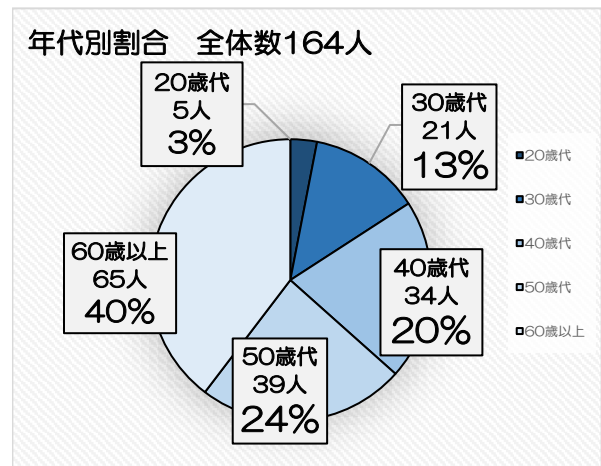
令和4年3月31日現在



## 2 職員構成 (令和4年3月31日現在)

平均年齢(単位:歳)

	平均年齢
全職員	51.7
正規職員	42.9
非正規職員	56.5



有資格者数(単位:人)

資格種類	人数
社会福祉士	37
精神保健福祉士	8
介護福祉士	32
主任介護支援専門員・介護支援専門員	36
保健師・看護師	8
保育士	35
幼稚園教諭	32
小学校、中学校、高等学校教諭	26

### 3 法人運営

【令和3年度事業費】 197,499千円

#### 法人運営

事業実績		
(1) 理事会・評議員会		
理事会	第67回理事会 4月20日(火)	<b>【議案内容】</b> ・交代に伴う理事の推薦について ・役員等賠償保険契約について ・第41回評議員会の開催について ※ 上記の議案について、書面による決議で行った。
	第68回理事会 6月8日(火)	<b>【議案内容】</b> ・令和2年度事業報告及び社会福祉事業決算について ・令和3年度社会福祉事業第1次補正予算(案)について ・任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦について ・任期満了に伴う評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員の選任について ・第42回評議員会の開催について
	第69回理事会 6月24日(木)	<b>【議案内容】</b> ・正副会長及び常務理事の選定について ・顧問の委嘱について
	第70回理事会 7月21日(水)	<b>【議案内容】</b> ・評議員選出団体の役員改選に伴う評議員候補者の推薦について ※ 上記の議案について、書面による決議で行った。
	第71回理事会 10月6日(水)	<b>【議案内容】</b> ・社会福祉事業第2次補正予算(案)について
	第72回理事会 3月18日(金)	<b>【議案内容】</b> ・令和3年度社会福祉事業第3次補正予算(案)について ・令和4年度事業計画及び資金収支予算(案)について ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について ・上田市社協の押印見直しに伴う諸規程の一部改正について ・役員等賠償保険契約について ・第43回評議員会の開催について

評議員会	第 41 回評議員会 5 月 13 日(木)	【議案内容】 ・理事 1 名の選任について ※ 上記の議案について、書面による決議で行った。
	第 42 回評議員会 6 月 23 日(水)	【議案内容】 ・令和 2 年度事業報告及び社会福祉事業決算について ・令和 3 年度社会福祉事業第 1 次補正予算(案)について ・任期満了に伴う理事・監事の選任について
	第 43 回評議員会 3 月 25 日(金)	【議案内容】 ・令和 3 年度社会福祉事業第 2 次補正予算及び第 3 次補正 予算(案)について ・令和 4 年度事業計画及び資金収支予算(案)について ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正につ いて

(2) 会長業務執行状況

月 日	内 容
4 月 1 日	辞令交付式
3 日	長野大学大学院総合福祉研究科開設式・記念講演会
7 日	第 240 回課長会議(オンライン会議) 結婚相談員委嘱式 上田市社会福祉協議会職員表彰式 丸山顧問打ち合わせ
8 日	寄附贈呈式(かがやき 21)
9 日	日常生活自立支援事業支援員委嘱書伝達式
13 日	社協うえだ広報委員委嘱式
15 日	上田市高齢者学園入学式 丸子地域高齢者クラブ連合会総会 ※コロナ禍のため中止
16 日	東部地区社会福祉協議会総会 ※コロナ禍のため中止
17 日	上田市新本庁舎竣工式
18 日	豊殿地区社会福祉協議会総会
20 日	第 1 回上田市社協職員衛生委員会
22 日	令和 3 年度上田市遺族会役員総会
24 日	令和 3 年度小河滋次郎博士顕彰会定期総会 ※コロナ禍のため中止
26 日	西部地区社会福祉協議会総会
27 日	南部地区社会福祉協議会総会
5 月 11 日	職員採用面接試験
12 日	第 241 回課長会議(オンライン会議)
14 日	社会福祉法人別所清明会長寿園監査
17 日	上田市内 3 ライオンズクラブ 災害協定調印式



5月	18日	地区社協正副会長会
	21日	社会福祉法人別所清明会長寿園理事会
		上田市子ども会育成連絡協議会総会 ※コロナ禍のため中止
	23日	神科地区社会福祉協議会総会
	24日	社会福祉法人別所清明会長寿園評議員選任・解任委員会
	28日	令和2年度上田市社会福祉協議会事業監査
	31日	辞令交付式
6月	1日	辞令交付式 福祉推進委員連絡協議会地区会長会
	2日	第57回正副会長会 広報社協うえだ検討会議
	3日	上田地区共同募金委員会運営委員会 社会福祉法人別所清明会長寿園評議員会
	4日	福寿クラブ連合会第37回定期大会 ※コロナ禍のため中止
	5日	信州国際音楽村開村34周年記念「信州ルネッサンス2021」 ※コロナ禍のため中止
	8日	第68回理事会
	10日	第242回課長会議(オンライン会議)
	11日	社会福祉法人別所清明会長寿園新理事会
	14日	上田市社協4地域包括支援センター 生活支援コーディネーター打ち合わせ会議
	15日	(一財)上田市地域振興事業団評議員選定委員会
	16日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	17日	評議員選任解任委員会
	23日	第42回評議員会
	24日	第69回理事会
	25日	令和3年度長野県共同募金会上田市共同募金委員会 丸山顧問打ち合わせ
	28日	社会福祉法人別所清明会長寿園新役員等体制発足に伴う役員等懇談会
	30日	東御市社会福祉協議会新旧会長来訪
7月	6日	上田市特殊詐欺被害防止連絡協議会
	7日	第243回課長会議(オンライン会議)
	13日	苦情解決第三者委員会
	21日	福祉推進委員全体研修会
	27日	評議員選任解任委員会
	28日	評議員委嘱式
	30日	「小さな親切」運動上田支部理事会
8月	3日	社会福祉法人別所清明会長寿園理事会

	6日	社会福祉法人のどか理事長等懇談
8月	10日	第244回課長会議(オンライン会議)
	12日	寄附贈呈式(上田市聴覚障害者協会)
9月	1日	社会福祉法人別所清明会長寿園佐藤職員来訪
	3日	豊殿まちづくり協議会中村会長来訪
	7日	第245回課長会議(オンライン会議)
	15日	長野県社会福祉協議会「社会福祉協議会トップセミナー」(オンライン開催)
	22日	南部地区社会福祉協議会住民会議
	23日	上田青年会議所認承六十周年記念式典及び記念講演会
	24日	成澤税理士来訪
	29日	神川デイサービスセンター敬老会
10月	6日	第71回理事会
		第246回課長会議(オンライン会議)
	8日	塩尻地区社会福祉協議会住民会議
	9日	第43回うえだ市民ふれあい広場 ※コロナ禍のため中止
	16日	地域まめったいサミット in 豊殿
	22日	第15回上田市社会福祉大会打ち合わせ
		西部地区社会福祉協議会住民会議
	25日	上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会
	26日	社会福祉法人別所清明会長寿園臨時理事会
	27日	長野市視察(長沼地区・フードバンク信州)
	29日	第15回上田市社会福祉大会
11月	3日	信州ふっころフェスティバル2021(オンライン開催)
	4日	上田市人権尊重のまちづくり審議会
	6日	真田地区社会福祉協議会住民会議
	9日	第247回課長会議(オンライン会議)
	10日	寄附贈呈式(信越郵便局長協会)
		社会福祉法人別所清明会長寿園評議員会
	11日	塩田地区社会福祉協議会住民会議
	12日	令和3年度上田市功労者表彰式
	13日	武石地区社会福祉協議会住民会議
	16日	丸子地区社会福祉協議会住民会議
	17日	城下地区社会福祉協議会研修会
	19日	上田市役所防災システム視察
	25日	令和3年度上田市戦没者追悼式・第64回上田市戦没者遺族大会
		東部地区社会福祉協議会住民会議
	28日	北部地区まちづくり協議会設立総会

		北部地区社会福祉協議会住民会議
12月	2日	令和3年度中間決算報告
	4日	災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練
	6日	寄附贈呈式(長野県理容生活衛生同業組合)
	8日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	10日	第248回課長会議(オンライン会議)
		社会福祉法人別所清明会長寿園来訪
	13日	令和2年度決算報告及び令和3年度中間決算報告会
	14日	福祉推進委員連絡協議会地区会長会
	17日	寄附贈呈式(小さな親切運動)
	19日	丸子ライオンズクラブ0円スーパー「0円食堂」参加
	24日	日置電機寄附者対応
	27日	寄附贈呈式(上田西ロータリークラブ)
1月	4日	仕事始めの式
		新年あいさつ回り
	6日	上田商工会議所賀詞交換会
	7日	年始来訪者対応
	13日	第249回課長会議(オンライン会議)
	26日	神科地区社会福祉協議会役員来訪
2月	9日	第250回課長会議(オンライン会議)
3月	4日	上小ブロック社会福祉協議会役職員研修会 ※コロナ禍のため中止
	8日	第251回課長会議(オンライン会議)
		上田ライオンズクラブ例会(車いす贈呈)
	10日	上田市高齢者学園卒業式
	11日	第58回正副会長会
	16日	地域福祉推進フォーラム ※コロナ禍のため中止
	17日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	18日	第72回理事会
	24日	長野県社会福祉協議会第143回評議員会(書面決議)
	25日	第43回評議員会
	31日	退職職員辞令交付式

※ その他内部用務

事業運営指導、渉外業務、事務処理 等

(3) 表彰審査委員会

9月1日(水) 第15回上田市社会福祉協議会 表彰審査委員会  
書面による決議で行った。

- (4) 苦情解決第三者委員会  
 7月13日(火) 上田市ふれあい福祉センター  
 令和2年度苦情状況：苦情件数 10件 ヒヤリハット 49件
- (5) ブロック会議  
 7月21日(水) 上小ブロック社協連絡会議
- (6) 福祉人材の育成  
 長野大学 社会福祉士実習生受入れ 4人  
 信州上田医療センター附属看護学校 看護師実習生受入れ 10人  
 上田看護専門学校 13人  
 長野県社会福祉協議会 小中学校教員免許志願者に対する介護等体験 5人  
 長野県社会福祉協議会 長野県介護支援専門員実務研修実習 1人  
 信州大学医学部 1人  
 信州スポーツ医療福祉専門学校 1人

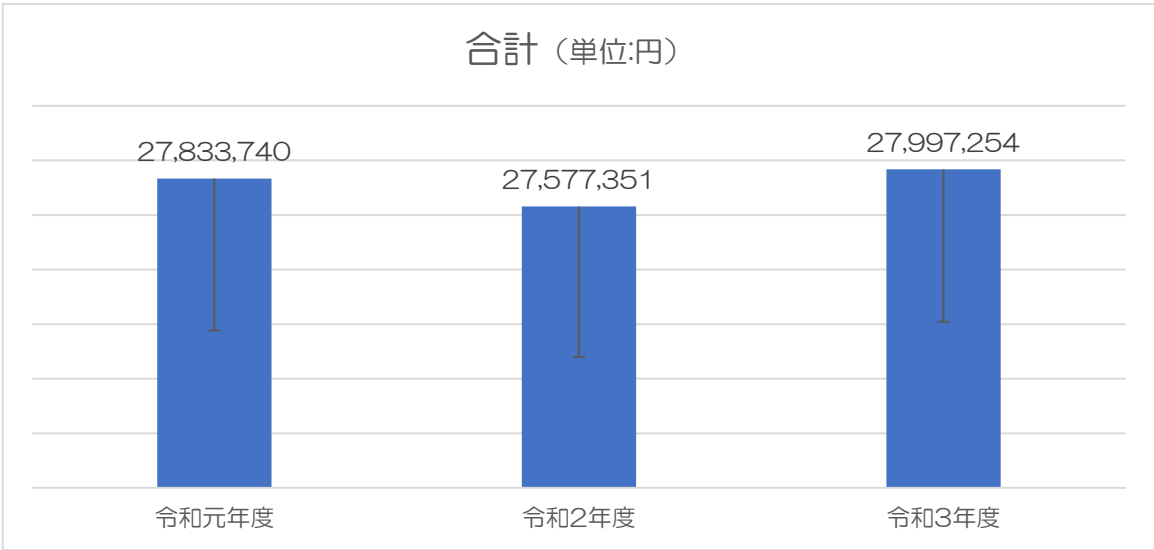
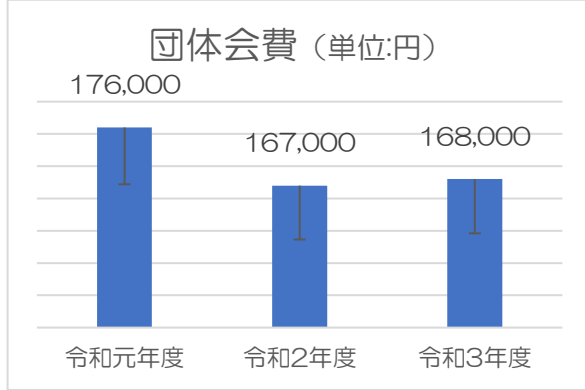
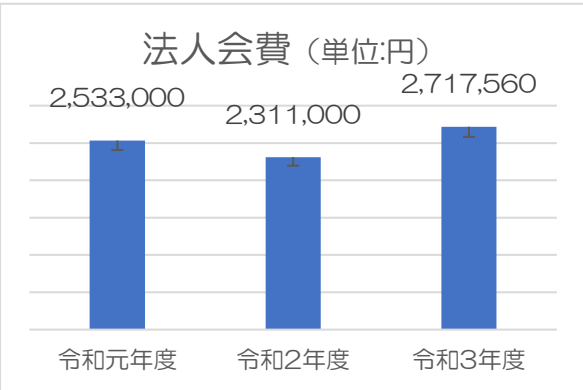
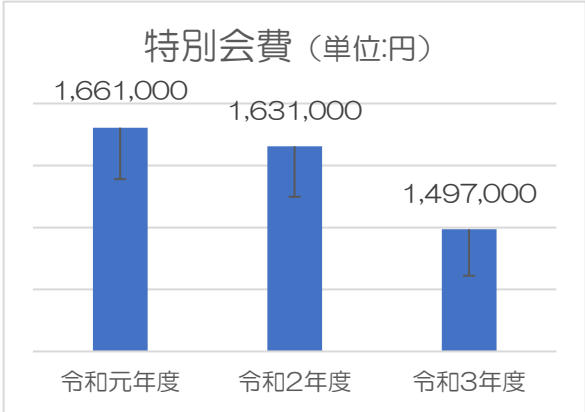
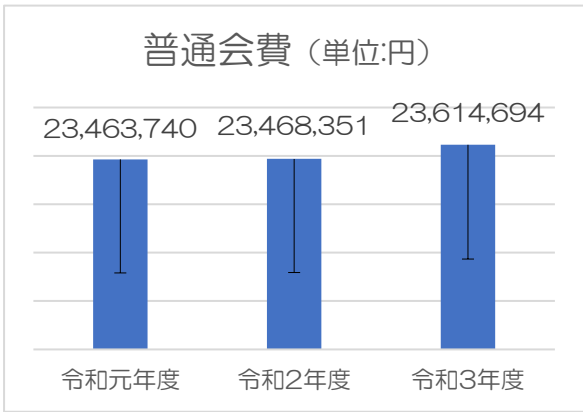
## 社協会費

### 【事業概要】

社協の会員会費制度は、市民一人ひとりが福祉に関心を持ち、積極的に地域の福祉活動に参加していただくことを目的としている。

会員になることが、福祉活動に参加することと同じ意味を持っており、財政面だけでなく、地域福祉を支える大きな力になる。地域福祉の主役である市民と、それを推進する社協が一体となり、福祉のまちづくりを行うために欠かせない仕組みとして、会員会費制を取り入れている。

事業実績			
(1) 社協会費納入実績・推移 (単位：円)			
	令和元年度 (令和2年3月31日現在)	令和2年度 (令和3年3月31日現在)	令和3年度 (令和4年3月31日現在)
普通会費	23,463,740	23,468,351	23,614,694
特別会費	1,661,000	1,631,000	1,497,000
法人会費	2,533,000	2,311,000	2,717,560
団体会費	176,000	167,000	168,000
	27,833,740	27,577,351	27,997,254



**評価・課題**

コロナ禍に伴う大きな影響はみられていない。  
 普通会費、法人会費、団体会費については、予算を超えて納入いただいたが、特別会費については、予算より減額になった。全体の納入額について、経年推移をみると大きな変動はなく、一定の水準は保っている。ただ、この水準を維持していくことは難しいと考えられるため、今後は社協が行っているさまざまな事業を紹介する機会を設け、広く周知をしていくように努めていく。

## 社会福祉大会

### 【事業概要】

市内の社会福祉功労者や優良団体の表彰とその時代の福祉課題に対する講演会等を開催し、市内の自治会長や民生委員・児童委員、福祉推進委員や市民などが参加されている。コロナ禍のため、過去2年間は、表彰式のみで開催となっている。

事業実績	
<p>(1) 上田市社会福祉大会 ※ コロナ禍のため、縮小開催で実施            10月29日(金) サントミュージゼ小ホール 参加者 約50人</p> <p>ア 内容</p> <p>(ア) 記念撮影</p> <p>(イ) 式典 … 表彰者 19人、4団体            感謝状 2人</p> <p>(ウ) 記念演奏会            U演奏家協会 ハープ 竹内 遥香 氏</p>	<p>(2) 長野県社会福祉大会 ※ 信州ふっころフェスティバル2021と併催            11月13日(火) オンライン開催</p> <p>ア 内容</p> <p>(ア) 「地域共生」スペシャルトーク、ケアコンテスト2021、表彰 等</p> <p>(イ) 表彰者(上田市のみ)</p> <p>○長野県社会福祉協議会会長表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員功労表彰：上野和利、大久保文雄、北沢武、倉沢仁子、小宮山好豊、佐藤暁、田玉美代子、永田京子、樋村正弘、山口三千夫、山本進</li> <li>・ボランティア団体表彰：傾聴ボランティア7の会</li> <li>・優良社会福祉事業表彰：豊殿地区社会福祉協議会</li> <li>・感謝：黒木卓子</li> </ul>
評価・課題	
<p>コロナ禍のため、式典と記念演奏会、記念撮影の縮小開催で行った。</p> <p>課題としては、コロナ禍での開催方法について検討する必要がある。</p> <p>また、さまざま団体へ表彰について周知を行い、より多くの推薦者の情報を提供していただくよう対応していく。</p>	

## 人材育成

### 【事業概要】

専門性を高めるとともに視野を広げ、スキルアップを図るための研修会への積極的な参加を進めている。

事業実績	
(1) 新規採用職員研修	<p>講師：笠原総務課長、滝澤総務課長補佐</p> <p>日時：4月1日(木) 午前9時30分～午前10時30分</p> <p>会場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室</p> <p>参加人数：新規採用職員 合計10人</p>
(2) 手話研修	<p>講師：上田市聴覚障害者協会 牧内 智子氏</p> <p>【第1回】</p> <p>日時：12月6日(月) 午後1時30分～午後3時</p> <p>会場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室</p> <p>参加人数：合計23人</p> <p>【第2回】</p> <p>日時：12月7日(火) 午後1時30分～午後3時</p> <p>会場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室</p> <p>参加人数：合計19人</p> <p>【第3回】</p> <p>日時：12月14日(火) 午後1時30分～午後3時</p> <p>会場：上田市丸子ふれあいステーション3階 大会議室</p> <p>参加人数：合計18人</p>
(3)メンタルヘルス研修会	<p>講師：長野産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策促進員 滝澤 利江氏</p> <p>日時：2月8日(火) 午後1時30分～午後3時</p> <p>会場：オンライン開催</p> <p>参加人数：合計66人</p>
(4) 担当業務に関する外部での研修については、必要に応じて個々に参加した。	
評価・課題	
<p>新規採用職員に向けた研修では、社協職員としての基本的な知識の習得、手話研修については、窓口業務でも活用できる手話について学び、スキルの向上を図った。</p> <p>メンタルヘルス研修会については、外部専門講師を招き、コロナ禍のためオンラインで開催し、多くの職員が参加することができた。</p> <p>社会情勢が大きく変化する中、社協職員として時代に沿った意識改革が求められている。今後、職員が参加しやすい開催時期、開催時間、開催方法など検討を重ね、職員全員を対象にスキルの向上に取り組んでいきたい。</p>	

## 出前講座

### 【事業概要】

依頼に基づき、社協職員が、自治会、企業、団体等に出向き、各種講座を無料で行っている。

事業実績		
次の自治会や団体等から依頼があり、社協職員が講師として出向いた。		
講座名	回数	主催者
住民支え合いマップの概要	2回	緑が丘西自治会、 西部地区民生児童委員協議会
いきいき体操	6回	諏訪形社会福祉協議会、下原福祉委員、 出早福祉推進委員、上原長寿会、 西脇自治会女性学級（2回）
介護保険制度について	1回	諏訪形社会福祉協議会
エンディングノートについて	1回	東塩田地区福祉推進委員協議会
上田市社会福祉協議会のご用聞きサービスについて	1回	川西まちづくり委員会健康福祉部会
家庭介護のポイント	1回	十林寺ふれあい事業
レクリエーションの指導	1回	大畑福祉推進委員
タオル犬作り	1回	中之条ふれあい協議会
合計 14回実施		
評価・課題		
<p>令和2年度の実績7件に対し、令和3年度は14件の依頼があった。令和3年度も、コロナ禍のため地域の集まりが制限された中でも、感染警戒レベルが低い時期には、感染予防対策を徹底しながら出前講座を行うことができた。</p> <p>出前講座は、社協職員が、地域の人たちとの交流が持てる良いきっかけとなっている。令和3年度は内容を見直し、参加型の講座やコロナ禍において取り組める講座等、内容を充実させたので、令和4年度も引き続き多くの地域の人たちに利用していただきたい。</p>		



## 4 善意銀行

【令和3年度事業費】 2,781 千円

### ふくふくひろば

#### 【事業概要】

「まだ着られる服を捨ててしまうのはもったいない」「必要としている方に届けて欲しい」そんな声を受けて、ふく（服）とふく（福）がつながって、皆さまが笑顔になれるお手伝いができたらと考え、令和2年7月から子ども服のリユース事業を開始した。上田市ふれあい福祉センターに新たに展示スペースを設けた。

・開設時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

事業実績		
(1) 頒布会開催		
日	時	7月31日(土) 午前10時～正午
		11月20日(土) 午前10時～正午
来場者数		7月31日(土) 60組124人
		11月20日(土) 62組109人
持ち帰り点数		7月31日(土) 705点
		11月20日(土) 510点
(2) 実績（令和3年4月1日～令和4年3月31日）		
寄附点数（単位：点）	持ち帰り点数（単位：点）	利用者数（単位：組）
6,899	5,884	732
評価・課題		
令和2年7月の事業開始から、多くの方が利用されている。 利用者のアンケートに、平日の利用が難しく週末開催はありがたいとの意見があったので、今後も週末開催を企画していく。 今後もより多くの方に利用していただけるよう、周知方法等を検討していく。		

## 善意銀行

### 【事業概要】

市民の善意に基づく寄附の申し出に対して、必要としている施設や団体、個人につなぐ「橋渡し」を行っている。

事業実績			
個人、団体、法人等の皆さまから多くの金品を御寄附いただき、社会福祉活動に役立たせていただいた。			
(1) 金銭寄附			(敬称略)
月 日	金 銭(円)	氏名・団体名	備 考
4月21日	12,590	匿名	
4月28日	3,000	匿名	
5月7日	1,000,000	匿名	
5月18日	13,343	匿名	
6月3日	3,329	匿名	
6月11日	20,000	長村小学校 S20年卒業生一同	
6月23日	5,000	匿名	
7月7日	1,000	匿名	
7月20日	50,000	有料老人ホーム一期一会	
7月26日	200	匿名	
8月16日	14,628	ビューティーサロンさつき	
10月1日	20,000	匿名	
10月1日	5,000	匿名	
11月15日	2,450	匿名	
12月7日	100,000	陽泰寺仏教婦人会	
12月15日	4,306	匿名	
12月17日	31,219	柳澤 政次	熱海市災害義援金へ
12月20日	50,000	匿名	丸子地区へ
12月27日	401	匿名	
12月27日	50,000	上田西ロータリークラブ	
1月5日	20,000	匿名	
1月18日	14,550	上田友の会	
1月19日	13,758	匿名	
3月2日	652	匿名	
3月14日	100,000	信州上田医療センター内 ホッとらいぶらり	
3月23日	33,856	赤十字奉仕団踏込分団	

## (2) 物品寄附

(敬称略)

月 日	物 品	氏 名	備 考
4月1日	紙おむつ8点	匿名	
4月6日	マスク100枚	匿名	丸子地区へ
4月8日	使用済み切手	上田間税会女性部	
4月8日	フェイスタオル752枚	かがやき21上田	
4月13日	(1) 使用済み切手 (2) 書き損じはがき 50円33枚 52円92枚 62円1枚 63円44枚	真田KOA株式会社	
4月14日	(1) メモ帳鉛筆セット 6個 (2) 消しゴム1袋 (3) ねんど1個	匿名	丸子地区へ
4月22日	(1) 使用済みテレホン カード1,423枚 (2) テプラ本体1台 (3) マスク50枚	匿名	
4月22日	(1) 飲料5本 (2) 菓子6個 (3) インスタントラーメン 2食	からだ元気治療院 上田店	
4月26日	(1) 油性マーカー56本 (2) サインペン18本 (3) ボールペン25本	匿名	
4月27日	お米30kg	匿名	
4月27日	(1) まな板セット2点 (2) かぎ針4本 (3) 毛糸7個 (4) タオル4枚 (5) 使用済み切手 (6) 使用済みテレホン カード6枚 (7) 書き損じはがき 58円153枚	幸福の科学 上田支部	

4月27日	(1) お米 15kg (2) もち米 5g (3) コーヒーセット 2箱	匿名	
5月6日	瓶詰食品 6個	匿名	
5月6日	マスク 100枚	匿名	丸子地区へ
5月10日	紙おむつ 9点	匿名	
5月12日	(1) 書き損じはがき 58円 146枚 (2) 未使用はがき 63円 34枚	かがやき 21 上田	
5月13日	書き損じはがき 58円 106枚	匿名	
5月14日	使用済みテレホンカード 1箱	山本 裕巳	
5月14日	使用済み切手 1.3kg	上田駅前郵便局	
5月24日	紙おむつ 1点	匿名	
5月25日	杖 70本	匿名	
5月25日	(1) 寝具等 19点 (2) 知育おもちゃ 4点 (3) 布団 4点 (4) 座布団、枕カバー 18点 (5) タオル 20枚 (6) 手ぬぐい 8枚	匿名	
5月25日	衣類 81点	佐藤新聞店	
5月26日	(1) 日用雑貨 23点 (2) 書き損じはがき 58円 11枚 (3) 使用済み切手 4g	匿名	
5月26日	(1) 菓子 6点 (2) 飲料 6本 (3) インスタントラーメン 2食	からだ元気治療院 上田店	
5月31日	お米 40kg	匿名	
6月1日	マスク 100枚	匿名	丸子地区へ
6月2日	使用済み切手 5g	豊殿まちづくり協議会	
6月16日	メッセージカード 17点	長野大学同好会 コアクション	

6月18日	(1) 紙おむつ2点 (2) 食品5点	匿名	
6月18日	使用済み切手 1.84 kg	長瀬郵便局	
6月21日	紙おむつ3点	井澤 みさ子	
6月23日	(1) 紙おむつ3点 (2) 尿取りパッド1点	匿名	
6月24日	食品6点	匿名	
6月25日	(1) 使用済み切手 (2) 未使用はがき 63円5枚	上小地区郵便局	
6月28日	(1) 菓子6点 (2) 飲料6本	からだ元気治療院 上田店	
6月29日	(1) 手作りたわし1個 (2) アクリルたわし6個 (3) クリアケース1個	匿名	
6月29日	(1) タオル1枚 (2) 使用済み切手30g (3) ベルマーク (4) 使用済みテレホン カード19枚 (5) CDケース2個 (6) 食品14点 (7) 書き損じはがき 58円104枚 (8) 未使用切手 50円2枚	幸福の科学 上田支部	
6月30日	ファイル10箱	匿名	
7月1日	マスク100枚	匿名	丸子地区へ
7月5日	未使用切手 50円14枚 52円2枚 41円2枚 80円14枚 82円2枚 60円1枚 40円1枚	匿名	
7月6日	(1) お米28.3kg (2) もち米60.5kg	匿名	

7月7日	(1) 使用済み切手 160g (2) ベルマーク	匿名	
7月7日	食品 12 点	匿名	
7月8日	(1) 福祉体験用ゴーグル袋 (2) 使用済み切手	常磐町ボランティアグループ	
7月8日	未使用はがき 40円 3枚 52円 18枚 62円 1枚 50円 73枚	匿名	
7月8日	(1) 食品 24 点 (2) ルーズリーフ 2 点 (3) 衣類 25 点 (4) マット 36 枚	長野県労働金庫丸子支店 運営委員会	
7月13日	マスク 196 枚	久保 みずき	
7月14日	メッセージカード 59 点	長野大学同好会 コアクション	
7月15日	文房具一式	匿名	
7月16日	(1) じゃがいも 100kg (2) キャベツ 20 個	美し信州建設 (株)	指定寄附/ おけまる食堂 みんなの居場所 しおじりこどもカフェ ふれあいサロン みんなのしおだ食堂 hinatabocco 子ども食堂へ
7月19日	(1) マスク 438 枚 (2) メッセージカード 17 点 (3) 使用済み切手 180g	上田西高校 JRC 部	
7月28日	(1) 食品 16 点 (2) 靴 1 点	長野県労働金庫丸子支店 運営委員会	
8月2日	マスク 150 枚	匿名	丸子地区へ
8月3日	紙おむつ 1 点	中村 毅	
8月6日	使用済み切手 65g	匿名	
8月10日	マスク 179 枚	匿名	
8月12日	手話ハンドブック 100 部	上田市聴覚障害者協会	

8月12日	コスメティックスポーチ 6個	匿名	
8月16日	手話ハンドブック 100部	上田市聴覚障害者協会	
8月16日	(1) 未使用はがき 63円81枚 (2) 使用済みはがき はがき 58円15枚 (3) 使用済み切手 10g	ビューティーサロンさつき	
8月19日	(1) 手作りマスク 170枚 (2) 手作りメガネケース 7点 (3) 手作りマスクケース 5点	福澤 梅子	
8月23日	お米 60kg	匿名	
8月24日	毛糸	匿名	
8月26日	食品 20点	長野県労働金庫丸子支店 運営委員会	
8月26日	紙おむつ	匿名	丸子地区へ
8月27日	(1) 食品 6点 (2) アルミホイール 2個	匿名	
8月30日	(1) 毛糸 (2) タオル 24枚 (3) 使用済み切手 50g	匿名	丸子地区へ
8月31日	食品 11点	からだ元気治療院 上田店	
8月31日	食品 2点	幸福の科学 上田支部	
9月3日	マスク 150枚	匿名	丸子地区へ
9月8日	壁面飾り 25点	上田東高校 JRC 班	
9月9日	(1) 毛糸 (2) 使用済み切手 10g	匿名	
9月9日	衣類 7点	宮入 歩人	
9月13日	テーブル 2点	匿名	
9月14日	お米 27.4kg	匿名	丸子地区へ
9月15日	使用済み切手 85g	アザレアンさなだ 御利用者一同	

9月16日	(1) 紙おむつ1点 (2) 尿取りパッド5点 (3) 口腔ケアスポンジ 9本 (4) タオル12枚 (5) ふきん・手ぬぐい 16枚	小山 忠行	
9月28日	タオル8.5kg	匿名	丸子地区へ
9月30日	(1) 飲料5本 (2) 菓子5点	からだ元気治療院 上田店	
10月1日	(1) バッグ3個 (2) マスク21枚 (3) アルコール1個 (4) ハンドジェル1個 (5) 日用雑貨4点	匿名	母子寮へ
10月4日	マスク200枚	匿名	丸子地区へ
10月4日	(1) ボールペン30本 (2) 鉛筆30本 (3) スタンプ台1点	匿名	
10月5日	(1) 寝具3点 (2) こたつカバー・ シーツ10点 (3) こたつ上掛け・ 中掛け2点 (4) 食品15点	匿名	
10月5日	(1) 紙おむつ1点 (2) 尿取りパッド5点	かがやき21 上田	
10月15日	(1) 外国の切手 (2) 日本の古切手	匿名	
10月18日	お米100kg	匿名	丸子地区へ
10月18日	(1) ふろしき61枚 (2) エコバック96個 (3) パスタプレート 420枚 (4) 小鉢306個 (5) フライパン75点	上田ガス株式会社	市内子ども食堂へ
10月18日	食品207点	信州うえだ農業協同組合 女性部	



10月20日	使用済み切手 6g	豊殿まちづくり協議会	
10月21日	使用済み切手 400g	匿名	丸子地区へ
10月22日	(1) 毛糸 (2) 尿取りパッド 6点	春原 美可	
10月22日	お米 11kg	匿名	丸子地区へ
10月26日	マスク 3,000枚	田中 俊永	
10月27日	(1) 飲料 7本 (2) 菓子 7点	からだ元気治療院 上田店	
10月28日	(1) 食器 7点 (2) トビー織反物 1点 (3) タオル 4枚 (4) 毛糸 7個	幸福の科学 上田支部	
11月2日	マスク 300枚	匿名	丸子地区へ
11月4日	電動ベッド 1台	中村 和義	
11月8日	スリッパ 12点	ビューティーサロンさつき	
11月8日	お米 120kg	匿名	
11月10日	車いす 1台	信越郵便局長協会	
11月17日	タオル 150枚	匿名	
11月18日	(1) タオル 23枚 (2) 使用済み切手 220g	つくば開成学園高等学校	
11月19日	(1) 非接触型体温計 15台 (2) マスク 450枚 (3) アルコール消毒液 24点	関薬局	丸子地区へ
11月26日	(1) 飲料 6本 (2) 菓子 6点	からだ元気治療院 上田店	
11月30日	(1) 猫のエサ 2袋 (2) 猫用トイレの砂 3袋	匿名	
12月1日	お米 28Kg	匿名	丸子地区へ
12月1日	使用済み切手 1.2kg	上田市材木町郵便局	
12月1日	マスク 200枚	匿名	丸子地区へ

12月1日	(1) 防災紙芝居6点 (2) ペーパーカッター 1点 (3) バasketボール 1個 (4) ソフトBasket ボール2個	神科まちづくり委員会 教育・文化部会	神科児童センターへ
12月2日	飲料132本	株式会社マルエー 上田営業所	
12月6日	タオル140枚	長野県理容生活衛生同業 組合上小支部	
12月7日	(1) 介護用衣類4点 (2) 介護用シューズ1点	匿名	
12月10日	(1) 商品券 1,000円13枚 500円1枚 (2) 未使用切手 63円5枚 100円2枚 140円1枚	匿名	
12月15日	使用済み切手940g	中之条簡易郵便局	
12月16日	毛糸60点	匿名	丸子モチーフの会へ
12月17日	車いす1台	「小さな親切」運動 上田支部	
12月17日	商品券 1,000円20枚	上塩尻自治会有志	
12月17日	お米16kg	匿名	
12月20日	(1) 食品16点 (2) 文房具123点	匿名	
12月21日	お米120kg	生島足島神社	
12月21日	お米90kg	匿名	
12月22日	(1) 紙おむつ2点 (2) 使用済み切手30g	匿名	
12月23日	絵本78点	匿名	
12月23日	絵本2点	匿名	
12月24日	子ども服2点	匿名	
12月24日	薪20束	(株)小山林産	第5回のきしたおふるまいへ

12月27日	使用済み切手 51g	匿名	
12月27日	(1) お皿 3点 (2) 糸 5個 (3) カイロ 30点 (4) 未使用はがき 50円 25枚	幸福の科学 上田支部	
12月27日	(1) 使用済み切手 30g (2) 未使用切手 1円 1枚 30円 3枚 100円 14枚	匿名	
12月27日	使用済み切手 1.2kg	豊里郵便局	
12月28日	(1) 飲料 7本 (2) 菓子 7点	からだ元気治療院 上田店	
12月28日	食品 10点	株式会社誠和	
1月4日	お米 80kg	匿名	
1月4日	(1) 紙おむつ 1点 (2) 尿取りパッド 1点	匿名	真田地区へ
1月5日	(1) マスク 150枚 (2) 生理用品 6点 (3) 下着 13点 (4) 食品 29点	匿名	
1月11日	手作りマスク 41枚	匿名	
1月11日	マスク 7,500枚	匿名	
1月11日	(1) 食品 38点 (2) 石鹸 48点 (3) 絵本 29点 (4) DVD 4点 (5) 衣類 7点	長野県労働金庫丸子支店 運営委員会	
1月12日	タオル 100枚	損害保険ジャパン株式会社	
1月14日	使用済み切手 1.14kg	上田常入郵便局	
1月14日	使用済み切手 133g	(株) 関根商店	
1月18日	アルコールジェル 120本	田中 俊永	
1月20日	アルコール消毒液 20本	守成クラブうえだ	
1月21日	タオル 69枚	トラスコ中山 (株) 上田支店	
1月21日	車いす 1台	サクラケア上田店	丸子地区へ

1月28日	(1) 飲料7本 (2) 菓子7点	からだ元気治療院 上田店	
1月28日	石鹼12点	匿名	
1月31日	(1) タオル2.71kg (2) 毛糸	匿名	
1月31日	マスク200枚	匿名	丸子地区へ
2月1日	電動ベッド1台	木内 一夫	
2月3日	使用済み切手1.56kg	上塩尻郵便局	
2月3日	使用済み切手1.32kg	上田市役所内郵便局	
2月3日	(1) 未使用はがき 63円200枚 (2) 使用済み切手1.75kg	長瀬郵便局	
2月7日	マスク293枚	甘味処雪屋 Conco	
2月7日	毛糸	匿名	丸子地区へ
2月9日	(1) 紙おむつ1点 (2) 尿取りパッド1点 (3) タオル9枚	匿名	
2月9日	(1) 食品22点 (2) 生理用品8点 (3) ふきん11枚	匿名	
2月9日	マスク260枚	匿名	
2月18日	毛糸	匿名	丸子地区へ
2月22日	車いす1台	匿名	
2月24日	(1) 飲料5本 (2) 菓子5点 (3) インスタントラーメン 5食	からだ元気治療院 上田店	
2月25日	食品63点	東洋羽毛北信販売(株)	
2月28日	(1) 食品3点 (2) フォトフレーム1点	幸福の科学 上田支部	
2月28日	マスク200枚	匿名	丸子地区へ
2月28日	真田中学校制服7点	匿名	
3月3日	(1) 使用済み切手720g (2) 使用済みテレホン カード75枚 (3) 書き損じはがき 58円3枚	上田赤十字奉仕団	

3月4日	木工品 12点	高野 孝幸	
3月8日	文房具 153点	匿名	
3月8日	車いす 1台	上田ライオンズクラブ	
3月14日	(1) 書き損じはがき 52円 2枚 (2) 未使用はがき 50円 10枚	信州上田医療センター内 ホっとらいぶらり	
3月14日	洗濯用洗剤 4袋	匿名	
3月18日	(1) マスク 213枚 (2) ストラップ 22点	月の雫	
3月22日	消毒綿 33点	匿名	
3月23日	マスク 300枚	匿名	
3月24日	(1) 飲料 7本 (2) 菓子 8点 (3) インスタントラーメン 2食	からだ元気治療院 上田店	
3月24日	お米 540kg	余剰米を活用する会	
3月24日	未使用はがき 62円 1枚 63円 3枚	匿名	
3月28日	使用済み切手 220g 書き損じはがき 50円 3枚 52円 6枚 62円 1枚	上田商工会議所女性会	上田ボランティア 地域活動センターへ
3月28日	電動ベッド 1台	母袋 十代城	
3月29日	書き損じはがき 52円 15枚 62円 10枚 63円 46枚	豊殿小学校	

金銭寄附合計 1,569,282円

物品寄附合計（金額換算） 1,211,722円

**寄附合計 2,781,004円**

#### 評価・課題

多くの市民から寄附の申出を受け入れることができた。  
 コロナ禍で生活に困っている方宛の寄附を、多くの市民からお寄せいただき、必要としている個人・団体に受け渡しをすることができた。

## フードドライブ事業

### 【事業概要】

令和3年7月から上田市社協が主体となり、食品ロスと食糧支援を結びつける活動として、家庭などにある使い切れない食品を募っている。寄附していただいた食品は、地域の福祉団体や子ども食堂など、必要としている団体や個人に届けられている。

【開催概要】 上田市ひとまちげんき健康プラザ 原則毎月第一土曜日 午前 10 時～午前 11 時 30 分

事業実績	
(1) フードドライブ事業	
ア 開設日数	9 日
イ 提供者数	346 人
ウ 受入個数	10,913 品
エ 受入総量	8,641 kg
オ 払出先数	247 件
カ 払出個数	7,818 品
キ 払出総量	3,748 kg
(2) 食糧配布会	
ア 配布日	4/28、7/19、8/6、12/27、3/26 (5 回)
イ 配布場所	上田市ふれあい福祉センター
ウ 参加者	延べ 518 人
(3) もぐもぐサポーター (通称：もぐサポ)	
	フードドライブ事業で、住民の皆さまから提供いただいた食品を、月に一回ひとり親世帯の方々へお渡しする事業。親子でもぐもぐ食べて、食品ロス削減サポーター「もぐもぐサポーター (通称：もぐサポ)」になっていただき、食品ロス削減に協力していただいている。
ア 登録者数	42 人
イ 提供回数	76 回
ウ 払出個数	1,772 品
エ 払出総量	1,371 kg
(4) パンたべよ	
	企業から賞味期限前の余ったパンをご寄附いただき、もぐサポ会員に届ける活動
ア 受入個数	17 個
イ 払出個数	17 個
評価・課題	
	令和3年7月に (福) 上田明照会から上田市社協が事業を引継ぎ、取り組んできたが、多くの個人や企業等から協力をいただき、たくさんの食糧を寄附していただいた。
	また、食糧配布会やもぐサポを通じて、学生やひとり親世帯及び生活に困っている方等へ定期的に食糧配布を行い支援に努めた。今後は、会場まで来れない高齢者や学生等の支援方法や、潜在的なニーズに応えられるような取組を検討していきたい。

## 5 企画・広報

【令和3年度事業費】 2,071 千円

### 【事業概要】

事業や福祉推進に関する企画に向けた調査・研究を行うとともに、福祉関係情報の収集及びその広報PRを行っている。

### 事業実績

#### (1) 新たな事業の企画に向けた調査・研究

自治会訪問時に要望の聞き取りや、社協活動の中で出てきた市民からの意見をもとに、社協の特性を活かした出前講座の内容検討や新たな事業の企画等を行った。

#### (2) 「社協うえだ」の発行

社協のPRや福祉に関する情報源として、講座、イベント、各地域で行われている福祉活動の様子などを掲載し、偶数月に市内全世帯をはじめ、学校関係や社協法人会員の皆さまへ配布し、お知らせをした。

また、さまざまな人の意見を反映するため、市民で構成する広報委員会を実施し、広報紙に関する内容の検討を行った。

#### (3) 「社協ホームページ」の活用

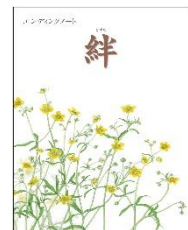
社協が行う各種福祉サービスをはじめ、ボランティア情報、社協職員の募集等、さまざまな情報を発信した。

また、新たにサイト内検索機能やサイトマップを設け、市民に分かりやすいページ作りを心掛けた。

#### (4) エンディングノート「絆」の販売

窓口での販売をはじめ、市内書店に依頼し、店頭での販売も行った。

販売数：13冊（うち書店販売数 6冊）



エンディングノート「絆」

#### (5) レクリエーション備品の貸出し

##### ア 実績

(ア) 輪投げ	2件
(イ) 的当て	2件
(ウ) エアボールセット	0件
(エ) ボッチャ	4件



「ボッチャ」

### 評価・課題

広報紙については、市民の声を反映させることを目的として立ち上げた広報委員会において広報紙をはじめ、社協の広報活動全般に関して意見をいただいた。今後、より市民に伝わりやすい広報活動に努めていく。

ホームページについては、全体を整理し、見やすいページ作りを進めていく。

新たな事業の企画に向けて、調査の方法を検討しながら、ニーズをくみ上げ、社協の事業へとつなげていくよう努める。

## 6 希望の旅事業

【令和3年度事業費】 24千円

### 【事業概要】

日ごろ、旅行をする機会が少ない在宅の重度障がい者の方に、社会交流の場とレクリエーションの機会を作り、その体験を通じて、より生きがいを高めることを目的に一泊二日または、日帰りの旅行を行っている。

事業実績
11月下旬に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、県内日帰り旅行として、安曇野方面への旅行を実施した。 (1) 期 日 11月26日 (2) 場 所 安曇野方面 (3) 参加者 8人(障がい者4人、介護者4人)
評価・課題
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施時期を県内ワクチン接種終了時期の11月下旬に設定し、県内の日帰り旅行を計画し実施した。事前に、前回参加者の声を聞き、コロナ禍であっても、参加したいといった声も聞かれたことから、旅行を計画し実施に至った。実際に今回参加した方からも、好評であった。 今後も、感染症対策を徹底して、参加者が安心して参加できる旅行の企画をしていく。 また、例年参加者が固定化されてきているため、さらなる周知と、新規希望者が増えるような企画が必要である。

## 7 上田市ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

【令和3年度事業費】 4,673千円

### 【事業概要】

子育ての手助けをして欲しい人と、子育てのお手伝いをしたい人が会員として登録し、子育ての相互援助を有償で行う会員組織。日常的な子育てのお手伝いのほか、子育てに関する講習会や会員相互の交流を深めるための交流会等を開催している。

事業実績
(1) 前期講習会 5月11日(火)、12日(水)、13日(木)、14日(金) 延べ48人
(2) 後期講習会 10月14日(木)、15日(金)、18日(月)、19日(火) 延べ38人



- (3) 第1回会員交流会 9月10日(金) 参加者 14人  
内容「コロナに負けない!体組成測定と免疫力UP体操」
- (4) 第2回会員交流会 12月11日(土) 参加者 14人  
内容「発酵スイーツ」アップルみそパイ、甘酒わらび餅づくり
- (5) フォローアップ研修会 2月17日(木)  
内容「不登校の理解と子どもへのかかわり方」  
→コロナ禍のため中止
- (6) ファミサポひろば「登録会、親子で遊ぼう」 7月14日(水)  
7組14人の親子が参加
- (7) 上田市社協(上田市ふれあい福祉センターファミサポ託児スペース、2階和室、3階訓練室)でのお預かり
- ア 日数 50日  
イ 利用者 延べ53人  
ウ 提供会員 延べ68人  
エ 時間 204.5時間



第1回交流会の様子



顔合せ時の様子

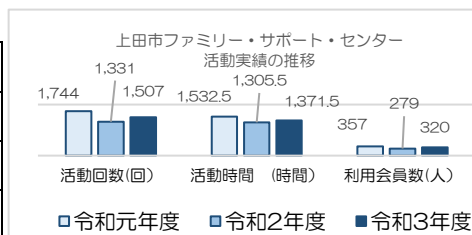
別表

(1) 年間事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
活動回数(回)	114	119	163	130	90	113		
活動時間(時間)	110	91	128.5	107	74.5	83		
利用会員数(人)	26	23	25	29	25	21		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
活動回数(回)	133	157	156	115	94	123	1,507	
活動時間(時間)	123	158	191	95	87	123.5	1,371.5	
利用会員数(人)	26	28	30	28	25	34	320	

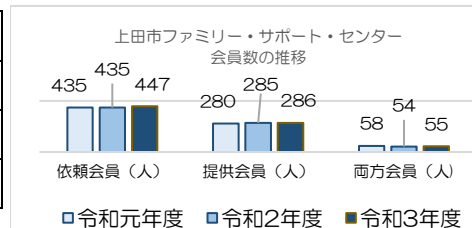
(2) 活動実績の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動回数(回)	1,744	1,331	1,507
活動時間(時間)	1,532.5	1,305.5	1,371.5
利用会員数(人)	357	279	320



(3) 会員数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
依頼会員(人)	435	435	447
提供会員(人)	280	285	286
両方会員(人)	58	54	55



評価・課題

令和3年9月に託児スペースのある事務局に移転し、子どもを遊ばせながら入会手続きができるようになり、ゆっくり依頼や子育てについての話を聞けるようになった。託児スペースを利用しての短時間の預かりにも対応しており、依頼会員、提供会員ともに、安心して活動ができると好評である。今後は提供会員同士の交流の場として利用したい。

また、令和3年度はコロナ禍でも活動件数が減ることもなく、依頼のあった活動は大半つなぐことができた。

発達障がい、不登校、保護者の精神疾患、育児不安など困難な状況を抱える親子へのサポート依頼が急増している。提供会員にも理解を得て、他の機関とも連携しながら活動を行っている。困難家庭のサポートをする際、他機関の協力、利用料金の減免等ができるとういと思う。

## 8 福祉推進事業

【令和3年度事業費】 4,105千円

### 社協お結びサポーター事業

【事業概要】

住民同士によるふれあい、支え合いの仕組みづくりをお手伝いするために、平成28年度から丸子・真田・武石の3地区をモデル地区として「社協お結びサポーター」を配置した。

現在は、7地区(8人)に配置している。地域の福祉ニーズは何か、どんな福祉サービスが必要かをいっしょに考え、人と人を結ぶ、人と地域を結ぶ、人と機関を結びつけるお手伝いを行う。

事業実績

現在、城下・神科・豊殿・川辺-泉田・丸子・真田・武石の7地区8人のお結びサポーターを配置しており、自治会行事へ訪問しての活動調査や地区福祉推進委員協議会活動への参加等の活動を行っている。

- (1) お結びサポーター連絡会議  
7月28日(月)、3月24日(木)
- (2) 上田地区センター  
ア 自治会への訪問 13自治会  
イ 活動回数 95回
- (3) 丸子地区センター  
ア 自治会への訪問 2自治会  
イ 活動回数 延べ16回  
ウ 子育て支援事業への参加 7回
- (4) 真田地区センター  
ア 自治会への訪問 3自治会  
イ 活動回数 延べ6回
- (5) 武石地区センター  
ア 自治会への訪問 5自治会  
イ 活動回数 延べ32回

評価・課題

(1) 上田地区センター

活動としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの自治会にてサロン活動が中止となり、活動の場や情報交換の場が制限されてきた。そのような中でも、他団体と連携しながら地区情報紙（チラシ）を作成するなど工夫を凝らしてきた地区もあれば、令和3年度は、活動自体を静観している地区とに分かれてしまった。その背景には、社協地区担当者や地区福祉推進委員協議会活動との連携不足なども挙げられる。

今後は、地区内の福祉推進委員の定例会議へお結びサポーターも参加し、生活支援コーディネーターをはじめ、住民自治組織や地区社協、地域包括支援センターなどと連携した活動を行っていききたい。

(2) 丸子地区センター

主に子育て支援事業の活動に参加したほか、2自治会の交流事業に参加し、生活支援コーディネーターと連携した。福祉推進委員講習会等にも積極的に参加した。

今後も引き続き福祉推進委員や民生委員・児童委員等との関わりを深め、地域ふれあいの会などでの活動を増やし、地域課題の把握に努めたい。

(3) 真田地区センター

令和3年度はコロナ禍により、訪問回数が例年よりも少なかったが、自治会の福祉推進委員から、コロナ禍であっても何か活動をしたいという相談をいただいた。

また、生活支援コーディネーターとも連携して活動を行った。

(4) 武石地区センター

コロナ禍で、自治会行事やサロンの活動を縮小や中止をする自治会があったが、開催した自治会には訪問をした。今後とも関係団体とも連携を密に図り、地域課題の把握に取り組み、事業の充実に努めたい。

## 地区社協住民会議

### 【事業概要】

地域住民が主体となってさまざまな問題を協議し、住民が相互に地域福祉に関心と理解を深め、福祉のまちづくりを目指すために行うものであり、全 16 地区社協で開催されている。

事業実績	
(1)	東部地区 11 月 25 日(木) 東部地区防災センター 32 人 講演「コロナ禍での今後の対応」
(2)	南部地区 9 月 22 日(水) 大手町会館 29 人 講演「上田築城・城下町形成の見直し」
(3)	中央地区 11 月 25 日(木) 上田市ふれあい福祉センター 24 人 講演「自主防災について」
(4)	北部地区 11 月 28 日(日) 中央公民館 51 人 講演「遊びの中で育つ力」
(5)	西部地区 10 月 22 日(金) 西部公民館 28 人 講演「コロナ禍をともに生きる～『のきした』の取り組み～」
(6)	城下地区 11 月 17 日(水) 城下地区防災センター 20 人 講演「支え、支えられる地域づくり：コロナ禍での活動」
(7)	塩尻地区 10 月 8 日(金) 塩尻地区公民館 31 人 講演「上田市の防災対策」
(8)	川辺・泉田地区 11 月 2 日(火) 川辺泉田防災センター 36 人 講演「感染対策（コロナウイルス）について」
(9)	神川地区 10 月 16 日(土) 下堀コミュニティセンター 43 人 講演「支え合いマップの効果とその活用について」
(10)	神科地区 コロナ禍のため中止
(11)	豊殿地区 10 月 16 日(土) 豊殿地域自治センター 80 人 まめったいサミット IN 豊殿 フィールドワーク「豊殿のお宝を発見しよう」 グループワーク「みんなで考える次世代への継承」
(12)	塩田地区 11 月 11 日(木) 塩田公民館 100 人 ヤングケアラーの実態と地域支援ワークショップ
(13)	川西地区 コロナ禍のため中止
(14)	丸子地区 11 月 16 日(火) 上田市丸子文化会館 55 人 講演「新型コロナウイルス感染予防について」
(15)	真田地区 11 月 6 日(土) 真田中央公民館 51 人 講演「巧みな話術にご用心！」～消費トラブルと特殊詐欺の現状・対処法について～
(16)	武石地区 11 月 13 日(土) 上田市武石地域総合センター 32 人 講演「新型コロナウイルス感染予防～正しく知って正しく防ごう～」

評価・課題

(1) 上田地区センター

コロナ禍2年目となり、各地区において感染防止対策を講じながら住民会議や総会を縮小しながらも開催した。住民会議では、主に新型コロナウイルス感染症に関する感染対策やコロナ禍だからこそその地域福祉のあり方についての講演が行われた。住民会議や総会は、住民同士が地域のことについて話し合う場でもあるため、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、グループワークも取り入れていきたい。地区担当職員も積極的に企画に参画し、社協お結びサポーターや福祉推進委員と連携しながら行っていきたい。

(2) 丸子地区センター

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、地域住民にも分かりやすく、また日々の生活や自治会活動にも活かせるようなテーマで講演を開催した。誰もが経験したことのない状況下で、感染予防対策を図りつつ、自治会活動をどのように行っていけばよいかを考える機会となった。今後も地域住民の生活や活動に活かせるテーマで開催していく。

(3) 真田地区センター

昨今、上田管内において特殊詐欺の被害が多いことから、日常高齢者と接する機会の多い自治会の役員や福祉関係者の活動の参考にしていただくため、「消費者トラブルと特殊詐欺の現状や対処法について」をテーマに上田市消費生活センターから講師を依頼し研修を実施した。

(4) 武石地区センター

コロナ禍で、地域住民に関心のある演題で研修会を実施することができた。タイムリーな演題で知識が深まったとの意見が多かった。今後は、健康づくりや防災等の身近な地域課題について開催したい。

## 住民支え合いマップづくり

### 【事業概要】

地図上に高齢者や障がい者などで支援が必要となる方々、いわゆる「要援護者」や、要援護者を支援する「支援者」、避難所などの地域の資源情報を記載することにより、日ごろの地域での支え合い活動、共助の仕組みづくりに活用するものである。その延長線上に、「いざ」という時の災害時の避難行動等につなげていく。

事業実績

(1) 住民支え合いマップ作成実施自治会状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
協定書締結自治会数	3	5	6
完成自治会数	3	6	13

ア 協定書締結自治会数 合計 182 自治会

イ 住民支え合いマップ完成自治会数 合計 225 自治会

ウ 住民支え合いマップ更新自治会数 112 自治会

評価・課題

住民支え合いマップは、近年の災害増加の背景にともない、令和2年度同様に協定を結ぶ自治会が微増、新規のマップ完成に至っては約2倍の増加となった。

また、コロナ禍であったため、地域の行事ができない代わりに、更新作業を取り組んだ自治会が多く、令和2年度に比べ約1.2倍増加した。災害時の備えとしての声が高いが、日常の支え合い活動のつながりが、災害時の支援にもつながってくる。今後も作成や更新も含め、地域内での支え合い活動と住民支え合いマップを一体的に行えるよう取り組んでいきたい。

また、地区担当職員からも、他の自治会の取組を周知していきたい。

## 車いす、特殊寝台貸出事業

### 【事業概要】

#### (1) 車いす貸出し事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が通院、外出等で必要な場合、1か月を目途に無料で貸し出している。

#### (2) 特殊寝台貸与事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が一時的に日常生活を営むことが困難になった場合、3か月を目途に無料で貸し出している。

### 事業実績

#### (1) 車いす貸出し事業 貸出件数

地区	上田	丸子	真田	武石	合計
令和元年度（件）	246	53	14	1	314
令和2年度（件）	141	40	8	1	190
令和3年度（件）	113	33	9	1	156
令和3年度保有台数（台）	53	29	7	3	92

※ 上田地区保有台数 貸出用 34 台、体験用 19 台

#### (2) 特殊寝台貸与事業 貸出件数

地区	上田	丸子	真田	武石	合計
令和元年度（件）	13	1	1	0	15
令和2年度（件）	12	3	1	8	24
令和3年度（件）	8	2	0	1	11
令和3年度保有台数（台）	3	2	1	2	8

## その他(高齢者福祉事業)

事業実績	
<p>(1) 真田地区センター</p> <p>ア 独り暮らし高齢者親睦会の開催</p> <p>(ア) 役員会1回目 6月25日(金) コロナ禍のため中止 令和2年事業報告、令和3年事業計画案、親睦会会則を役員へ送付</p> <p>(イ) 親睦会 7月 コロナ禍のため中止</p> <p>(ウ) ふれあいの旅 10月 コロナ禍のため中止</p> <p>(エ) 役員会2回目 11月24日(水) 親睦会代替事業打ち合わせ</p> <p>(オ) 親睦会 3月2日(水) コロナ禍のため中止</p> <p style="padding-left: 40px;">代替事業：防災グッズ(ランタン、防災知恵袋の冊子)、特殊詐欺防止資料 配布(一人暮らし高齢者親睦会会員56人)</p>	
<p>(2) 武石地区センター</p> <p>ア 高齢者サロン事業</p> <p>高齢者サロン(楽しい会)は、コロナ禍のため休止した。介護予防体操を15回実施 参加者：延べ437人</p> <p>イ 武石地域敬老会事業</p> <p>武石地域の65歳以上の方を対象に敬老会を計画したが、コロナ禍のため中止した。</p>	
評価・課題	
<p>(1) 真田地区センター</p> <p>真田地域一人暮らし高齢者親睦会では、コロナ禍のため大勢で集まる事業は中止とした。自らを守る意識を高めてもらう働きかけとして、災害に備えた防災知恵袋の冊子やランタン、特殊詐欺防止の資料を会員全員へ配布し好評を得た。</p> <p>また、ボランティアから寄附された絵手紙を独り暮らし高齢者に送り好評であった。</p> <p>今後も、コロナ禍で集まりにくいと予想されるが、会員の安否確認を兼ね、つながれる方法を工夫していきたい。</p>	
<p>(2) 武石地区センター</p> <p>高齢者サロン(楽しい会)はコロナ禍により休止したが、介護予防体操は感染予防を図りながら実施した。高齢者サロンや武石地域敬老会は、できる範囲で工夫をしながら行っていきたい。</p>	

## 9 点字・声の広報発行事業(市受託事業)

【令和3年度事業費】 273 千円

### 【事業概要】

広報うえだ、議会だより、社協うえだの内容を点訳やテープへの録音により、視覚障がい者へ情報提供を行う事業

事業実績			
(1) 点字広報			
ア	広報うえだ (月1回発行)	利用者	12人
イ	議会だより (年4回発行)	利用者	7人
ウ	社協うえだ (隔月発行)	利用者	20人
エ	丸子自治センターだより	利用者	7人
(2) 声の広報			
ア	広報うえだ (月1回発行)	CD利用者	11人
		カセット利用者	7人
イ	議会だより (年4回発行)	CD利用者	9人
		カセット利用者	8人
ウ	社協うえだ (隔月発行)	CD利用者	11人
		カセット利用者	8人
エ	丸子自治センターだより	CD利用者	5人
		カセット利用者	3人
評価・課題			
(1) 上田地区センター			
<p>コロナ禍でも、感染対策を配慮した上で、点訳・音訳ともに活動を継続することができた。課題としては、利用者の増加がみられないため、市との連携や対象者の把握、必要としている人に情報を届けられるよう努めていく。</p> <p>今後は、ボランティアのスキルアップを目指した研修等も計画していく。</p>			
(2) 丸子地区センター			
<p>点訳・音訳ともに利用者に寄り添った情報提供に向け、研修を受け技術向上に尽力している。利用者の高齢化に伴い広報の利用が減少している。利用者を増やすため、どのように事業周知をしていくかが課題である。</p>			

## 10 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

【令和3年度事業費】 3,944 千円

### 【事業概要】

認知症の高齢者や障がい者の方で、判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用などに関わる相談や援助、日常的な金銭管理のお手伝いをし、自立生活の支援を行う。



事業実績

(1) 日常生活自立支援事業

※ 別表参照

(2) 金銭管理・財産保全サービス

日常生活自立支援事業で補完できるため、廃止の方向で検討している。

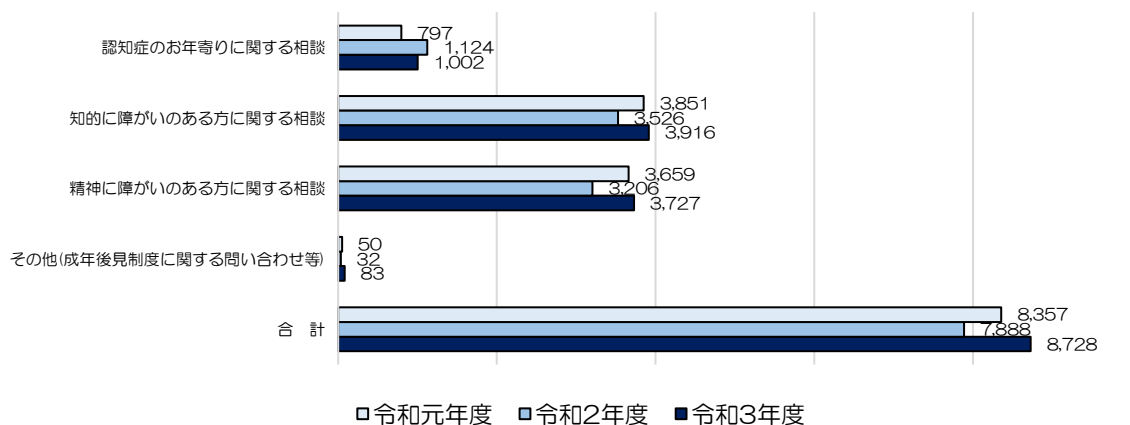
ア 契約件数 0件

別表

(1) 相談内容(単位：件)

内 容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
認知症のお年寄りに関する相談	797	1,124	1,002
知的に障がいのある方に関する相談	3,851	3,526	3,916
精神に障がいのある方に関する相談	3,659	3,206	3,727
その他(成年後見制度に関する問い合わせ等)	50	32	83
合 計	8,357	7,888	8,728

相談内容(単位：件)



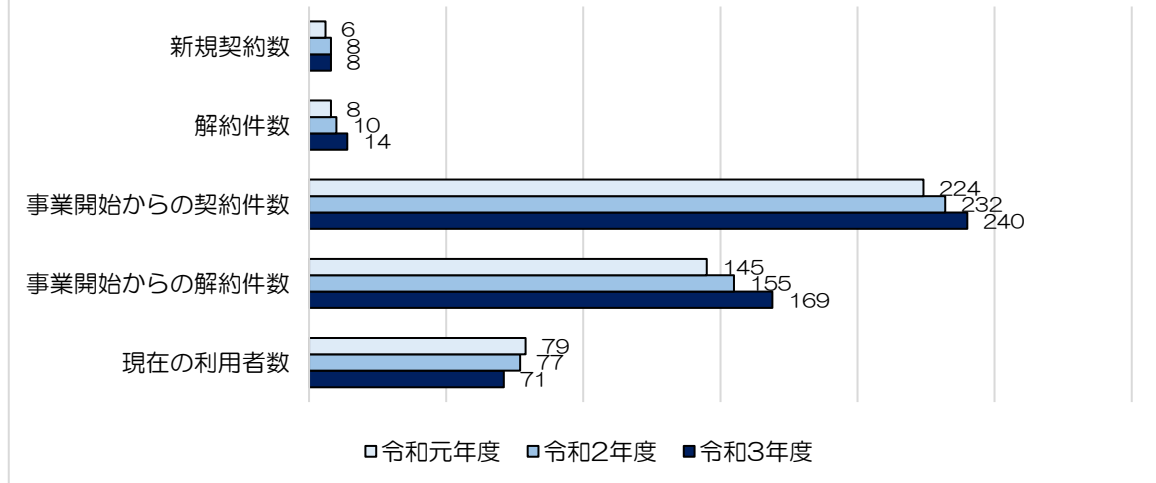
(2) 方法(単位：回)

内 容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
専門員訪問調査回数	269	287	246
生活支援員援助回数	1,656	1,643	1,670

(3) 契約状況(単位：件)

内 容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規契約数	6	8	8
解約件数	8	10	14
事業開始からの契約件数	224	232	240
事業開始からの解約件数	145	155	169
現在の利用者数	79	77	71

契約状況(単位：件)



評価・課題

(1) 上田地区センター

複雑な課題を抱えるケースや精神的、認知的な問題を抱えた処遇困難ケースも増加傾向にあるが、関係機関と連携し制度につなげることができた。

また、長和町社会福祉協議会と連携し、令和4年度から単独実施町村社協として町村のニーズに対応できる体制を構築させることとなった。

利用者を多く抱える基幹的社協としては、遠方の定期的な支援には限界があり、すぐに町村のニーズに対応できない場合がある。今後も町村社協内で、地域の住民は地域で守る体制を構築できるよう調整していく。

(2) 丸子地区センター

親族の関わりが少ないため、福祉サービスを利用できていなかった利用者が、本事業を利用することによって日常生活が安定し、支援間のネットワークも広がるといった効果がある。

また、一方では、本事業を利用することにより、今まで関わってきた支援者の関わりが薄くなり、社協だけの支援になってしまうケースもある。

年々利用希望の相談件数が増加しており、ケースも複雑化している。

(3) 真田地区センター

利用者数は5人。金銭管理のみではなく、生活支援ができるよう、担当の相談員やケアマネージャーとの連携を取ることに努めた。

また、支援時に利用者の細かい状況の変化など、気付いたことは連携機関と情報共有した。

(4) 武石地区センター

利用者7人のうち、長和町社協管内は2人。支援希望者が本事業を利用することで、安定した日常生活が送れるように、関係機関と連携して支援を行った。

## 1 1 地域ふれあい事業

【令和3年度事業費】 32,317千円

### 地域ふれあい事業（市補助事業）

#### 【事業概要】

地域のさまざまな人々がお互いに助け合い交流することにより、住民の連帯感を高め、それぞれの地域の特性に応じた福祉サービスを住民参加により自主的に推進し、明るく活力ある福祉社会を創造し、近隣のつながりを補うことを目的として事業を実施している。

この事業は、「ふれあいのまちづくり事業」として平成3年度から平成7年度までの5年間は、国の指定を受けて事業を進めた。指定終了後も、市の補助事業となり、平成15年度からは「敬老行事自治会委託事業」と統合され、名称が「地域ふれあい事業」となり、現在に至っている。

事業実績				
	(数字は自治会数)			
実施内容	上田地区センター	丸子地区センター	真田地区センター	武石地区センター
世代間交流に関する事業	63	14	5	13
生きがいづくり事業 (茶話会、会食会、健康体操を含む)	78	17	17	1
マップ作り・更新	27	2	0	0
広報・啓発活動	13	0	1	1
学習講座	28	1	6	0
訪問活動(配食含む)	125	21	31	9
敬老会	14	0	3	0
ボランティア活動	8	5	0	0
環境整備事業	40	12	0	5
子育て支援に関する事業	39	12	1	0
その他	25	17	4	0
評価・課題				
(1) 上田地区センター				
<p>地域ふれあい事業は、福祉推進委員を推進役として、地域の特性に応じたさまざまな活動が行われている。地域ふれあい事業の中では、子どもとともに活動することにより、三世代の参加も見込め、普段は顔が見えない世代とも顔が見える関係が構築されている。コロナ禍ということもあり、室内よりも野外で行う行事や訪問事業が圧倒的に増えた。</p> <p>また、多くの自治会が敬老会を見合わせ、訪問事業に切り替え行っている。訪問事業に関しては、様子を確認するだけでなく、小学生が作成したお祝いのメッセージを添えるなど趣考を凝らした活動が行われている。今後も、コロナ禍での活動が制限される状況が考えられるので、どのような取り組み方法があるのかを広報紙などで情報発信し、地区担当職員をはじめ、福祉推進委員や社協お結びサポーターと連携しながら、活動に役立てていきたい。</p>				

(2) 丸子地区センター

コロナ禍で、例年どおりの事業ができない自治会が多かった。その中でも、感染対策を行い工夫して事業を行っている自治会も見られた。各自治会で地域の特徴を活かした世代間交流や伝統行事の開催はできているが、自治会での活動に差異があり、地域の担い手不足が課題となっている。

また、地域の交流活動は多様化しており、助成の対象事業かどうかの線引きが難しくなっている。

(3) 真田地区センター

コロナ禍で、いきいきサロンや交流会の多くが中止となったが、感染レベルの下がった時期にサロンを実施し、訪問形式を多くするなど、自治会ごとに工夫されていた。まだ収束の目途が立たないが、地区担当をはじめ、お結びサポーターや生活支援コーディネーターを通じて、コロナ禍で行われた活動を他の自治会に広める支援を行う。

(4) 武石地区センター

コロナ禍で、行事の縮小や中止により活動ができない自治会が多かったが、実施した自治会では、次世代交流や訪問活動、環境整備など、福祉推進委員と自治会で工夫して行っていた。今後は、お結びサポーターとも連携して地域ふれあい事業の推進に努めたい。

## 福祉推進委員

### 【事業概要】

「地域ふれあい事業」の推進役として、福祉推進委員を各自治会から推薦いただき、社協会長が委嘱している。自治会役員、民生委員・児童委員とともに地域の実情に応じたさまざまな福祉活動を行っている。

事業実績
(1) 福祉推進委員連絡協議会 6月1日(火)、12月14日(火)
(2) 福祉推進委員全体研修会 7月21日(木) サントミューゼ 174人 内 容：講演「コロナ禍の地域づくりについて」 講 師：特定非営利活動法人 ハンズオン埼玉 常務理事 西川 正氏
(3) 福祉推進委員講習会 7月27日(火) 上田市丸子ふれあいステーション 23人 8月 4日(水) 上田市ふれあい福祉センター 22人 8月 6日(金) 上田市真田総合福祉センター コロナ禍のため中止 8月28日(土) 上田市ふれあい福祉センター コロナ禍のため中止
評価・課題
(1) 上田地区センター 各地区で行っている福祉推進委員の定例会議について、コロナ禍でも中止せず、短時間ながらも感染対策を講じながら開催し、各自治会の事業の取組状況など情報交換を行った。 また、令和2年度に引き続きシトラスリボン講座を開催した地区もあり、講座で学んだこ

とを各自治会に持ち帰り、積極的に新型コロナウイルスに関する差別防止を広める推進役を担った。お結びサポーターとの連携も一層強化し、福祉活動を進めていきたい。

#### (2) 丸子地区センター

福祉推進委員全体研修会、福祉推進委員講習会、丸子地区福祉推進委員学習交流会に参加した。学習交流会では、レクリエーションの貸出用備品を実際に体験し、交流の場として貴重な時間を過ごすことができた。

地域の担い手が不足し、受け手がいない中で福祉推進委員を引き受けざるを得ない実態があり、活動できていない委員、自治会もある。

#### (3) 真田地区センター

令和2年度より続くコロナ禍により、当初計画したサロン活動等が中止になるなど、家にももりがちの生活がフレイルへの悪循環につながるのではないかという意見が福祉推進委員から何件か挙げられた。一方、集まる機会が減少したため高齢者宅訪問が数多く行われ、高齢者から大変好評だったとの意見もいただいた。今後について、新しい生活様式での活動について多方面からの情報収集や、福祉推進委員からの意見を吸い上げ、情報提供を積極的に行っていきたい。

なお、真田地域の福祉推進委員福祉委員合同研修会についてはコロナ禍により中止とし、福祉委員を含め資料の送付のみとなった。

#### (4) 武石地区センター

感染予防を図りながら、独自研修として、認知症サポーター養成講座、セラバンド体操教室及び健康体操と脳トレ研修会を実施することができた。今後も感染予防に配慮し、地域活動の推進に努めたい。

## 1 2 上小圏域成年後見支援センター事業(上田市・東御市・長和町・青木村受託事業)

【令和3年度事業費】 28,870千円

### 【事業概要】

上小圏域(上田市、東御市、長和町、青木村)において、認知症、精神障がい、知的障がい等の理由により判断能力の不十分な住民が安心して地域で生活ができるように、成年後見制度の利用及び権利擁護を支援するセンターの運営と、国の基本計画で示されている中核機関の役割を上小圏域内市町村とともに担い、成年後見制度利用支援体制の構築及び成年後見制度の利用促進を図り、住民の権利擁護を推進することを目的としている。

### 事業実績

#### (1) 広報業務

ア 成年後見制度等の普及及び啓発に関すること。

実施回数 3回、参加者合計 29人

(2) 相談業務

ア 支援対象者及びその関係者からの成年後見制度等に関する相談対応

イ 地域における相談体制の強化を図るための研修会の開催

上田市包括社会福祉士懇談会の開催

日時：令和3年9月29日（水）

内容：交流会

参加人数：16人

(3) 利用促進業務

ア 行政職員等からの市町村長申立支援に関すること。

上田市8件（高齢者6件、障がい者2件）

東御市1件（障がい者1件）

長和町2件（高齢者2件）

青木村1件（障がい者1件）

このうち、7件については法人後見として受任した。

イ 成年後見、保佐及び補助の申立支援に関すること。

新規相談62人、継続相談237人：合計299人

ウ 第三者後見人の紹介に関すること。

後見人交流会の開催

日時：令和3年11月12日（金）

内容：家庭裁判所の職員によるプチ講座、交流会

参加人数：17人

エ 後見人等候補者の推薦に関すること（受任調整に関すること。）

適切な後見人等候補者推薦を行う小委員会を10回開催した。

検討事案件数21件

依頼先別件数

弁護士会2件、司法書士会0件、税理士会0件、行政書士会5件、社会福祉士会4件、

法人後見10件

オ 法人後見に関すること。

後見報酬が見込めない方や、第三者後見人が引き受けることが困難な方に対して、上田市社会福祉協議会が法人として後見業務を引き受けた。

令和3年度新規受任件数11件（平成25年度からの累計90件）

継続受任件数67件

カ 市民後見人の養成、受任調整及び監督業務に関すること。

市民後見人新規受任2人（累計7人）

後見人交流会の開催

日時：1月26日（水）

内容：市民後見人同士の交流、悩みごとや困りごとに関する相談

参加人数：13人

(4) 後見人等支援業務

ア 親族後見人、第三者後見人等からの成年後見制度に関する手続支援に関すること。

イ 親族後見人、第三者後見人等への相談支援に関すること。

(5) 地域連携ネットワークの構築に関すること。

地域連携ネットワーク協議会準備会の開催

日時：令和3年10月21日（木）

参加者：運営委員

(6) 権利擁護の促進に必要な事業に関すること。

(7) その他、センターの運営に関し、必要な事務に関すること。

運営委員会3回、小委員会10回、市民後見推進委員会1回、会議参加8回、研修会参加8回

別表

(1) 相談件数及び相談者の状況

ア 相談件数(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新規相談	8	4	5	3	5	7	
継続相談	15	19	19	22	28	22	
相談業務合計	23	23	24	25	33	29	
法人後見業務総件数	554	483	676	568	524	561	
総計	577	506	700	593	557	590	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	6	6	5	5	3	5	62
継続相談	30	24	10	8	8	32	237
相談業務合計	36	30	15	13	11	37	299
法人後見業務総件数	607	506	567	615	601	614	6,876
総計	643	536	582	628	612	651	7,175

イ 方法別(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来所	2	4	5	0	2	3
電話	16	11	10	17	18	18
訪問	4	7	9	5	12	4
ケース会議	1	0	0	3	0	1
その他	0	1	0	0	1	3
合計	23	23	24	25	33	29

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	2	3	4	4	1	3	33
電話	24	13	10	5	7	27	176
訪問	9	10	0	1	3	6	70
ケース会議	0	4	1	3	0	0	13
その他	1	0	0	0	0	1	7
合計	36	30	15	13	11	37	299

ウ 対象者別(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
認知症高齢者	9	6	7	6	18	18	
知的障がい者	3	3	1	1	1	0	
精神障がい者	9	5	4	6	10	4	
身体障がい者	0	0	0	0	0	0	
複合	1	3	5	7	1	5	
任意後見	0	0	2	5	2	2	
その他	1	6	5	0	1	0	
合計	23	23	24	25	33	29	

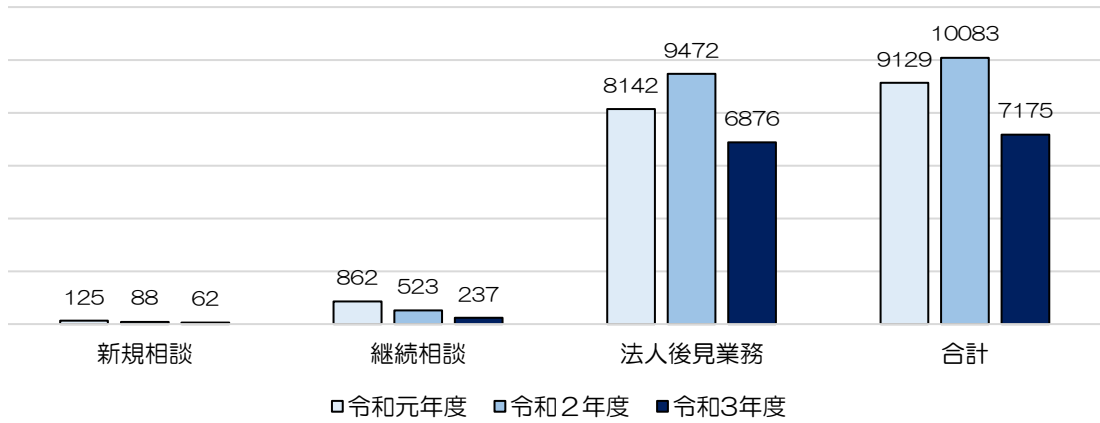
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症高齢者	23	13	7	6	0	6	119
知的障がい者	1	4	0	0	1	6	21
精神障がい者	9	12	6	6	5	16	92
身体障がい者	0	0	1	0	2	0	3
複合	2	1	0	0	0	0	25
任意後見	0	0	1	0	0	2	14
その他	1	0	0	1	3	7	25
合計	36	30	15	13	11	37	299

エ 相談件数の推移(単位：件)

	新規相談	継続相談	法人後見業務	合計
令和元年度	125	862	8,142	9,129
令和2年度	88	523	9,472	10,083
令和3年度	62	237	6,876	7,175



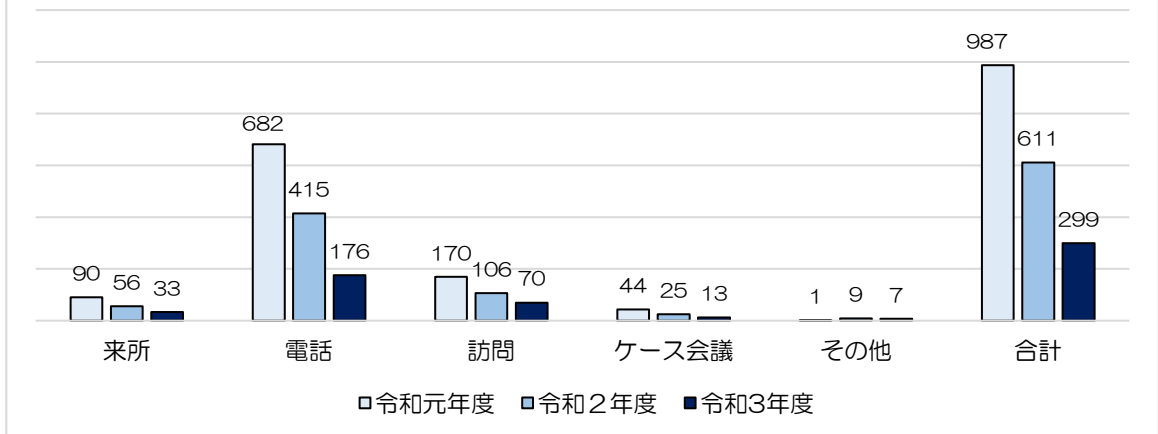
相談件数の推移(単位：件)



オ 方法別の推移(単位：件)

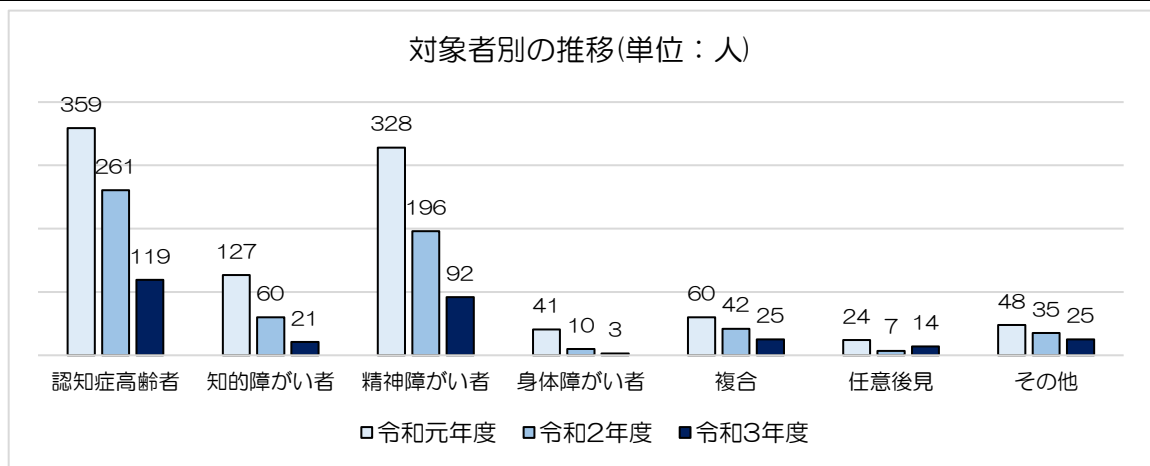
	来所	電話	訪問	ケース会議	その他	合計
令和元年度	90	682	170	44	1	987
令和2年度	56	415	106	25	9	611
令和3年度	33	176	70	13	7	299

方法別の推移(単位：件)



カ 対象者別の推移(単位：人)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者	複合	任意後見	その他
令和元年度	359	127	328	41	60	24	48
令和2年度	261	60	196	10	42	7	35
令和3年度	119	21	92	3	25	14	25



(2) 法人後見業務 相談件数及び相談者の状況

ア 類型(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
後見	261	196	292	265	170	198	
保佐	286	276	375	297	345	350	
補助	7	11	9	6	9	13	
合計	554	483	676	568	524	561	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
後見	292	193	213	222	216	299	2,817
保佐	299	303	312	344	361	286	3,834
補助	16	10	42	49	24	29	225
合計	607	506	567	615	601	614	6,876

イ 方法別(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
来所	53	45	63	44	55	57	
電話	270	233	341	283	251	298	
訪問	199	174	229	218	196	184	
ケース会議	5	9	11	3	2	8	
その他	27	22	32	20	20	14	
合計	554	483	676	568	524	561	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	53	55	45	59	60	55	644
電話	299	253	263	302	283	277	3,353
訪問	233	184	224	231	235	254	2,561
ケース会議	6	2	13	2	2	9	72
その他	16	12	22	21	21	19	246
合計	607	506	567	615	601	614	6,876

ウ 対象者別(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
認知症高齢者	140	118	173	117	92	119	
知的障がい者	205	181	215	215	212	210	
精神障がい者	132	100	146	143	122	150	
身体障がい者	0	0	0	0	0	0	
複合	74	82	142	93	98	82	
その他	3	2	0	0	0	0	
合計	554	483	676	568	524	561	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症高齢者	188	123	121	147	132	184	1,654
知的障がい者	185	189	223	241	232	192	2,500
精神障がい者	154	118	160	168	156	179	1,728
身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0
複合	80	76	63	59	81	59	989
その他	0	0	0	0	0	0	5
合計	607	506	567	615	601	614	6,876

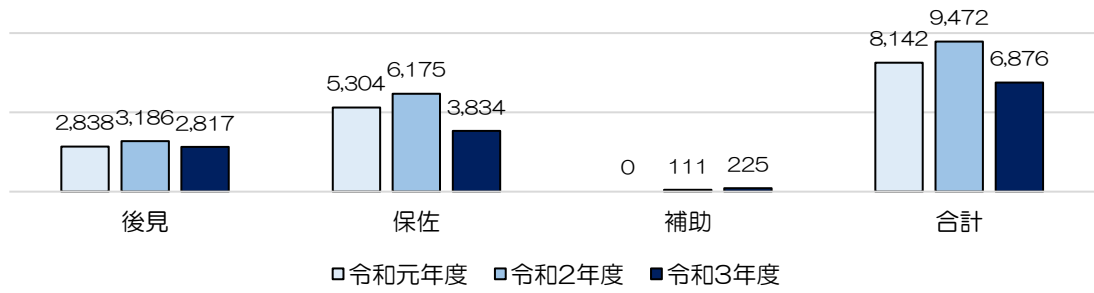
エ 市町村別(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
上田市	459	399	564	451	452	491	
東御市	38	48	62	71	38	40	
長和町	57	30	37	17	34	27	
青木村	0	0	0	0	0	3	
その他	0	6	13	29	0	0	
合計	554	483	676	568	524	561	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上田市	506	414	472	530	526	472	5,736
東御市	52	46	57	45	43	71	611
長和町	23	34	32	31	30	56	408
青木村	26	12	6	9	2	15	73
その他	0	0	0	0	0	0	48
合計	607	506	567	615	601	614	6,876

オ 類型の推移(単位：件)

	後見	保佐	補助	合計
令和元年度	2,838	5,304	0	8,142
令和2年度	3,186	6,175	111	9,472
令和3年度	2,817	3,834	225	6,876

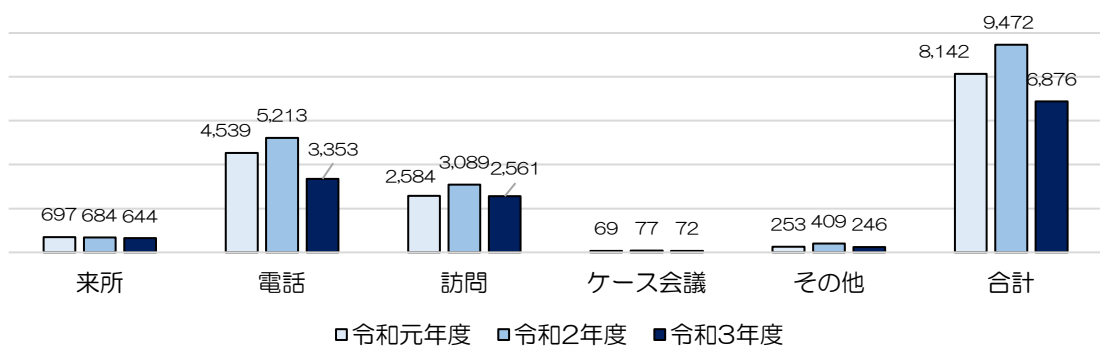
類型の推移(単位：件)



カ 方法別の推移(単位：件)

	来所	電話	訪問	ケース会議	その他	合計
令和元年度	697	4,539	2,584	69	253	8,142
令和2年度	684	5,213	3,089	77	409	9,472
令和3年度	644	3,353	2,561	72	246	6,876

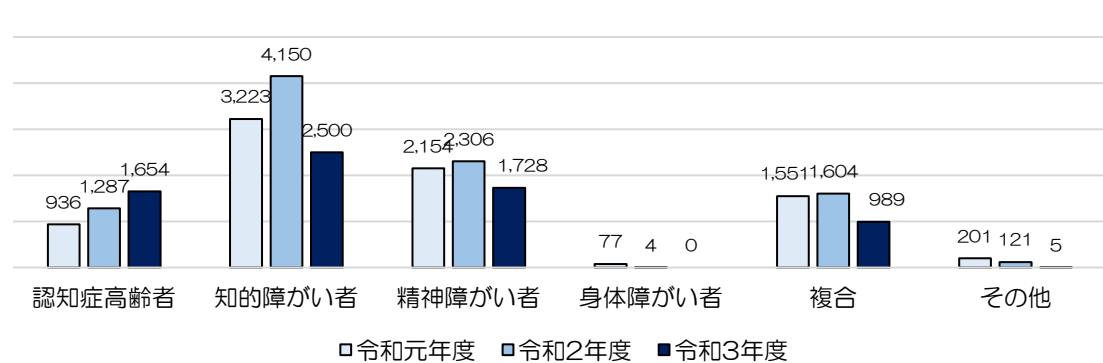
方法別の推移(単位：件)



キ 対象者別の推移(単位：人)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者	複合	その他
令和元年度	936	3,223	2,154	77	1,551	201
令和2年度	1,287	4,150	2,306	4	1,604	121
令和3年度	1,654	2,500	1,728	0	989	5

対象者別の推移(単位：人)



## 評価・課題

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、相談件数や法人後見の受任件数は例年と比べても減少傾向となったが、コロナ禍での対応の難しさがあり、長期に渡る相談や支援が増えた。

また、令和3年度から専門職による専門的助言等の支援の確保や、協議会等の事務局など、地域連携ネットワークのコーディネートを担う中核機関を受託した。地域連携ネットワーク協議会準備会を行い、上小圏域における権利擁護支援の体制整備の検討を行った。

そのほかにも、市民後見人の養成講座を開催し担い手の育成や、後見人交流会、市民後見人交流会等を開催し、後見人の支援を行った。

今後、上小圏域で円滑に成年後見制度をはじめとした、権利擁護支援を受けられる体制を整備していくために、さまざまな機関との連携強化や資源の把握が必要だと考える。

そのため、令和4年度は、上小圏域の専門職へのアンケート実施、相談先の一覧表の作成、および、福祉関係者の相談力強化を行っていききたい。

### 13 “まいさぼ上田” 上田市生活就労支援センター事業(市受託事業)

【令和3年度事業費】	生活困窮者自立相談支援事業	22,587千円
	生活困窮者家計改善支援事業	3,712千円
	生活困窮者就労準備支援事業	3,984千円

#### 【事業概要】

主任相談支援員を兼ねた所長1人と相談就労支援員4人及び家計改善支援員1人、就労準備支援員1人を配置して生活困窮者に対する包括的な相談・支援を行っている。

#### (1) 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等が困窮状態から早期に脱却するため、支援対象者の自立と尊厳を確保しつつ、その状況に応じて包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における早期把握のためのネットワークを構築し、支援対象者の自立・就労支援を促進する。

#### (2) 生活困窮者家計改善支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等のうち、家計収支の均衡が取れていないなど、家計の問題を抱えている支援対象者に対して、家計の視点から包括的かつ継続的な支援により、生活の改善を図ることで家計収支の改善や家計管理能力の向上を図る。

#### (3) 生活困窮者就労準備支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等のうち、就労に就くことが難しい者に対して、一般就労に向けた準備として必要な生活習慣の形成、社会的能力の習得、就労体験の提供等の支援を実施し、一般就労に向けた基礎的な能力を身につける。

## 事業実績

### (1) 相談者数及び相談件数

※ 別表参照

### (2) 各種講座の開催

#### ア ペアレント・トレーニング講座（全8回）

ひきこもり当事者家族を対象に開催 延べ参加人数 60人

#### イ ペアトレ\*ぷらす講座（3回）

ひきこもりやニートの若者と一緒に生活をしている家族向けの内容で開催  
延べ参加者数 28人

#### ウ ボランティア活動（毎月1回程度）

社会参加をするきっかけづくりとしてボランティア活動を実施  
延べ参加人数 65人

#### エ 体操くらぶ（毎月1回）

主にひきこもり当事者を対象に開催 延べ参加人数 14人

各種講座の開催に加え、ひきこもり当事者を対象とした「しゃべり場」、ひきこもり当事者家族を対象とした「ママのしゃべり場」を継続的に開催することで、参加者同士の交流が図れるとともに参加者と相談機関がつながり続けることができている。

## 別表

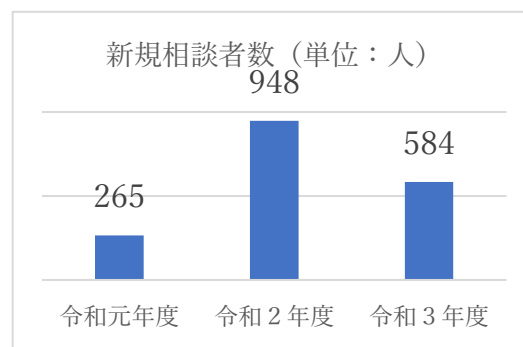
### (1) 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新規相談者数(人)	76	61	57	47	53	52	
延べ継続相談者数(人)	197	207	204	204	216	202	
延べ相談件数(件)	700	645	765	769	756	668	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談者数(人)	42	51	27	33	34	51	584
延べ継続相談者数(人)	198	189	165	153	160	175	2,854
延べ相談件数(件)	662	659	509	497	575	728	7,933

### (2) 相談者数及び相談件数の推移

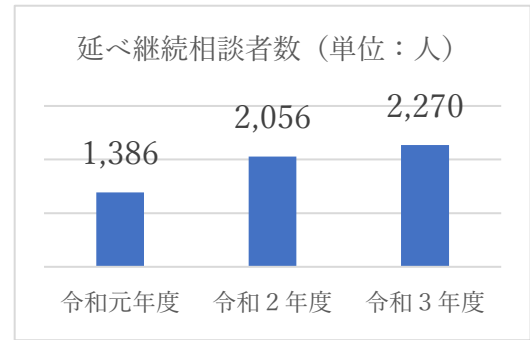
#### ア 新規相談者数(単位：人)

	相談者数
令和元年度	265
令和2年度	948
令和3年度	584



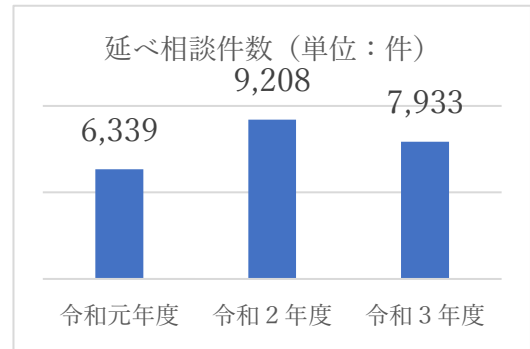
イ 延べ継続相談者数(単位：人)

	相談者数
令和元年度	1,386
令和2年度	2,056
令和3年度	2,270



ウ 延べ相談件数(単位：件)

	相談件数
令和元年度	6,339
令和2年度	9,208
令和3年度	7,933



(3) 住居確保給付金申請状況

	新規申請者数 (単位：人)	延べ申請件数 (単位：件)	支給総額 (単位：円)
令和元年度	11	16	1,642,200
令和2年度	63	111	10,257,300
令和3年度	27	84	8,736,400

評価・課題

新規相談者数、延べ相談件数は減少したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方からの相談が続いており、相談者の課題も複数重なっている状況が多く見られる。自立相談支援事業に加え、家計改善支援事業、就労準備支援事業を一体的に実施することで相談の間口が広がり、さまざまな相談を受け止めることができている。一方で、まいさぼ上田だけではサポートできず関係機関との連携が必要なケースもあり、今後更に連携を強化していく必要がある。

住居確保給付金の新規申請者数は、令和2年度に比べ6割減少しているが、コロナ禍で生活状況が改善されない方が多くいるため、先を見据えた相談対応を行っていく必要がある。

また、生活状況を改善するために転職等の決断を迫られるケースもある。転職等の支援の際は、就労体験が有効であり、引き続き就労体験の受入先企業の開拓と、緊急就労支援事業の有効活用が課題となる。

令和3年度もひきこもり当事者等を対象とした各種講座の開催を企画したが、対象者が集まらず開催できなかった講座があった。内容の見直しや情報と伝える手段の検討しながら支援メニューの拡充に取り組んでいく必要がある。

## 1 4 有償在宅福祉サービス事業

【令和3年度事業費】 2,337千円

### 福祉移送サービス事業

#### 【事業概要】

通常バス、タクシー等の公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障がい者等（車いす利用者を含む）の外出の利便を図り、社会参加の促進及び社会福祉の向上に寄与するため福祉車両で移送サービスを行っている。

#### 事業実績

##### (1) 上田地区センター

##### ア 登録者数（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用会員数	148	103	63
協力会員数	7	7	6

##### イ 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用回数(団体)	50	36	48	49	56	46		
利用会員数(人)	13	14	13	17	16	14		
協力会員数(人)	5	5	5	5	4	6		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用回数(団体)	51	47	60	54	48	42	587	
利用会員数(人)	16	15	15	16	19	12	180	
協力会員数(人)	6	5	5	5	4	3	58	

##### ウ 上田福祉移送サービスの推移

##### 利用回数(単位：回)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ	997	640	587
月平均	83.1	53.3	48.9

上田福祉移送サービス  
利用回数(単位：回)



##### 利用会員数(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ	226	174	180
月平均	18.8	14.5	15.0

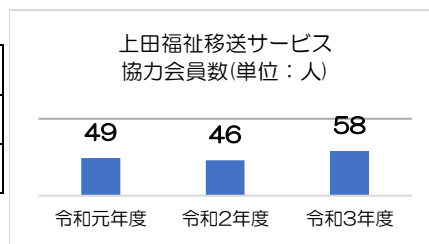
上田福祉移送サービス  
利用会員数(単位：人)





協力会員数(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ	49	46	58
月平均	4.08	3.8	4.8



(2) 丸子地区センター

ア 登録者数(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用会員数	28	31	31
協力会員数	11	10	10

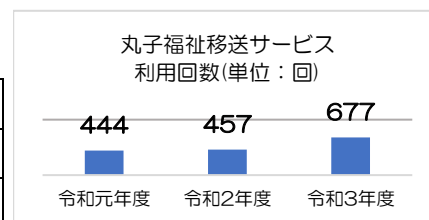
イ 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用回数(団体)	48	43	66	54	53	52		
利用会員数(人)	17	16	17	18	15	14		
協力会員数(人)	5	4	5	5	5	4		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用回数(団体)	54	70	60	56	62	59	677	
利用会員数(人)	15	17	18	11	17	14	189	
協力会員数(人)	6	6	5	3	5	5	58	

ウ 丸子福祉移送サービスの推移

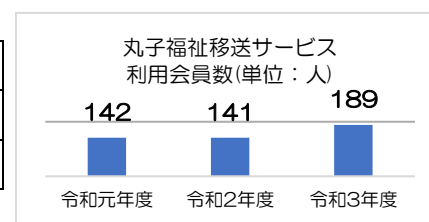
利用回数(単位：回)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ	444	457	677
月平均	37.0	38.1	56.4



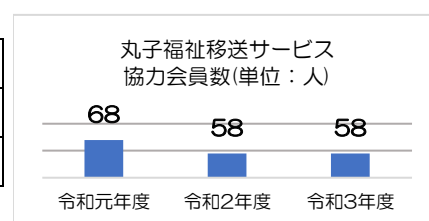
利用会員数(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ	142	141	189
月平均	11.8	11.8	15.8



協力会員数(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ	68	58	58
月平均	5.7	4.8	4.8



(3) 真田地区センター

ア 登録者数 (単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用会員数	12	11	10
協力会員数	13	11	8

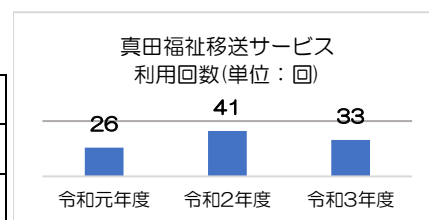
イ 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用回数(団体)	6	3	5	2	1	4	
利用会員数(人)	1	1	1	1	1	1	
協力会員数(人)	2	1	2	1	1	2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(団体)	2	3	3	0	2	2	33
利用会員数(人)	1	1	1	0	1	1	11
協力会員数(人)	1	1	2	0	1	2	16

ウ 真田福祉移送サービスの推移

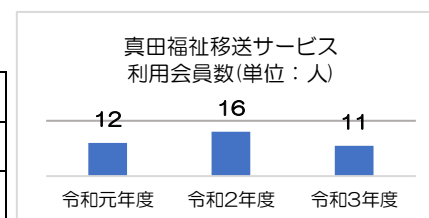
利用回数(単位：回)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ	26	41	33
月平均	2.2	3.4	2.8



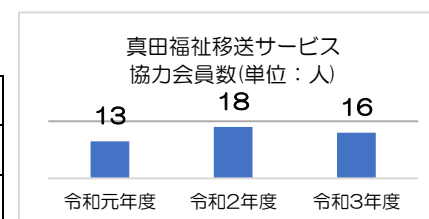
利用会員数(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ	12	16	11
月平均	1.0	1.3	0.9



協力会員数(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ	13	18	16
月平均	1.1	1.5	1.3



評価・課題

(1) 上田地区センター

より適切な事業実施を行うために、長期間利用がない利用会員に利用継続の希望調査を行い、登録の整理を行った。

令和3年度は、常に活動できる協力員が4人おり、送迎依頼と協力員の活動のバランスが良い状態で運営できたが、今後は協力員のモチベーションの維持やマナー向上のため、外部

から講師を招いて研修を行っていきたい。

協力員の募集を、社協広報のみでなく、各地区担当を通して民生委員・児童委員の方などに声掛けを行っていく。

### (2) 丸子地区センター

丸子地区は医療機関への送迎が9割を占める。本年度も新型コロナウイルス感染症に注意を払いながら、事故なく無事実施することができた。今後も継続して事業を実施していくためには、安定して活動できる協力会員の確保が最重要課題である。

### (3) 真田地区センター

サービスの利用回数が少なくなってきた一方、協力員数の減少と高齢化が進んでいることから協力員の確保も課題である。今後も、感染症対策に配慮した運行に努める。

## ご用聞きサービス事業

### 【事業概要】

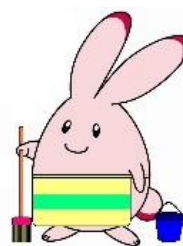
上田市にお住まいの高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、日常生活を送る上で困っていることなどをご近所の助け合いや支え合いにより支援することを目的とした有償福祉サービスである。現在、利用会員と協力会員とのマッチングを行い、協力会員の方に協力をいただき活動を行っている。

### 事業実績

令和3年度 利用会員数 102人  
利用回数 157件  
協力会員数 49人

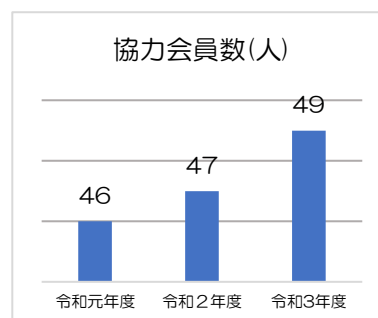
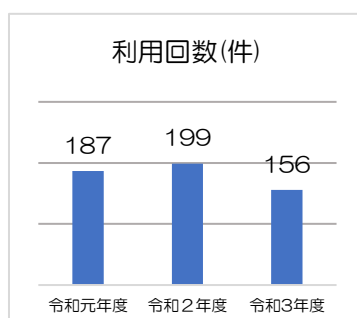
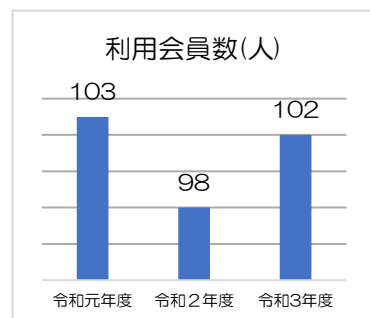
### 【活動内容の内訳】

買物代行 35件 ゴミ出し 97件 草取り 7件  
雪かき 13件 蛍光灯・電球の交換 2件 その他(剪定等) 3件



### (2) 推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用会員数(人)	103	98	102
利用回数(件)	187	199	157
協力会員数(人)	46	47	49



## 評価・課題

令和3年度は、西部、川西地域でまちづくり委員会の担当者に事業説明を行い、意見を聞く場を設けることができた。西部地域では、協力会員募集の内容を地域内回覧に、川西地域では全戸配布の生活サービスリストに掲載していただいた。

また、川西地域では、ケアマネ勉強会として、インフォーマル資源を行う他団体とともに事業説明を行い、懇談を行った。今後は、豊殿地区でも全戸配布の生活サービスリストに事業が掲載される予定である。

一方、地域や専門職からは、協力会員がいなければ使えないなど厳しい意見をいただいております。地域として支え合いの輪が広がっていくような形での、後方支援もより必要になってくると感じる。

現状では、定期的にご利用されていた方が施設入所したり、冬期に親族宅にて過ごされるようになったため、全体的な利用回数は減少している。協力会員になっても支援がない状態が続く際の、モチベーション維持につながる講習会などが必要だと感じている。

## 15 心配ごと相談事業

【令和3年度事業費】 284 千円

### 【事業概要】

どんな悩みでも、誰でも、いつでも、気軽に相談できる安心のネットワークの一環として、秘密厳守、相談はすべて無料で相談者とともに考え、良い解決方法を見出すため実施している。

#### (1) 心配ごと相談事業

全市民を対象にさまざまな相談（介護、福祉サービス、家庭内の問題等）に応じ、関係機関と連絡を密にして、問題の解決に努める。

#### (2) 法律相談事業

弁護士によるさまざまな法的な悩みを解決する無料の法律相談（予約制）

### 事業実績

#### (1) 上田地区センター

##### ア 心配ごと相談員

(ア) 相談員：1人

(イ) 相談日：毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

(ウ) 相談件数：28件（令和2年度 19件）

(エ) 相談内容：借金、家族、生活困窮、友人関係他

※ コロナ禍による傾聴電話が、相談電話と同回線を利用しており、令和3年度はコロナ傾聴電話での対応もあった。

イ 法律相談

- (ア) 相談員：弁護士1人（上田在住会からの派遣で毎月異なった弁護士が対応）
- (イ) 相談日：毎週第3土曜日 午前10時～正午
- (ウ) 開設日数：11日（コロナ禍により2月は中止）
- (エ) 相談件数：43件（令和2年度 27件）
- (オ) 相談内容：離婚、相続、金銭トラブル、不動産問題、労働問題、近隣トラブル、賃貸トラブルなど

(2) 丸子地区センター

ア 心配ごと相談

- (ア) 相談員：1人
- (イ) 相談日：毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- (ウ) 相談件数：2件
- (エ) 相談内容：遺族年金、家族内トラブル

イ 法律相談

- (ア) 相談員：弁護士1人
- (イ) 相談日：2ヶ月に1回を目安に実施 午後1時30分～午後3時30分
- (ウ) 開設日数：4日
- (エ) 相談件数：12件
- (オ) 相談内容：養子縁組、借金返済、土地の境界線トラブル他

(3) 真田地区センター

ア 心配ごと相談

- (ア) 相談員：1人
- (イ) 相談日：毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- (ウ) 相談件数：9件
- (エ) 相談内容：生活困窮、家族関係、離婚相談、訪問販売、近隣トラブル

(4) 武石地区センター

ア 心配ごと相談

- (ア) 相談員：1人
- (イ) 相談日：毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- (ウ) 相談件数：1件
- (エ) 相談内容：生活困窮

評価・課題

(1) 上田地区センター

市民の方から身近な相談窓口として、親身に寄り添いながら、内容によって法律相談を紹介し解決の糸口を見つけることができるよう対応を行った。

新型コロナウイルス感染症感染警戒レベル5であったが、検温やアルコール消毒、換気の徹底に努め安心して利用いただけるよう努め法律相談を開催した。

(2) 丸子地区センター

市民の方からの身近な相談窓口としてさまざまな生活上の相談に応じ、内容によっては他の専門機関等と連携を図りながら、相談者が一人で抱え込まずに解決の糸口を見つけるよう努めた。

また、広報に法律相談の日にちを掲載していたが、広報の発行日と法律相談の開催日が近かったため、開催を偶数月から奇数月に変更し、余裕をもって市民の方に利用していただけるように対応した。

(3) 真田地区センター

市民の方々からの身近な相談窓口としてさまざまな生活上の相談に応じ、内容によって他機関への紹介や連携など、解決の糸口となるよう努めた。

(4) 武石地区センター

市民の方から身近な相談窓口として、生活上の相談に応じた。行政や関係館と連携し、相談者が一人で抱え込まずに解決の糸口を見つけられるよう努めた。

## 16 結婚相談事業

【令和3年度事業費】 849千円

### 【事業概要】

独身男女の出会いを提供するお手伝いとして、結婚相談や、婚活パーティーなどを行っている。上田地区と丸子地区で相談を行っており、どちらの窓口でも登録を受け付けている。登録・相談いずれも無料で行っている。

また、県内広域での紹介を希望する方は「ながのマッチングシステム」への登録も受け付けている。

[上田地区]

上田市ふれあい福祉センター

毎週水曜日 午前10時～午後3時

毎週第2土曜日 午前10時～午後3時

[丸子地区]

丸子ふれあいステーション

毎週第4土曜日 午前10時～午後3時

### 事業実績

(1) 結婚相談事業

ア 相談員：4人

イ 開設日数：65日

ウ 相談件数：1,650件 来所者数（延べ）389人

（令和2年度 1,466件 来所者数 延べ506人）

エ 登録者：男性454人 女性150人 計604人

オ 成立組数：見合い42組 結婚2組

（令和2年度 見合い60組 結婚4組）

(2) ながの結婚マッチングシステム

自分のスマートフォンを使って、県内全域から相手を検索、気になった相手に申し込みをして、1対1でお見合いができるシステム

ア 登録者数 男性 7人 女性 0人

イ 相談来所者数 延べ21人

ウ お見合い 1組

エ 結婚 0組

(3) お見合企画

ア 社協のお見合い企画 ～愛の花言葉を持つバラ園で素敵な出逢いを～

開催日時：5月30日（日） 午後1時30分～午後4時

開催場所：信州国際音楽村 研修センター

参加者：男性12人 女性13人 計25人（28～39歳以下対象）

開催日：7月4日（日）

参加者：男性10人 女性12人 計22人（40歳代限定）

※両日とも、連絡先交換のみでマッチングは行いませんでした。

イ 大人の婚活&セミナー「Puremium Xmas Party」

※コロナ禍のため中止

(4) 上田市結婚支援ネットワーク実行委員会

ア 結婚相談員スキルアップセミナー

開催日：3月15日（火）

開催場所：上田市西部公民館第5学習室

現在の婚活事業について

講師：長野県婚活支援センター 婚活コーディネーター 斎藤 久美子氏

評価・課題

コロナ禍のため、お見合いの中止、結婚相談所の休止が続き、婚活を行う方々の希望に添えないことが多くあった1年であった。結婚相談員が相手の顔を見ながら、相談者の気持ちや状況など親身になって相談に応じ、適切なアドバイスができる貴重な場であることをあらためて感じた。結婚後も、折に触れ夫婦で来所してくださったり、生まれた赤ちゃんを抱いて来所されたりと、今結婚相談員の熱意ある対応が成果につながっていると感じる。今後も結婚相談員のスキルアップに力を入れるとともに、コロナ禍においても活動を継続し、将来の良きパートナーに出会えるようお見合い企画についても感染対策に配慮した上で開催していきたい。

## 17 たすけあい資金貸付事業

【令和3年度事業費】 1,828千円

生活再建に向け世帯厚生を促進を図り、地域社会の福祉増進を図ることを目的に実施している。

### たすけあい資金

#### 【事業概要】

要保護世帯またはこれに準ずる世帯に対し、応急的に貸し付ける制度で、貸付限度額は5万円まで、無利子である。

事業実績			
低所得者、高齢者、障がい者を対象に資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、世帯の自立と更生に努めた。指導を行うことにより、世帯の自立と更生に努めた。			
(1) たすけあい資金貸付状況			
	相談件数(件)	貸付件数(件)	貸付額(円)
上田、丸子、真田、武石	65	40	1,828,000
評価・課題			
借入後、連絡がつかなくなる方も多く、今後の償還指導に苦慮することが予想される。			

### 生活福祉資金(県社協受託事業)

#### 【事業概要】

#### (1) 総合支援資金

失業等により生計の維持が困難になった世帯に対して、再就職までの生活資金とした貸付である。

#### (2) 福祉資金

低所得世帯等に対し自立生活を送る上で一時的に必要であると認められた場合の貸付である。

#### (3) 教育支援資金

低所得世帯に対し高校、短大、大学または高等専門学校に就学するために必要な経費を対象とした貸付けである。

事業実績				
(1) 生活福祉資金貸付状況				
資金種類		相談件数(件)	貸付件数(件)	貸付額(円)
総合支援資金	上田地区	1,019	358	154,240,000
	丸子地区	51	17	8,550,000
	真田地区	19	8	3,600,000
	武石地区	2	2	960,000
	合計	1,091	385	167,350,000



福祉資金	上田地区	700	184	25,746,000
	丸子地区	43	15	2,450,000
	真田地区	22	9	1,420,000
	武石地区	2	1	200,000
	合 計	767	209	29,816,000
教育支援資金	上田地区	8	4	2,211,000
	丸子地区	0	0	0
	真田地区	0	0	0
	武石地区	0	0	0
	合 計	8	4	2,211,000
合 計		1,866	598	199,377,000

※ 福祉資金内訳（上田地区）

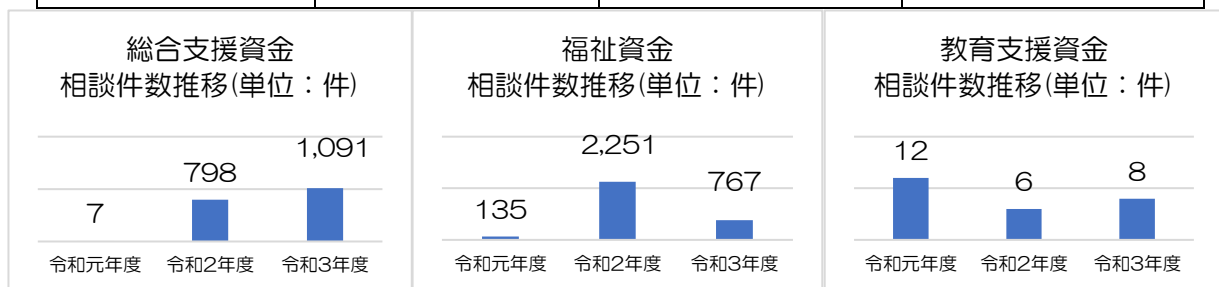
- ア コロナ特例緊急小口資金貸付 182件 24,880,000円
- イ 住宅改修費 1件 682,000円
- ウ 転宅費貸付資金 1件 184,000円

別表

(1) 生活福祉資金貸付状況の推移

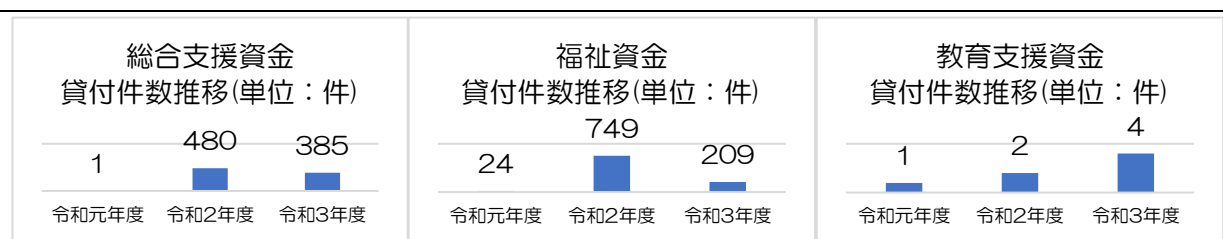
ア 相談件数（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総合支援資金	7	798	1,091
福祉資金	135	2,251	767
教育支援資金	12	6	8
合計	154	3,055	1,866



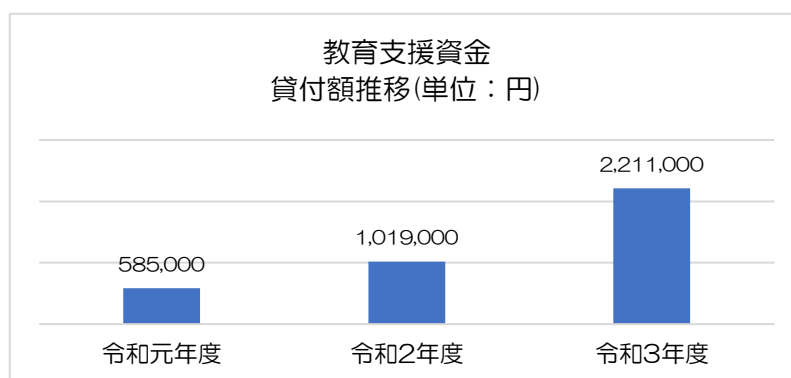
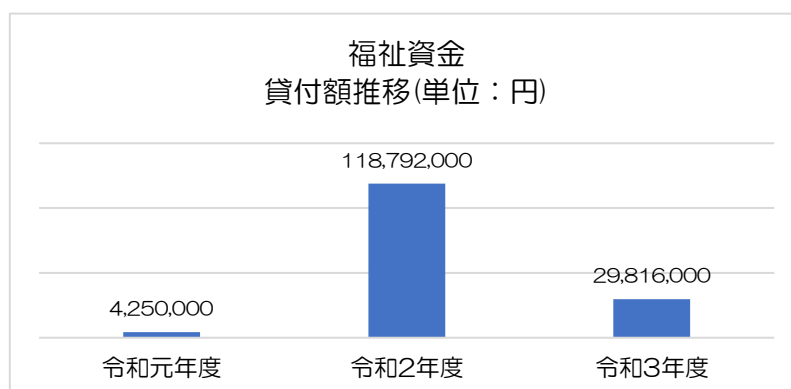
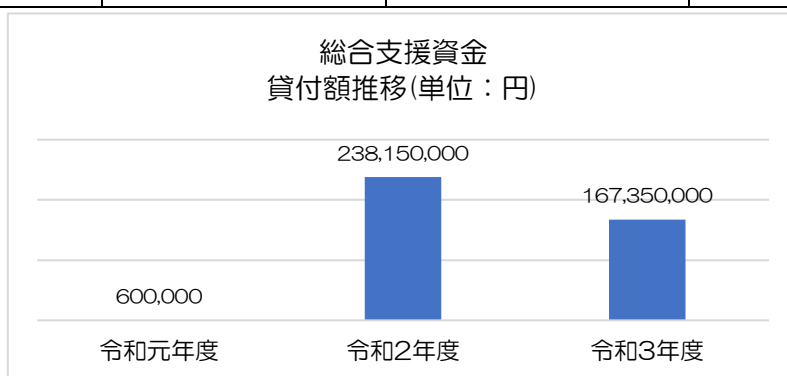
イ 貸付件数（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総合支援資金	1	480	385
福祉資金	24	749	209
教育支援資金	1	2	4
合計	26	1,231	598



ウ 貸付額 (単位：円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総合支援資金	600,000	238,150,000	167,350,000
福祉資金	4,250,000	118,792,000	29,816,000
教育支援資金	585,000	1,019,000	2,211,000
合計	5,435,000	357,961,000	199,377,000



(1) 上田地区センター

新型コロナウイルス感染症の影響で、会社等が休業となり、貸付相談者が増える状況があった。休業による減収はあるが、もともと無理なローンを組んでいて、消費者金融に多額の借り入れがあること等、複合的な問題を抱えているケースも多くみられ、他の専門機関と連携を取りながら対応を行った。失業状態に陥ってから、求職活動を積極的にしていない場合もあり、まいさぼ上田と連携を取りながら、自立に向けた支援の必要性を感じた。コロナ禍ではあるが、先を見据え自立支援につながるような相談対応を心掛けていきたい。

(2) 丸子地区センター

新型コロナウイルス感染症に起因する生活福祉資金特例貸付については、まいさぼ上田やその他関係機関と連携を図り、早期に生活再建できるよう支援を行った。令和4年1月以降は、貸付けの相談件数が減少傾向にある。

また、生活福祉資金の滞納者に対して、電話や訪問による償還指導を実施し、償還完了に至ったケースがある一方、すでに転居し連絡先が不明な方もおり、県社協と情報共有や連携を図り対応していく必要がある。

(3) 真田地区センター

コロナ禍における特例貸付けについて、緊急小口資金は9件1,420,000円の貸付け、総合支援資金は8件3,600,000円、うち新規貸付5件2,250,000円、延長貸付1件390,000円、再貸付2件960,000円となっている。

償還金未納について、緊急小口資金1件が長期間にわたり償還がされておらず、電話や通知文にて償還指導を行っている。なお、県社協からも同様に償還指導を行っているが現状では償還には至っていない。

(4) 武石地区センター

まいさぼ上田や県社協、行政と連携して貸付相談に対応した。

また、償還滞納者についても状況把握を行い償還指導に努めたい。

## 18 ボランティア地域活動センター事業

【令和3年度事業費】 1,001千円

### 【事業概要】

地域住民のボランティア活動に関する理解を深めるとともに、あらゆるボランティアとの協働による育成援助とボランティア活動の推進を図ることを目的とする事業

### 事業実績

#### (1) 上田ボランティア地域活動センター

##### ア ニーズの把握

(ア) 相談活動によるニーズの把握

(イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握

(ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

##### イ 広報、啓発

(ア) 情報提供

啓発のためのボランティアセンターパンフレット配布、ボランティアコーナー掲示板・社協ホームページでのボランティア情報提供、「社協うえだ」（偶数月の年6回全戸配布）へボランティア情報の掲載

(イ) 新聞等報道機関の活用

信濃毎日新聞、東信ジャーナル、信州民報、週刊うえだ、上田ケーブルビジョン等

(ウ) 収集活動

使用済み切手整理後、海外支援団体（日本キリスト教海外医療協力会）及び国内NPO法人（誕生日ありがとう運動本部・世界の子どもにワクチンを日本委員会）へ86.74kg送付

(エ) ボランティア保険等の普及、保険への加入促進

・ボランティア活動保険 215件 3,015人

・ボランティア行事用保険 109件 2,325人

・上田市福祉ボランティア保険掛金補助金交付制度代理事務による補助 1,476人

##### ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

・ユニバーサルスポーツ体験（全2回）コロナ禍のため中止

・傾聴講座（全2回）コロナ禍のため中止

(イ) 上田ボランティア連絡協議会の活動支援

平成25年度から、事務局を上田ボランティア地域活動センターに設置し、事業の充実に向けて取り組んだ。新規会員を増やすため、ボランティア保険の手続に来所される方などに積極的に声掛けをし、3団体と個人ボランティア4人が新たに加入した。

・しおじり子どもカフェ（5月16日、6月20日、7月18日、11月28日）4回開催

- ・情報交換会（6月18日、7月16日、11月18日、12月10日）4回開催
- ・上小ブロックボランティアフォーラムへの参加（12月11日）

## エ 社会資源活用、ネットワーク促進

### （ア）ひざ掛の配布

製 作：モチーフの会

対象者：高齢者及び重度障がい者

配布地区 川西地区 103枚（配布地区は上田地区内を毎年順番に回している。）

### （イ）おうちでボランティア

コロナ禍でも行えるボランティア活動として、手紙や作品等を募集し、届いた作品を施設へ配布し、つながりづくりを行った。

作成者：延べ5団体

作 品：メッセージカード、壁面飾り等 149点

届け先：市内福祉施設9か所

### （ウ）おうちで切手整理ボランティア

コロナ禍でも行えるボランティア活動として、普段ふれあい福祉センターを会場に行っている切手整理ボランティアを、自宅に持ち帰って切手整理を行う形式を取り、活動を促した。

協力者：延べ人数66人、団体1団体

### （エ）社協傾聴電話

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問による傾聴ボランティアの活動が制限されたことから、社協職員による傾聴電話を実施した。

傾聴件数：延べ76件

## オ 福祉教育の推進

### （ア）社会福祉普及校の指定

内 容： 児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に、小・中学校及び高等学校を対象に、社会福祉の普及を推進する。普及校1校に対し活動費上限50,000円の補助を行い、それぞれ地域の実情に合わせ、特性を生かした活動を展開した。

指定校：小学校16校、中学校6校、高校3校 計25校

社会福祉普及校連絡会議 コロナ禍のため中止

個別に学校を訪問し、担当教員への事業説明のほか、意見交換を行った。

### （イ）出前福祉体験事業

内 容： 福祉体験を目的とした活動について、資材貸出、講師紹介及びハンディキャップ体験（車いす、高齢者擬似体験など）を学校等に出向いて行った。

対 象： 小学校2件、中学校4件、高校1件、自治会1件、企業1件

計9件 対象者806人

(ウ) 福祉体験プログラムの展開

内 容： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行っていた施設等へのボランティア活動は中止し、コロナ禍でもできる活動を企画し、実施した。

○サマーチャレンジボランティア（対象 上田地区の中学生・高校生）

- ・児童館へ贈るマジックグッズ製作（7月27日） 参加者：28人
- ・上田城跡公園ごみ拾い（7月29日）参加者：21人
- ・令和元年東日本台風災害の被災写真洗浄  
（8月1日、2日、3日、5日、7日） 参加者：合計148人

○スプリングチャレンジボランティア（対象 上田地区の中学生・高校生）  
コロナ禍のため中止

- ・ユニバーサルデザイン勉強会とユニバーサルスポーツ体験「ボッチャ」  
3月19日 コロナ禍のため中止
- ・認知症サポーター養成講座とユニバーサルスポーツ体験「ボッチャ」  
3月23日 コロナ禍のため中止

カ 災害時の訓練、協力（上田地区）

(ア) 災害救援ボランティア

災害救援ボランティア登録数 個人 67人 団体 10団体

災害救援ボランティア訓練及び研修

上田市の総合防災訓練中止 研修会形式で実施

12月4日 上田市ふれあい福祉センター 2階 大会議室

内 容：「各課・専門職としてできること～社協全体で関わる災害救援ボランティアセンターの機能について～」

講 師：長野県社会福祉協議会 まちづくりボランティアセンター 福澤 信輔氏

参加者：社協職員39人

キ 上田ボランティア地域活動センター運営委員会

(ア) 運営委員会の開催

第17回上田市ボランティア地域活動センター運営委員会 1月12日（水）

第18回上田市ボランティア地域活動センター運営委員会 3月9日（水）

(2) 丸子ボランティア地域活動センター

ア ニーズの把握

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

- (ア) 新聞等報道機関の活用
- (イ) 「鈴木クラジ文庫」による大型絵本等の貸出（39件79冊）

(ウ) 収集活動

使用済み切手整理中

(エ) ボランティア保険等の普及、加入促進

- ・ボランティア活動保険                   23件     444人(21団体442人・個人2人)
- ・ボランティア行事保険                   1件     60人
- ・サロン保険                               21件     196人
- ・上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助   422人

ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・ボランティア養成講座「点字体験教室」

内 容：点字器やパソコンを使う点字体験に触れることで、視覚障がい者への理解と点字ボランティア活動について学ぶために実施した。

開催日：5月10日（月）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

講 師：点訳ボランティア「ブライユ丸子」

参加者：19人

- ・音訳ボランティアフォローアップ研修

内 容：音訳朗読ボランティア「お話を楽しむ会」を対象に絵本の読み語り講座を実施した。

開催日：基礎編 6月19日（土）参加者16人

実践編 7月3日（土）参加者14人

講 師：上田女子短期大学総合文化学科 専任講師 斎藤 直人氏

- ・ボッチャ体験教室

内 容：障害者スポーツのボッチャを周知し、地域活動等に取り入れていただくため実施した。

開催日：11月8日（月）参加者16人、11月18日（木）参加者10人

講 師：社協職員

- ・初めて学ぶ手話講座

内 容：手話に興味を持つ市民を対象に、あいさつ等を学ぶ講座を実施した。

開催日：1月13日（木）参加者6人

1月20日（木）コロナ禍のため中止

講 師：上田市聴覚障害者協会 金沢 明子氏

アシスタント 丸子手話サークル「手のひらの会」

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) 丸子ボランティア連絡協議会の活動支援

- ・会員交流事業

視察研修、定期交流会、多文化共生事業はコロナ禍のため中止

・地域交流事業

5月19日（水）ボランティア連絡協議会総会

7月24日（土）いきいきフェスティバル2021（慶祝記念撮影のみ）事業参加

11月11日（木）ボランティア連絡協議会主催「防災講座」

演 題：防災減災のための心の科学 ～リスク社会をいかに生きるか～

講 師：信州大学人文学部教授（信州大学地域防災減災センター長）

菊池 聡 氏

12月11日（土）上小ブロックボランティアフォーラム（長和町）役員参加

(イ) その他の活動支援

・丸子モチーフの会

独居高齢者等へモチーフの膝掛を配布

121枚（内村地区、丸子第一地区、丸子第二地区）

・Eキャップの会（やさしい帽子の会）

闘病生活を送るガン患者の方にタオルの帽子を提供 提供数605枚

信州上田医療センター、佐久医療センター及び個人へ提供

・傾聴ボランティアまるこ

傾聴の記述により話を聴いてほしい人に寄り添うボランティア活動

利用者（個人宅、高齢者施設）※現在訪問を休止している。

・丸子珈琲倶楽部

男性ボランティアグループの育成と地域交流スペースの活用、ボランティアセンターの活動周知を目的に月1回「珈琲サロンさざなみ」の開催や出張サロンの実施

※感染症の状況を鑑み、10～12月の3回開催及び出張サロン（海戸）1回実施

オ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

児童・生徒が体験を通して、社会福祉への理解と関心を高め、日頃から助け合いの気持ちを育むことを目的として指定した。普及校1校に対し活動費50,000円までの補助を行った。（小学校4校、中学校2校、高校1校）

(イ) 出前福祉体験事業

車いす体験学習会：7月1日（木）丸子北中学校 23人

アイマスク体験：8月24日（火）丸子中央小学校「手話・点字クラブ」

コロナ禍のため中止

ボッチャ体験教室：10月12日（火）丸子修学館高校 25人

ボッチャ体験教室：11月25日（木）丸子修学館高校 8人（大会出場生徒）

(ウ) 講師派遣（ボランティア団体）

派遣先：丸子中央小学校「手話・点字クラブ」7月13日（火）、8月31日（火）

講 師：丸子手話サークル「手のひらの会」 宮下 きよ美 氏

派遣先：丸子中央小学校「手話・点字クラブ」10月12日（火）、10月26日（火）

講 師：点訳ボランティア「ブライユ丸子」



- (エ) サマー体験ボランティア 2021  
夏季休暇を利用して、ボランティア団体での体験学習を実施した。  
開催期間：7月30日～8月19日  
対象：丸子修学館高校 21人  
受入団体：和の会（手話）、MBAC（マジックハルソ）、ゆうあいまるこ（日本語教室）、  
ほほえみの和（手話ダンス※感染症拡大のため受入中止）  
その他：「エシカル消費」（ボランティアセンター企画）について講習会を行った。

(3) 真田ボランティア地域活動センター

ア ニーズの把握

- (ア) 社会福祉施設、ボランティア団体、NPO法人の把握  
(イ) 相談による把握

イ 広報、啓発

- (ア) 福祉用具の学校への貸出アイマスク27枚  
(イ) ボランティア保険の普及と加入促進  
ボランティア活動保険加入 9団体 159人、(内 天災保険 35人)  
ボランティア行事用保険加入 43件 972人  
送迎サービス補償保険加入 0人  
上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 150人

ウ 養成研修・組織化

- (ア) 各種講座の開催
- ・ ボランティア養成講座  
関心があることから勉強していただき、家族、地域などの身近なところからボランティア活動をしていただけるように、基礎的な知識や技能を学んでいただくための講座を計画したが、コロナ禍のため中止した。  
①9月13日（月）おさえておきたいリンパのポイント コロナ禍のため中止  
講師 中沢 由美子 氏  
②9月27日（月）ハンドトリートメントの実践 コロナ禍のため中止  
講師 中沢 由美子 氏
- (イ) ボランティア連絡協議会加入者数（団体13、施設2）
- (ウ) サマーチャレンジボランティア
- ・ 真田中学校を対象に「被災写真洗浄ボランティア」を計画。  
8月4日（水）、8月6日（金）の2日間のうち1日は実施、もう1日はコロナ禍のため中止とした。
- (エ) 第32回ふれあい広場 コロナ禍のため中止
- (オ) いきいきサロンへの協力
- ・ いきいきサロンで使える資料を作成し活用、講師の派遣や職員も参加した。  
紹介件数 8件（実施：5件 中止：3件）

(カ) 地域清掃ハイキング コロナ禍のため中止

(キ) 真田ボランティア連絡協議会の活動支援

- ・ 役員会、代議員会への協力
- ・ ボランティア連絡協議会視察研修  
11月17日（水） 別所温泉 18人参加

## エ 福祉教育の推進

(ア) 福祉体験学習

- ・ 真田中学校  
5月 ベルマーク回収&紙パック回収のポスター作製  
11月19日（金）、25日（木） アイマスク体験、車いす体験  
11月 パラスポーツ（ボッチャ）体験  
6月、11月、12月 第66回ユニセフ学校募金、赤い羽根共同募金、日本赤十字社 令和2年度降雨災害義援金
- ・ 菅平小・中学校  
7月15日(木)、10月6日（水） 在宅・高齢者、環境美化活動  
根子岳と四阿山のごみ拾いや笹刈り、ゲレンデやジャンプ台下の草刈り整備  
11月5日(金) 福祉講演会 「命と性の教室」 講師：木島 知草氏  
10月7日(木)、3月25日(金) 使用済み切手、アルミ缶等回収活動
- ・ 長小学校  
在宅、高齢者、環境美化活動 ゴミ拾い・空き缶拾い  
11月16日（火） 視覚障がいについての講演とアイマスク体験（4年生）  
11月24日（水） 認知症サポーター養成講座（5年生）  
12月3日（金） 高齢者疑似体験（6年生）
- ・ 本原小学校  
在宅・高齢者、環境美化活動 花の栽培 育てた花を地域への配布
- ・ 傍陽小学校  
在宅・高齢者、環境美化活動 クリーン登校 6月から2月（計8回）  
共同募金の意図を職員から説明

(イ) サマーチャレンジボランティア

- ・ 真田中学校を対象に令和元年東日本台風で被災した写真の洗浄を行う「被災写真洗浄ボランティア」を計画。  
8月4日（水）30人参加  
8月6日（金）コロナ禍のため中止

(ウ) 小中学生の福祉体験学習（出前講座）

- 5月21日（金）菅平中学校1年生～3年生 高齢者疑似体験・車いす体験
- 11月16日（火）長小学校4年生 アイマスク体験
- 11月19日（金）11月25日（木）真田中学校1年生 アイマスク体験・車いす体験
- 12月3日（金）長小学校5年生 高齢者疑似体験

オ ボランティア活動状況

- (ア) デイサービスセンターへ個人ボランティア派遣 コロナ禍により中止
- (イ) 小・中学校へ福祉体験個人ボランティア派遣 2人
- (ウ) 真田モチーフの会 傍陽地区の高齢者へ手作りのひざ掛けを配布

(4) 武石ボランティア地域活動センター

ア ニーズの把握

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズ把握 ニーズ件数 11件
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報・啓発

- (ア) 住民参加のボランティア活動を計画し、開催した。
- (イ) シトラスリボンプロジェクトに賛同し、シトラスリボンを配布しPRに努めた。
- (ウ) ボランティア保険の普及、保険の加入促進
  - ・ボランティア活動保険 4件 87人
  - ・ボランティア行事用保険 8件 240人上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 87人

ウ 養成研修・組織化

- (ア) ボランティア養成講座の開催
  - ・ドリップ珈琲やアイス珈琲の淹れ方について実施日 6月25日(金)  
講師 まめ家オーナー 芝野 泰彦氏  
参加者 13人
- (イ) 武石ボランティア連絡協議会加入者数  
団体 13団体 228人 個人18人



ボランティア養成講座の様子

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

- (ア) 高齢者クラブ女性部による高齢者福祉施設での洗濯物たたみ  
5月～12月 月2回 延べ参加者 35人
- (イ) 個人による施設などへのボランティア活動
  - ・本の読聞かせ、バルーンアート、サックス演奏
- (ウ) 武石ボランティア連絡協議会活動支援
  - ・「おさんぼギャラリー」参加  
10月30日(土) ギャラリークラノマ  
ふれあいカフェ武石によるドリップ珈琲の提供 3人
  - ・武石の縁が輪  
4月～3月 (第2、第4木曜日) 14回 延べ280人

- ・武石えん結びの会（武石えんカフェ）  
4月～3月（第3土曜日） 9回 延べ276人
- ・アレチウリ・セイヨウカラシナ駆除作業  
実施日 6月12日（土） 参加者30人
- ・武石ボランティア連絡協議会講習会  
実施日 12月8日（水） 参加者14人  
災害時のハイゼックスの炊き出し訓練  
災害時に役立つ新聞で作る防災グッズについて



炊き出し訓練の様子

## カ 福祉教育の推進

### (ア) 社会福祉普及校の指定

児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に指定した。普及校1校に対し活動費50,000円までの補助を行う。（小学校1校、依田窪南部中学校については、長和町社会福祉協議会と合わせて1校25,000円の補助をしている。）

### (イ) 福祉体験学習

依田窪南部中学校

10月20日（水）中学1年生

車いす体験、高齢者疑似体験 74人



福祉体験学習の様子

## 別表

### (1) 上田地区センター

#### ア ボランティアニーズ状況（単位：件）

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	5	3	2	10	49	69

### (2) 丸子地区センター

#### ア ボランティアニーズ状況（単位：件）

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	1	2	8	18	8	37

#### イ 丸子ボランティア地域活動センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用団体（団体）	22	22	20	21	12	16	
利用人数（人）	135	125	135	133	76	95	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用団体（団体）	20	21	16	8	8	5	191
利用人数（人）	139	143	118	51	35	28	1,213

(3) 真田地区センター

ア ボランティアニーズ状況(単位:件)

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	0	3	0	0	1	4

イ 真田ボランティア地域活動センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用団体(団体)	2	2	1	6	2	1	
利用人数(人)	7	6	3	17	5	3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用団体(団体)	1	4	5	1	0	0	25
利用人数(人)	2	11	14	3	0	0	71

(4) 武石地区センター

ア ボランティアニーズ状況(単位:件)地区

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	1	1	1	7	1	11

評価・課題

(1) 上田地区センター

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行っているイベントや会議等を中止する事となったが、その中でも行える活動、形式を模索しながら実施した。

例年行っている学生を対象とした長期休業を利用し、施設等でのボランティア活動を行うサマーチャレンジボランティアについては、引き続き施設での受け入れが困難な状況から、ボランティア団体の協力で、ごみ拾い活動、被災写真洗浄活動、マジックグッズの作製といった形で実施した。

また、令和2年度から始めた「おうちでボランティア」として、手紙や作品を募集したところ、令和3年度は高校の福祉活動を行う部活の活動として、多くのメッセージカードや作品が集まり、福祉施設へ送ることができた。福祉施設からも返事をいただけることがあり、つながり作りが行えた。

福祉教育の分野として、学校への個別訪問による意見交換の場を設けたことで、社協の事業を広く知っていただき、学校での困りごとのくみ上げや出前福祉体験の依頼にもつながった。

ボランティア連絡協議会との連携については、加入促進を図り、パンフレットの作成・配布を行い、ボランティア連絡協議会の活動について周知を図った。

また、既存のボランティア連絡協議会加入者・団体へは、意見交換や交流を図ることを目的に、定期的に情報交換会の場を設けた。

引き続き、コロナ禍でも可能な活動の検討を行うため、ボランティア関係者や福祉施設関係者へのニーズのくみ上げを行い、新たな活動の開拓に努めていく。

(2) 丸子地区センター

当ボランティアセンターは、丸子地域の特性を生かし、ボランティアの活動拠点として利便性良く活動され、住民への周知もされてきた。

しかしながら、現在まで続く新型コロナウイルス感染症の影響により地域サロン中止や傾聴訪問の自粛を始め、多くの団体が活動を中止するなど団体の活動もままならなくなっている。ボランティア団体の高齢化に伴う活動の縮小やコロナ禍でのモチベーション維持が問題となる中で、どのように団体を支えていくかが課題となっている。

(3) 真田地区センター

コロナ禍により、活動がままならない年度であったが、小中学校でのアイマスク体験や車いす体験、高齢者疑似体験などを実施し、子どもたちが障がいのある方や高齢者の方についての理解を深めることができた。

また、ボランティアの高齢化が課題としてあげられる、今後、若い世代のボランティア育成に取り組んでいきたい。

(4) 武石地区センター

「ふれあいカフェ武石」の活動が注目され、地域活動や各種イベントでの珈琲の提供依頼が増えているため、メンバーの拡充とボランティアの養成を目的として講座を開催した。講師を招き、ドリップ珈琲とアイス珈琲の淹れ方を学習し、活動の振り返りも行った。

コロナ禍ではあったが、春季の「アレチウリ・セイヨウカラシナの駆除作業」を6月12日（土）に開催することができた。ボランティア活動が中止や縮小など活動範囲が限定的になる中で、ボランティア団体をどのように支えて行くかが課題である。

## 19 地域子育て支援拠点事業【連携型、一般型】（市受託事業）

【令和3年度事業費】 7,900千円（連携型5,380千円、一般型2,520千円）

### 【事業概要】

未就園児の親子を対象に子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育てができることを目的とした事業であり、上田市からの委託を受け、4か所の子育てひろば[連携型3か所(大星・神科・東塩田児童館内)、一般型1か所(清明子ども館)]を開設し運営している。

### 事業実績

地域における子育て支援拠点として、親子で遊んだり、他の親子と交流したり、子育ての悩みなどを相談できる場としてサービスの提供をしており、さまざまな遊具や遊びを実施した。保護者のための講座や親子での講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催の中止や変更を行った。

また、自治会内に回覧や掲示をして、子育てひろばの利用方法や毎月の講座、子育てひろばの様子を知らせるなど周知に努めた。子育てひろばスタッフ研修会、救急法講習会に参加し、

職員の資質向上を図った。

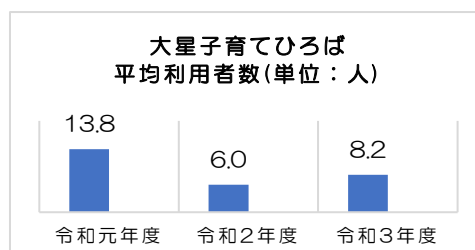
会 場	開設曜日	開設時間
大星児童センター	火・木・金	午前9時30分～午後12時30分
神科児童センター	火・水・木	午前9時30分～午後12時30分
東塩田児童センター	月・火・水	午前9時30分～午後12時30分
清明子育てひろば	月・水・金	午前9時30分～午後2時30分

別表

(1) 平均利用者数 推移

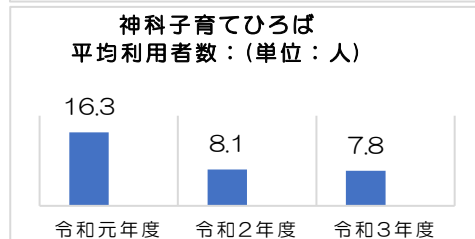
ア 大星子育てひろば

	平均利用者数(人)
令和元年度	13.8
令和2年度	6.0
令和3年度	8.2



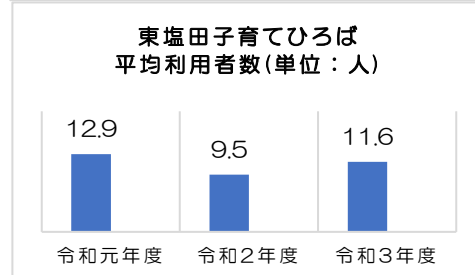
イ 神科子育てひろば

	平成利用者数(人)
令和元年度	16.3
令和2年度	8.1
令和3年度	7.8



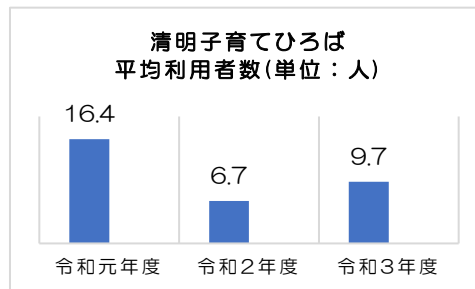
ウ 東塩田子育てひろば

	平均利用者数(人)
令和元年度	12.9
令和2年度	9.5
令和3年度	11.6



エ 清明子育てひろば

	平均利用者数(人)
令和元年度	16.4
令和2年度	6.7
令和3年度	9.7



評価・課題

コロナ禍で、子育てひろばの休館が長期間続くことがあった。健康推進課、子育て子育て支援課と連携し、厳しい状況に追い込まれている心配がある家庭に連絡をし、様子を聞いた。必要に応じて利用人数や利用時間に制限を設けて対応した。

「実家に帰ることもできずにいた」「大人と話ができた」と話し、子育てひろばが心の拠り所になっていることと、コロナ禍で疲労と孤立感を強めている親たちの姿を知ることができた。

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつも、少人数、短時間、予約制等少しずつでも親子とつながりが保てるよう、子育てひろばの開催を子育て子育て支援課と連携し検討していく。

今後も地域のボランティア、子育てサポーター、子育てコーディネーターとの連携をとりながら、心地よい、すぐそばにある子育てひろばとして、子育ての支援をしていきたい。

## 20 上田市高齢者福祉センター管理事業（指定管理事業）

【令和3年度事業費】 35,746千円

### 上田市高齢者福祉センター

#### 【事業概要】

市内に在住する60歳以上の高齢者の方の生きがいと健康づくりを目的として昭和56年に開設された。平成9年4月1日からは上田市社会福祉協議会が管理運営を行っている。

展望風呂を楽しみに来館される方が多く、各種同好会活動等も盛んに行われている。

他にも、高齢者介護課が主催する介護予防体操や自主事業として行っている初級パソコン教室があり、大勢の方々に利用していただいている。センター内では利用者の趣味を生かした各種クラブが26クラブあり、約600人の会員が積極的な活動を行い、特に高齢者文化祭や高齢者作品展での発表や作品展示に向けて仲間との交流を図りながら楽しんで取り組んでいる。

また、当センターを主会場に3年間の学習形態で上田市高齢者学園の授業が行われており、卒業後は各種同好会やクラブ活動をはじめ、学んだ知識を地域での活動に役立てている。

#### 事業実績

##### (1) 利用状況

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、年間開館日数の約3割にあたる99日が休館となり、利用者は例年の半分程度に減少した。

##### (2) その他事業

高齢者文化祭はコロナ禍のため中止

##### (3) 利用人数

ア 教養クラブ活動(26クラブ)	参加者	12,145人
イ 高齢者初級パソコン教室(130回)	参加者	525人
ウ 実習生・ボランティア(11回)	参加者	33人

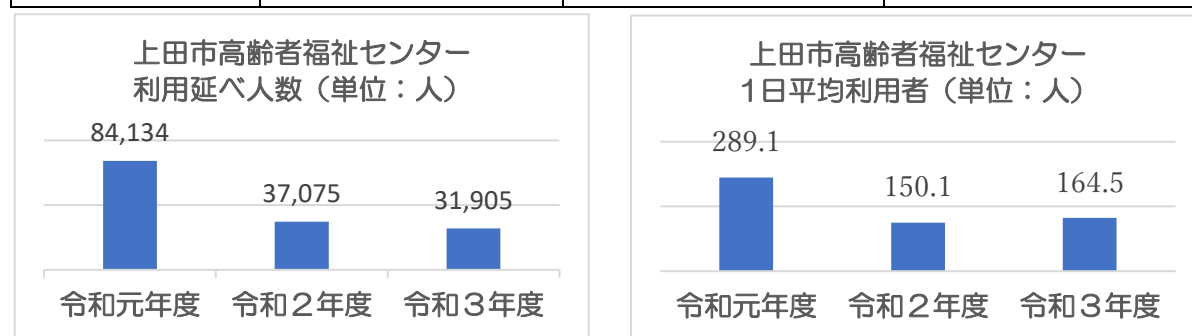


(4) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	3,691	2,796	3,952	4,560	357	692	
開館日数(日)	25	23	26	25	5	5	
1日平均利用者(人)	147.6	121.6	152.0	182.4	71.4	138.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	4,622	4,880	4,623	1,732	0	0	31,905
開館日数(日)	26	24	24	11	0	0	194
1日平均利用者(人)	177.8	203.3	192.6	157.5	0	0	164.5

(5) 上田市高齢者福祉センター利用状況の推移

	利用延べ人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
平成元年度	84,134	291	289.1
令和2年度	37,075	247	150.1
令和3年度	31,905	194	164.5



評価・課題

令和2年度から引き続き新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、センターの休館や、クラブ活動の中止等があり、利用者の減少が大きかった。事業内容についても、令和2年度同様、介護予防体操や初級パソコン教室は人数を制限し、感染防止対策を徹底しながら行い、高齢者文化祭は中止とした。施設的环境整備面では、利用者が心地よく過ごしていただけるように努めているが、老朽化が進み年々修繕箇所や設備の不具合が増えているのが課題となっている。

## 高齢者学園事業(市受託事業)

### 【事業概要】

「仲間づくり、健康づくり、生きがいくくり」を行動指針に、3つの学習分野(より良い社会参加・健康と生きがいくくり・豊かな長寿社会の実現)を柱に、地域の中でも主体的に社会参加し、地域社会の発展に寄与することを目指して学習に取り組んでいる。

また、講義評価アンケートを実施するとともに、学生からのさまざまな要望や意見を取り入れ、学園生の自発的な学園運営に生かしている。

事業実績	
<p>令和2年度が休校となったため、新入生は募集せず、再度同じ学年での学習計画とした。コロナ禍のため午前みの講義とし、1日研修や交流会、研修旅行、クラブ発表会も中止とした。講義日数は感染拡大による休講もあり年間計画の半分程度しか実施できなかった。</p>	
(1) 学生数	1年生 33人、2年生 37人、3年生 20人
(2) 講義回数	1年生 10回、2年生 10回、3年生 8回
(3) クラブ活動	8種類のクラブ活動から選択し、講義とは別の日程で年間7回実施予定だったが、コロナ禍のため各学年3回の実施
(4) 運営委員会	第1回運営委員会 11月11日(木) 第2回運営委員会 コロナ禍で中止
(5) その他	講義評価アンケートの実施
評価・課題	
<p>令和2年度に休校としたためか、退園者も多く、学生数は減少している。令和4年度もしばらくは午前みの講義とし、感染予防対策を徹底しながら、徐々に交流会や研修旅行なども実施できるよう努めていきたい。</p>	

## 2 1 上田市丸子老人福祉センター設置管理事業（市補助事業）

【令和3年度事業費】 15,895千円

### 【事業概要】

高齢者の心身の健康の保持のため、健康相談、指導、入浴、休養、レクリエーションなどを行うとともに、文化教養の向上を図るため老人のクラブ活動等を行い、高齢者福祉に総合的に寄与することを目的に昭和54年に開設した。

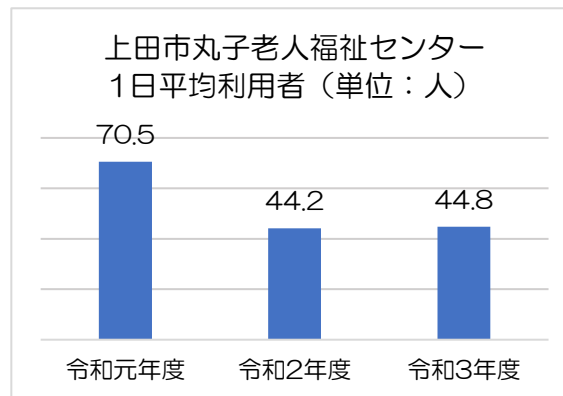
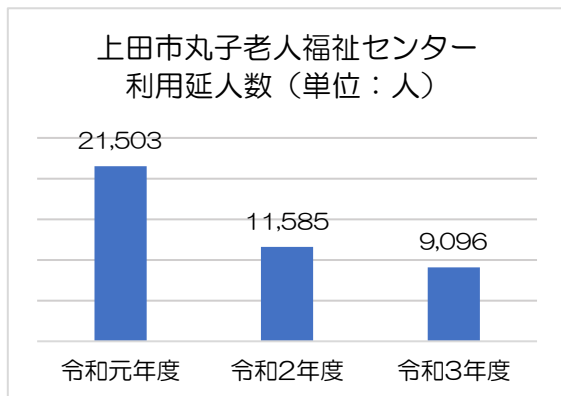
開設当時から、老人クラブの活動や高齢者憩いの場所として多くの方に利用されている。

事業実績							
(1) 利用状況							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	1,253	948	1,134	1,311	139	110	
開館日数(日)	26	26	26	27	5	5	
1日平均利用者(人)	48.2	36.5	43.7	48.6	27.8	22.0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	1,169	1,364	1,177	491	0	0	9,096
開館日数(日)	26	26	24	12	0	0	203
1日平均利用者(人)	45.0	52.5	49.1	41.0	0	0	45

(2) 上田市丸子老人福祉センター利用状況の推移

	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和元年度	21,503	305	70.5
令和2年度	11,585	262	44.2
令和3年度	9,096	203	44.8

別表



評価・課題

コロナ禍のため感染対策をとり利用者対応をしているが、感染警戒レベルが長期間下がらず、令和4年1月から休館が続き、令和3年度の開館日数は通年の6割程であった。入浴設備の老朽化が著しいため、休館中にボイラーの試運転を行い施設維持に努めている。

課題としては、施設が老朽化しており耐震化も未実施である。

また、冷房設備がないため夏の温度管理に苦慮しているため、改善に向けて市に要望していきたい。令和3年度でマイクロバス運行が終了したことにより、単位クラブ及び団体の施設利用減少が懸念される。

## 2.2 上田市真田老人福祉センター管理事業(指定管理事業)

【令和3年度事業費】 8,124千円

【事業概要】

高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなど憩いの目的に利用されている。

事業実績

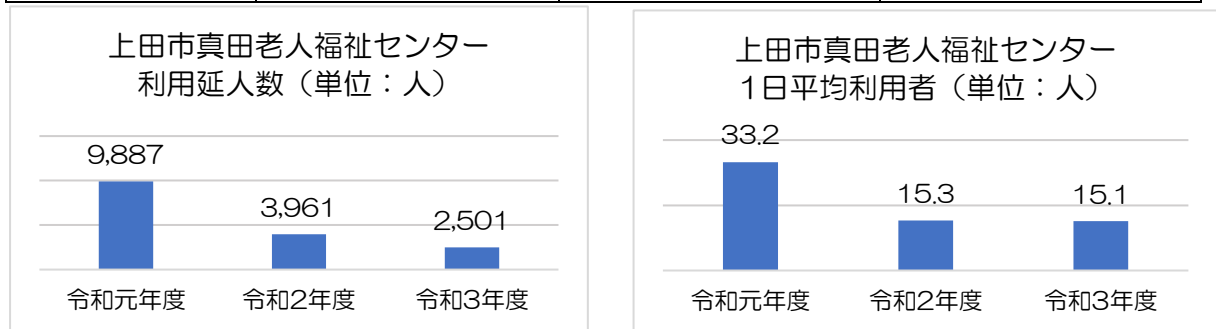
(1) 上田市真田老人福祉センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数(人)	459	435	382	411	69	0
開館日数(日)	26	26	26	27	5	0
1日平均利用者(人)	17.7	16.7	14.7	15.2	13.8	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数(人)	0	259	325	161	0	0	2,501
開館日数(日)	0	20	24	12	0	0	166
1日平均利用者(人)	0	13.0	13.5	13.4	0	0	15.1

(2) 上田市真田老人福祉センター利用状況の推移

	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和元年度	9,887	298	33.2
令和2年度	3,961	259	15.3
令和3年度	2,501	166	15.1



評価・課題

引き続き令和3年度から5年間指定管理者の指定を受けた。ボイラー設備の修理のため、一時休館と管内施設の一部利用制限等で維持管理を行った。高齢の方々が健康で生きがいのある生活を送るため、自由に来館し利用していただき、趣味を通じた仲間づくりなどの憩いの場となるよう施設運営に努めた。

開館日数が例年の6割弱であったことに加え、利用自粛もあり、利用者数は例年の4分の1程度まで減少した。コロナ禍の状況を踏まえた上で、利用者数減少傾向への対応が課題である。

## 23 真田ふれあいバス運行事業(市受託事業)

【令和3年度事業費】 3,810千円

【事業概要】

真田老人福祉センターへの利便を図るため、定期的にふれあいバスを運行している。公共のバス路線では対応できない地域に密着した路線を中心に運行している。

事業実績
(1) 定期運行 毎週 月、水、木、金曜日に真田地域巡回(菅平自治会は除く。)
(2) 25人乗りマイクロバス 迎え1回・送り2回の巡回
(3) 運休日 毎週 火、土、祝日、お盆(8月13日~16日) 年未年始(12月29日~1月3日)

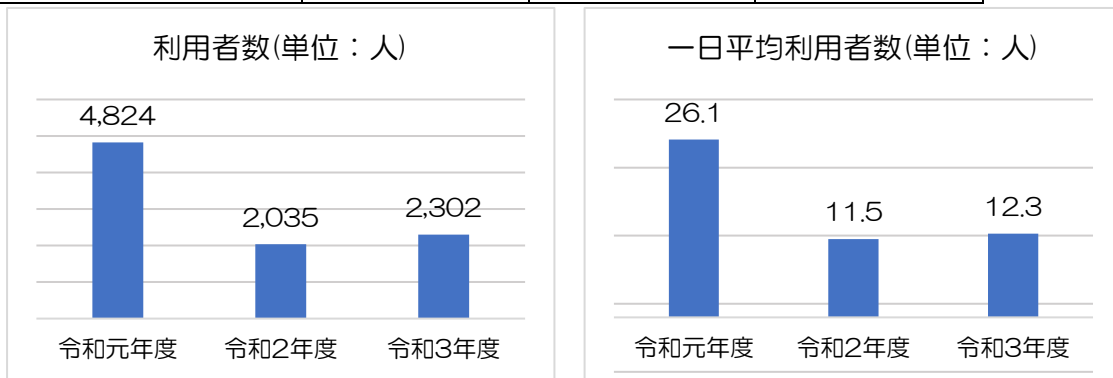
別表

(1) 真田ふれあいバス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者(人)	242	191	221	207	148	182	
運行日数(日)	17	15	17	16	14	16	
1日平均利用者数(人)	14.2	12.7	13.0	12.9	10.6	11.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(人)	144	207	198	195	163	204	2,302
運行日数(日)	14	16	16	15	14	17	187
1日平均利用者数(人)	10.3	12.9	12.4	13.0	11.6	12.0	12.3

(2) 真田ふれあいバス利用状況の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	4,824	2,035	2,302
運行日数(日)	185	177	187
一日平均利用者数(人)	26.1	11.5	12.3



評価・課題

令和3年度は、ふれあいさなだ館が時間短縮で営業が継続されたため、バスも通常の運行となった。これまで同様、高齢の方々の乗車に配慮し、新型コロナウイルス感染症対策はもとより安全運転、乗降時等の丁寧な誘導に努めた。

バス利用者は、コロナ禍やボイラー修理による老人福祉センター休館の影響もあり、例年の2分の1程度であった。引き続き、地域における高齢者等の交通手段確保に向け、市受託業務として取り組んでいきたい。

## 24 上田市ふれあい福祉センター管理事業(指定管理事業)

【令和3年度事業費】 15,307千円

### 【事業概要】

旧上田郵便局舎を改修し、障がい者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に平成11年11月15日に開始し、福祉の拠点として多くの方が利用されている。

### 事業実績

#### (1) 上田市ふれあい福祉センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	739	949	1,331	1,381	859	510	
日数(日)	0	22	30	31	31	20	
1日平均利用者(人)	0	43.1	44.3	44.5	27.7	25.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	1,357	1,388	1,180	521	64	63	10,342
日数(日)	31	29	28	18	0	0	240
1日平均利用者(人)	43.7	47.8	42.1	28.9	0	0	43

#### (2) 上田市ふれあい福祉センター推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用延べ人数(人)	29,047	11,616	10,342
1日平均利用者(人)	81.1	37.9	43.0

利用延べ人数(単位:人)

29,047



### 評価・課題

4月1日から5月9日までの期間、屋上の防水シートの修繕とエアコン室外機の取り換え工事实施したため、閉館となった。

また、新型コロナウイルス特別警報Ⅱ(感染警戒レベル5)の発令に伴い、1月18日から3月31日まで閉館とした。

会議室の利用については、人数制限や使用した机、椅子、物品の消毒の徹底を利用者に依頼している。

また、館内に入場する際は、検温と手指消毒を促し、感染対策に努めた。

建物の老朽化から修繕費が年々増加傾向である。利用者の安全を最優先に、修繕に関して、順次対応できるよう上田市と協議していく。

## 25 上田市真田総合福祉センター管理事業(指定管理事業)

【令和3年度事業費】 4,254千円

### 【事業概要】

真田総合福祉センターは、地域の多くの方に利用していただいている。障がい者及び高齢者の社会参加を支援するとともに、市民のボランティア活動への参加を積極的に推進することを目的としている。

また、多くのクラブ活動に利用されている。

- (1) 開館日：火曜日の夜間を除く毎日  
(ただし、12月29日から1月3日を除く。)
- (2) 開館時間：午前9時～午後9時30分

事業実績															
(1) 真田総合福祉センター利用状況															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月									
利用延べ人数(人)	594	385	278	352	241	210									
日数(日)	30	31	30	31	31	20									
1日平均利用者(人)	19.8	12.4	9.3	11.4	7.8	10.5									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計								
利用延べ人数(人)	275	330	334	135	0	0	3,134								
日数(日)	31	30	28	15	0	0	277								
1日平均利用者(人)	8.9	11.0	11.9	9.0	0	0	11.3								
(2) 真田総合福祉センター推移															
	令和元年度	令和2年度	令和3年度												
利用延べ人数(人)	14,226	2,714	3,134												
1日平均利用者(人)	39.5	8.8	11.3												
				<p>利用延べ人数 (単位：人)</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>利用延べ人数(人)</th> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>14,226</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,714</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>3,134</td> </tr> </table>				年度	利用延べ人数(人)	令和元年度	14,226	令和2年度	2,714	令和3年度	3,134
年度	利用延べ人数(人)														
令和元年度	14,226														
令和2年度	2,714														
令和3年度	3,134														
評価・課題															
<p>主に、真田地域のボランティア団体、福祉団体、各種クラブ等大勢の方に利用され、昼夜を問わず利用も活発で地域の活動拠点となっている。</p> <p>また、令和3年度から「木作業室」(旧真田地域活動支援センター)が一体管理となった。</p> <p>引き続き令和3年度から5年間指定管理者の指定を受け、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、市の指示により会場の貸し出しを中止しつつ、本施設の設置目的に沿い利用者の視点に立った施設の運営と維持管理を行った。</p> <p>例年、利用者数は規模の大きなイベント利用等の有無により大幅に増減するが、令和3年度は貸館中止や、一般の利用自粛もあり例年の4分の1程度にとどまった。引き続きコロナ禍の状況を踏まえた上での利用者数減少傾向への対応が課題である。</p>															

施設面では、幅広い年齢層に利用されているが、エレベーターがないため高齢の方、障がいのある方には、階段による昇降など利用上の不便さや、築 50 年経過による雨漏りなどの課題もある。

こうした中、市において「今後の施設のあり方」の検討が令和 2 年度末に開始され、真田老人福祉センターを含めた統廃合の構想が浮上しており、指定管理者として協力していく。

## 2 6 上田市長瀬市民センター管理事業(指定管理事業)

【令和 3 年度事業費】 4,651 千円

### 【事業概要】

市からの受託事業で、市民の福祉の増進に寄与することを目的として、会場の貸出し等の管理運営を行い、市民に広く利用されている。

### 事業実績

#### (1) 上田市長瀬市民センター利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
利用延べ人数(人)	1,264	593	1,027	776	461	286	
日 数(日)	25	23	22	23	18	13	
1 日平均利用者(人)	50.5	25.7	46.6	33.7	25.6	22.0	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用延べ人数(人)	1,447	851	1,069	300	0	721	8,795
日 数(日)	27	24	23	11	0	2	211
1 日平均利用者(人)	53.9	35.4	46.4	27.2	0	360.5	41.6

#### (2) 上田市長瀬市民センター推移 (単位：人)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用延べ人数	13,348	6,479	8,795
1 日平均利用者	43.1	28.4	41.6

利用延べ人数 (単位：人)



### 評価・課題

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設利用時の感染対策を行い利用者対応に努めている。非接触の体温計測器を導入し、施設利用者の検温に活用した。令和 3 年度は、長期間感染警戒レベルが下がらず、令和 4 年 1 月から休館が続いたため開館日数は通年の 6 割程度であった。

施設利用時に感染症対策の協力をいただき、多くの市民や団体が交流の場や活動拠点として利用している。今後も安全に利用できるよう、施設管理に努めていきたい。



## 27 共同募金配分金事業



### 【事業概要】

戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民たすけあい」の精神を基に始められ赤い羽根共同募金運動は、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する上で大きく貢献してきた。

70年以上過ぎた今でも、共同募金にお寄せいただく皆様の善意は、民間社会福祉施設や団体にとって貴重な活動財源になっており、毎年10月1日から各都道府県共同募金会が主体となって全国一斉に展開される共同募金運動に積極的に協力している。

お寄せいただいた募金は、長野県共同募金会へいったん集約され、配分決定のあった民間社会福祉施設、団体に翌年度配分される。

令和3年度募金総額	26,153,729円(目標額 25,265,000円)
内訳 戸別募金	23,165,536円
法人募金	1,576,083円
学校募金	322,144円
職域募金	194,754円
街頭募金	767,137円
その他	128,075円

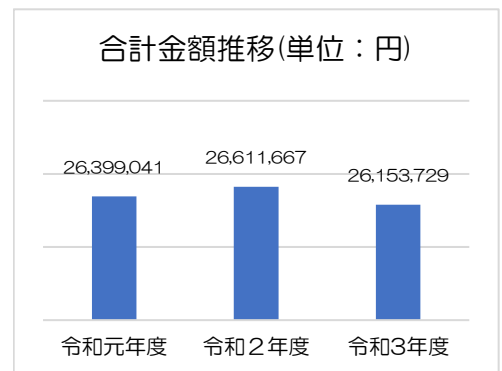


### (1) 令和3年度内訳 (単位：円)

	上田地区	丸子地区	真田地区	武石地区	合計
戸別募金	16,346,958	3,997,380	1,864,186	957,012	23,165,536
法人募金	1,238,135	273,948	54,000	10,000	1,576,083
学校募金	256,128	35,591	26,530	3,895	322,144
職域募金	134,797	29,582	21,397	8,978	194,754
街頭募金	609,883	130,016	16,123	11,115	767,137
その他	127,566	509	0	0	128,075
合計	18,713,467	4,467,026	1,982,236	991,000	26,153,729

### (2) 合計推移 (単位：円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
戸別募金	23,826,167	24,033,552	23,165,536
法人募金	1,599,416	1,507,297	1,576,083
学校募金	259,095	268,548	322,144
職域募金	158,510	202,820	194,754
街頭募金	510,167	570,612	767,137
その他	45,686	28,838	128,075
合計	26,399,041	26,611,667	26,153,729



## 上田地区共同募金配分金事業

【令和3年度事業費】 11,298千円

(上田共募高齢者 1,603千円、上田共募障がい児・者 894千円、上田共募児童・青少年 1,683千円、上田共募住民全般 7,068千円、共募広域福祉活動事業 50千円)

事業実績			
(1) 経年推移 (単位:円)			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
戸別募金	16,650,761	16,873,031	16,346,958
法人募金	1,211,055	1,181,767	1,238,135
学校募金	196,849	208,998	256,128
職域募金	99,141	132,745	134,797
街頭募金	438,994	492,860	609,883
その他	11,586	8,838	127,566
	18,608,386	18,898,239	18,713,467

上田地区 合計金額推移(単位:円)

年度	合計金額(円)
令和元年	18,608,386
令和2年	18,898,239
令和3年	18,713,467

## 丸子地区共同募金配分金事業

【令和3年度事業費】 3,074千円

(丸子共募高齢者 240千円、丸子共募障がい児・者 318千円、丸子共募児童・青少年 585千円、丸子共募住民全般 1,931千円)

事業実績			
(1) 経年推移 (単位:円)			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
戸別募金	4,192,632	4,201,556	3,997,380
法人募金	319,861	266,530	273,948
学校募金	37,298	34,652	35,591
職域募金	25,241	44,470	29,582
街頭募金	51,577	48,625	130,016
その他	34,100	20,000	509
	4,660,709	4,615,833	4,467,026

丸子地区

年度	合計金額(円)
令和元年	4,660,709
令和2年	4,615,833
令和3年	4,467,026

## 真田地区共同募金配分金事業

【令和3年度事業費】 1,530千円

(真田共募高齢者 131千円、真田共募障がい児・者 39千円、真田共募児童・青少年 322千円、真田共募住民全般 1,038千円)

事業実績			
(1) 経年推移 (単位:円)			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
戸別募金	2,033,824	1,999,465	1,864,186
法人募金	65,500	56,000	54,000
学校募金	21,284	15,522	26,530
職域募金	26,335	21,947	21,397
街頭募金	13,735	19,356	16,123
その他	0	0	0
合計	2,160,678	2,112,290	1,982,236

真田地区 合計金額推移(単位:円)

年度	合計金額(円)
令和元年度	2,160,678
令和2年度	2,112,290
令和3年度	1,982,236

## 武石地区共同募金配分金事業

【令和3年度事業費】 780千円

(武石共募高齢者 238千円、武石共募障がい児・者 32千円、武石共募児童・青少年 75千円、武石共募住民全般 435千円)

事業実績			
(1) 経年推移 (単位:円)			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
戸別募金	948,950	959,500	957,012
法人募金	3,000	3,000	10,000
学校募金	3,664	2,651	3,895
職域募金	7,793	6,249	8,978
街頭募金	5,861	13,605	11,115
その他	0	0	0
合計	969,268	985,305	991,000

武石地区 合計金額推移(単位:円)

年度	合計金額(円)
令和元年度	969,268
令和2年度	985,305
令和3年度	991,000

## 共同募金配分金事業 評価・課題

新型コロナウイルス感染症予防に十分留意し、令和3年度も赤い羽根共同募金運動を実施した。上田市全体でも、法人募金、学校募金、街頭募金、その他募金ではここ数年を上回ることができた。共同募金が何に使われているか、使用用途を多くの方々に理解していただけるよう、分かりやすいチラシ作りや事業の広報、周知など努めてきた結果が少しずつ現れてきたのではないかと思う。

引き続き、共同募金の配分金が何に使われているのかの「見える化」をより進めていく必要がある。全国的にも減少している戸別募金を、どう食い止められるか検討していきたい。

原点に立ち返り、なぜ赤い羽根共同募金が必要なのか、引き続き地域の皆様に、募金活動の趣旨や募金の使用用途の周知、御理解いただけるような方法を検討していく。

また、自分の町が良くなっている、還元されていると感じられる配分や事業の推進を行っていく。

## その他(児童福祉事業)

## 共同募金配分金事業



### 事業実績

#### (1) 上田地区センター

ア 子育て中の親を対象に、交流の場づくりとリフレッシュ、子育てに関わる学習会を目的とした事業。令和3年度は「まいさぼ上田」と協働で、通年事業を開催した。

##### (ア) 子育て支援事業

- ・親子で参加♪ KID'S ロディヨガ教室
  - 2月10日(木) コロナ禍のため中止
  - 2月20日(日) コロナ禍のため中止
- ・体操くらぶ(通年9回)
  - 7月13日(火) 参加者14人
  - 8月10日(火) コロナ禍のため中止
  - 9月14日(火) コロナ禍のため中止
  - 10月12日(火) 参加者9人
  - 11月16日(火) 参加者9人
  - 12月21日(火) 参加者11人
  - 1月11日(火) 参加者6人
  - 2月8日(火) コロナ禍のため中止
  - 3月8日(火) コロナ禍のため中止

#### (2) 丸子地区センター

- ア 親子教室 コロナ禍のため中止(2回開催予定)
- イ ママカフェ 5回開催 参加者1組
- ウ ママのためのリフレッシュ教室1回開催 参加者4組

## 評価・課題

### (1) 上田地区センター

上田地区共同募金会配分審査委員会にて審査委員から児童や住民にも目を向けた事業を行ってほしいと提案があり、始まった事業である。いずれも、赤い羽根共同募金の配分金を活用して行っている。令和3年度は、「まいさぼ上田」と協働で年間を通しての企画を開催した。好評であったがコロナ禍のため約半分が中止となってしまった。課題としては、今後も多くの住民の方が気軽に参加でき、長く続けて行かれるようなプログラムを企画し、周知方法も検討していく。

### (2) 丸子地区センター

コロナ禍のため、計画されていた親子教室が2回とも中止になった。参加希望が多かったので、また企画したい。

ママカフェについては、中止が相次いでしまったため、再開した旨を広報などで周知を行うとともに、ママカフェ内で簡単にできる工作などを検討し、参加者を増やしていきたい。

ママのためのリフレッシュ教室については、予定どおり開催することができ、参加者からも好評だったので、来年度も検討していきたい。

## その他(高齢者事業)

## 共同募金配分金事業



## 事業実績

### (1) 上田地区センター

#### ア 紙おむつ配布事業

民生委員・児童委員の協力を得て、在宅介護支援の一環として在宅で寝たきりの方、認知症高齢者、障がい者の方、必要としている方を対象に紙おむつまたは尿取りパッドを贈呈している。

#### (ア) 実施内容

11月に民生委員・児童委員定例会にて調査票の配布依頼、12月の民生委員・児童委員定例会にて調査票回収、翌年2月(令和3年度はコロナ禍のため3月)の民生委員・児童委員定例会にて配布、本人宅にお届けいただいている。令和3年度から希望の多かった尿取りパッドのサイズを2種類に増やした。

#### (イ) 対象者

在宅で生活している寝たきりの方、認知症高齢者、障がい者の方、紙おむつや尿取りパッドを頻繁に利用している方

#### (ウ) 紙おむつ贈呈数

パンツタイプ 637人、テープ止めタイプ 78人、尿取りパッド 221人 合計 936人

## イ サロン支援事業

上田市ふれあい福祉センターを地域の資源として活用し、周辺自治会のサロン開催につなげ、赤い羽根共同募金の配分金を地域の全世代の皆様に還元できるよう体操教室を計画  
また、要望が多かったため、令和3年度の上半期にも計画

### (ア) セラバンド体操教室

- ・7月30日(金) 参加者9人
- ・8月21日(土) →コロナ禍のため中止
- ・9月18日(土) →コロナ禍のため中止

### (イ) スクエアステップ教室

- ・3月3日(木) →コロナ禍のため中止
- ・3月11日(金) →コロナ禍のため中止



## (2) 丸子地区センター

### ア みまもり(声かけ)訪問事業

丸子地区では少子高齢化に伴い、独居世帯増加の中で、健康に不安をかかえている高齢者世帯が、住み慣れた地域で孤立することなく、安心して暮らすことができるようボランティアによる、みまもり声かけ訪問を行った。

#### (ア) 実施内容

登録ボランティアが月2回程度利用者宅を訪問し、玄関先や軒先で日常の話をお聞きした。訪問時にはお便りなどを届けているが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年8月6日から9月12日及び令和4年1月18日から3月31日まで活動を休止し、職員による訪問や電話、お便りで対応した。

#### (イ) 対象者

65歳以上の方のみの世帯、または同居されていても日中独りになる方で介護保険サービスを利用されていない方(登録利用者4人)

#### (ウ) 協力者

みまもり(声かけ)訪問事業登録ボランティア(登録23人)

## イ みまもり(声かけ)訪問実績(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
訪問件数	8	8	8	8	2	8	
訪問ボランティア	16	16	16	14	4	14	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	8	8	7	6	6	6	83
訪問ボランティア	16	16	14	6	0	0	132

(3) 武石地区センター

ア 高齢者弁当配達事業

民生委員・児童委員の協力を得て、75歳以上の独り暮らしの方を対象に季節感あふれる弁当をお配りした。ふれあいを深め地域の絆を感じていただくとともに、お元気な様子を確認し、良い年を迎えていただきたいとの趣旨で年末に実施した。

(ア) 実施日 : 12月15日(水)

(イ) 配食数 : 91食

(ウ) 料金 : 無料

イ お茶オケサロン(18回)、健康マーじゃん(40回)を開催し、交流を深めた。

評価・課題

(1) 上田地区センター

上田地区の独自事業である「紙おむつ贈呈事業」は、内容に賛否両論がある。しかしながら、尿取りパッドの種類を増やしたことで贈呈数は増え、必要としている方がいることも事実である。代替できる内容、より多くの地域住民の方にも還元でき、理解を得るものにできるよう検討していきたい。

また、サロン支援事業については、当日欠席はあるものの、毎回募集人数を上回る申し込み、各地域からの参加があるため、更に、多くの方々に参加してもらえるようにしていきたい。

(2) 丸子地区センター

丸子地区の独自事業である「みまもり(声かけ)訪問事業」は、地域住民のボランティアによって支えられてきた。登録されている利用者は、自宅に引きこもりがちの方で地域との関わりが薄い方達である。「地域コミュニティ」の中で孤立しないよう、関係機関と連携して利用者を把握していきたい。今後も待ち望んでいる高齢者が多いので、感染症予防をして継続していきたい。

(3) 武石地区センター

ア 配達弁当については、発注先がこの数年同じだったので、今回、地元の個人商店に変更した。内容も充実し、より喜んでいただけたと思われる。武石地区民生委員・児童委員協議会も重要な事業であると捉えていただいているので、引き続き進めたい。

イ お茶オケサロン、健康マーじゃんについては希望者が多く、交流を図る上で効果的な事業であるので、新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮し、工夫しながら進めたい。

## 団体事業の育成 共同募金配分金事業



### 【事業概要】

各種福祉団体事業を推進するため、協力費として活動費を助成し、団体育成に努めている。

事業実績			
(1) 上田地区 活動費助成団体 (単位：円)			
団体名	助成金額	団体名	助成金額
上田地域福寿クラブ連合会	200,000	うえだ市民ふれあい広場実行委員会	50,000
上田市身体障害者福祉協会	240,000	上田地区更生保護女性会上田支部	43,000
上田市赤十字奉仕団	100,000	上田市子ども会育成連絡協議会	70,000
上田ボランティア連絡協議会	50,000	上田マジッククラブ	40,000
上田市視覚障害者福祉協会	80,000	チャイルドラインうえだ運営委員会	150,000
上田市聴覚障害者協会	90,000	点訳サークルでんでん虫の会	50,000
上田地区保護司会	120,000	ふれあいサロン hinatabocco とよさと	160,000
豊殿地区循環バス運営委員会	200,000	〇〇カフェやすらぎ	35,000
上小手話サークル	61,000	上田千曲高等学校生活福祉科	125,000
モチーフの会	70,000	合計 19 団体	1,934,000
(2) 丸子地区 活動費助成団体 (単位：円)			
団体名	助成金額	団体名	助成金額
丸子地域高齢者クラブ連合会	190,000	上田市食生活改善推進協議会 丸子ブロック	27,000
丸子身体障害者福祉協会	200,000	E-キャップの会	72,000
丸子ボランティア連絡協議会	120,000	上田市丸子地区赤十字奉仕団	18,000
傾聴ボランティア・まるこ	72,000	上田地区更生保護女性会 丸子支部	36,000
丸子モチーフの会	45,000	NPO 法人 子育て応援団ぱれっと	135,000
		合計 10 団体	915,000
(3) 真田地区 活動費助成団体 (単位：円)			
団体名	助成金額	団体名	助成金額
真田地域長寿会	30,000	おもちゃ図書館くるくるさなだ	30,000
上田市真田地区赤十字奉仕団	30,000	ミミールの会 (民話紙芝居)	15,000
大福会 (茶道)	22,000	真田地域ボランティア連絡協議会	70,000
上田市食生活改善推進協議会 真田ブロック	30,000	真田モチーフの会	23,000
ふれあい広場実行委員会	70,000	おとぎの会 (紙芝居)	16,000



NPO 法人ほこほコネクト (見守り活動)	33,000	さなだ支え合い会議 (地域福祉活動)	16,000
グリュックの会 (こども食堂)	16,000	上田地区更生保護女性会真田支部	10,000
		合計 14 団体	411,000

(4) 武石地区 活動費助成団体 (単位：円)

団体名	助成金額	団体名	助成金額
武石高齢者クラブ連合会	80,000	武石ボランティア連絡協議会	10,000
武石もみじ会	40,000	武石えん結びの会	20,000
更生保護女性会武石支部	10,000	ふれあいカフェ武石	10,000
武石身体障害者福祉協会	20,000	合計 7 団体	190,000

(5) 上田市全域 活動費助成団体 (単位：円)

団体名	助成金額	団体名	助成金額
上田市自治会連合会	241,000	上田市民生委員・児童委員協議会	333,000
		合計 2 団体	574,000

## 28 地域包括支援センター事業(市受託事業)

### 【事業概要】

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員が配置され、地域の高齢者を中心に全ての地区住民が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施している。

- (1) 高齢者の実態把握及び介護予防支援計画、介護予防ケアマネジメント支援計画の作成
- (2) 高齢者や家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- (3) 高齢者虐待防止及び早期発見、消費者被害防止等の権利擁護事業
- (4) 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- (5) 高齢者の社会参加や自立支援を促進するための地域活動への支援・啓発
- (6) 生活支援体制整備事業におけるコーディネート業務

### 神川地域包括支援センター事業

【令和3年度事業費】 29,499 千円

事業実績
(1) 相談内容・人数(電話・来所・訪問) ※別表参照
(2) 事業内容 ※別表参照
(3) その他

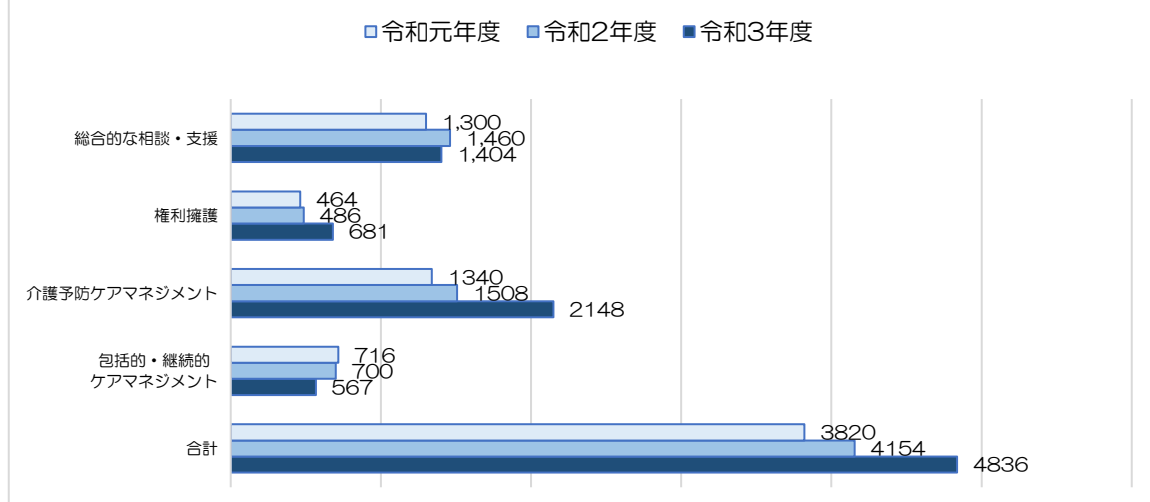
- ア コロナ禍においても感染状況に合わせ、地域リハビリテーション活動支援事業の推進と活動拠点の定着を図ることができた。(11自治会で実施)
- イ 介護予防地域支援事業として、地域住民の健康と介護予防を目的に講座を開催した。(2自治会で実施)
- ウ 認知症への正しい理解を進め、地域での見守り活動へつなげてもらうために、地元中学校や地域住民を対象に認知症サポーター養成講座を3回開催した。  
また、軽度認知障がい早期発見と適切な支援につなげるため、「あたまの健康チェック」システムを活用し、その予防と対応に努めた。
- エ 地域の介護支援専門員が抱える困難な事例についての支援・アドバイスをはじめ、ネットワーク作り等、介護支援専門員の支援に努めた。(オンラインにて研修会実施1回、その他ケースに応じて対応)
- オ 担当区域の民生委員・児童委員協議会定例会に出席し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と支援のための関係づくりに努めた。
- カ 地域包括ケアシステム構築の推進を目的に地域ケア会議開催した。(個別6回、推進2回)
- キ 実態把握調査を実施し、その後のニーズに対して連携を図りながら円滑に支援が行えるよう取り組んだ。
- ク コロナ禍においてもオンライン機能等を活用しながら各種研修会に参加し、自己研鑽に努めた。
- ケ 夜間、休日等、勤務時間外は、携帯電話にて24時間緊急対応体制を取り対応を行った。
- コ 「神川包括だより」を発行し、地域包括ケアシステム構築に向けて介護予防の必要性、地域の中での見守り体制の構築や住民主体の福祉活動の推進、高齢者虐待の早期発見・防止のための取組、成年後見制度等の活用等、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な取組の啓発や情報提供に努めた。(年4回 自治会回覧)
- サ 生活支援体制整備事業においては、生活支援コーディネーターを中心に、第2層協議体の設置・連携を図りながら住民主体の介護予防・生活支援サービス等の実施に向けた啓発や調査等に取り組んだ。特に隣接する生活圏域の3地域包括支援センターと協働し、住民主体の取組活動への支援を目的に「地域づくり講座」を開催した。
- シ 地域密着型施設の運営推進会議は主に書面開催であったが、利用者が安心して利用できるようサービス向上への取組に努めた。
- ス 看護学生の実習を受け入れ、人材育成に協力した。

別表

(1) 相談件数の推移 (単位: 件)

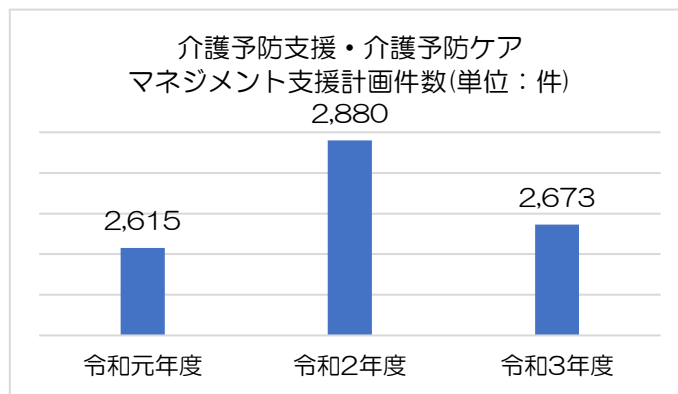
	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合計
令和元年度	1,300	464	1,340	716	3,820
令和2年度	1,460	486	1,508	700	4,154
令和3年度	1,404	681	2,148	567	4,836

神川地域包括支援センター 相談件数推移(単位：件)



(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	148	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技等	17	地域リハビリテーション、健康広場、いきいきサロン、ふれあい事業、茶話会等
会議・研修等	116	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修会、各施設運営推進会議等
医療・関係機関との連携	411	認知症高齢者や精神疾患を抱える方、個別事例に対する入退院支援、医療機関から在宅へ向けての支援、高齢者虐待等における行政・警察・成年後見・関係機関等との連携、その他連携
介護支援員専門員に対する支援	3	支援困難ケースへの対応・支援、研修会の開催
高齢者実態把握	86	新規相談者並びに民生委員・児童委員からの台帳による訪問
介護予防プラン作成件数	1	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	2,673	事業対象者並びに要支援1・要支援2の認定を受けた高齢者に対する介護予防支援計画の作成・サービス調整等



評価・課題

- (1) 地域包括支援センターの核となる総合相談支援業務においては、地域からのさまざまな相談に対して、可能な限り適切に対応できるよう各職種が関係機関との連携を図りながら迅速に取り組んだ。特に増加する認知症相談、退院支援相談等の新規相談においては早期訪問・早期対応を心掛けた。
- (2) 新規相談、介護予防ケアマネジメント件数が増加しており、高齢者世帯・おひとり暮らし台帳に基づいた実態把握訪問が十分に行えなかった。支援を必要としている住民の早期発見、地域の状況やニーズを把握するため今後努力したい。
- (3) 地域リハビリテーション等を活用し、生活支援体制整備事業の周知、住民同士の支え合いについて一緒に考え、地域資源を知る機会とした。今後も住民との意見交換を積極的に行っていききたい。
- (4) コロナ禍で地域活動や会議等の制限があり、以前と同様の関わりができない中で、感染対策を行いながら訪問活動は止めることなく行うことができた。今後も地域包括支援センターの業務機能やネットワーク機能を最大限に活用しながら対応していききたい。

## 丸子地域包括支援センター事業(市受託事業)

【令和3年度事業費】 28,822 千円

事業実績

- (1) 相談内容・人数（電話・来所・訪問）  
※ 別表参照
- (2) 事業内容  
※ 別表参照
- (3) その他  
ア 地域リハビリテーション事業の推進を図り、令和3年度は新たに1か所で事業が始まり、29か所で開催した。

イ 高齢者が増えていく中で、認知症の正しい理解をしていただき地域での見守り活動へつなげてもらうために、高校生等を対象に認知症サポーター養成講座を開き、啓発活動を行った。(2回)

ウ 来所、電話等での新規相談が多く、必要に応じサービスや関係機関につなげた。緊急性が高いケースの依頼も多く、癌末期などターミナルケアの対応依頼もあり、早期対応に努めた。

エ 支援困難ケースも多く、関係機関と連携を図りながら対応した。

オ 高齢者世帯・おひとり暮らし台帳をもとに実態把握を行った。

カ コロナ禍にて制限もあったが、web研修なども活用しながら各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。

キ 勤務時間外は携帯電話による24時間緊急体制を取り対応を行った。時間外の電話対応件数が増えてきている。

ク 民生委員・児童委員協議会に出席し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。

ケ 地域ケア個別会議(8回)を開催し、さまざまなケースにおける課題解決に向けた取組や連携を図ると共に、地域包括ケアシステム構築の推進に努めた。

また、地域ケア推進会議(1回・地域づくり会議として)を開催し、地域での支え合いについて住民の皆さんと一緒に話し合いを行った。

コ 丸子地域における地域密着型サービス事業所の運営推進会議に出席し、利用者が安心して利用できるようサービス向上への取組に努めた。

サ 生活支援体制整備事業においては、生活支援コーディネーターを配置し、第2層協議体の設置・連携を図りながら住民主体の介護予防・生活支援サービス等の実施に向けた啓発や調査等に取り組んだ。

また、居場所づくりとして、住民ボランティア団体が行うサロン活動への継続支援を行った。(第2層協議体20回、地域づくり会議1回)

シ 看護学生等の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。

ス 年3回(6、10、2月)「地域包括支援センター便り」を発行し、災害や特殊詐欺から身を守る、認知症予防や介護保険申請等について等を記載した。

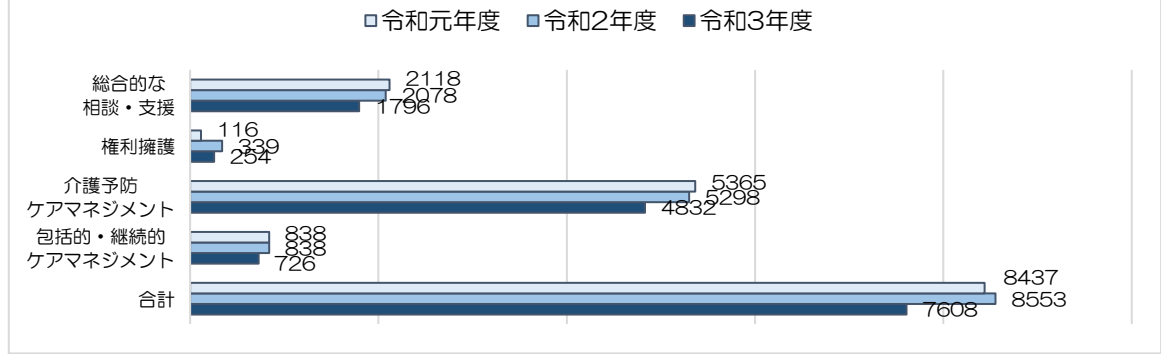
また、地域包括支援センターに気軽に相談できるよう、総合窓口としての役割を紹介した。

#### 別表

##### (1) 相談件数の推移 (単位: 件)

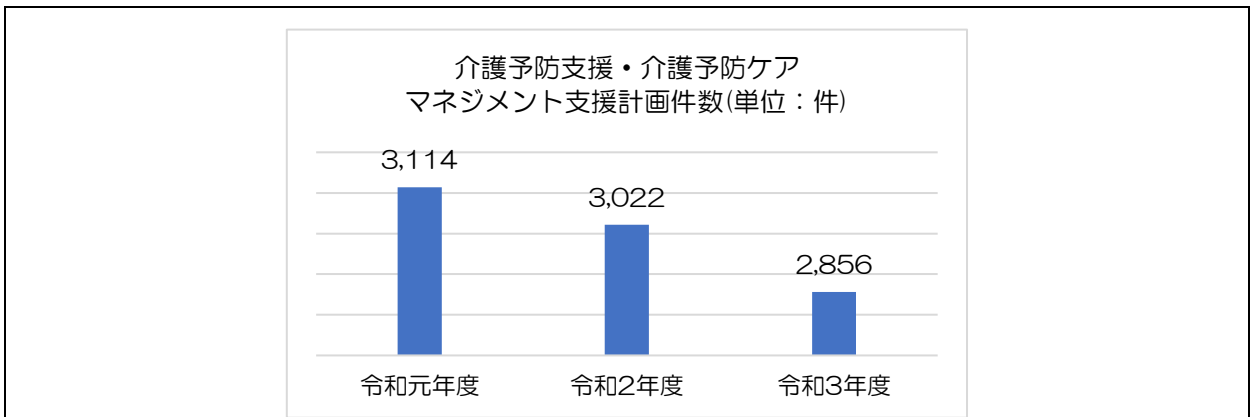
	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合計
令和元年度	2,118	116	5,365	838	8,437
令和2年度	2,078	339	5,298	838	8,553
令和3年度	1,796	254	4,832	726	7,608

丸子地域包括支援センター 相談件数推移(単位：件)



(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	166	介護相談、虐待相談、支援困難ケース対応、配食業者からの連絡対応等、勤務時間外は24時間携帯電話による緊急体制を取り対応したが、時間外の連絡が増えている。
介護予防活動講演、実技等	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域サロン・地域リハビリテーションに出向き、介護予防や居場所作り等の啓発活動を行い地域の課題把握に努めた。</li> <li>・認知症の正しい理解を深めてもらうため、認知症サポーター養成講座3回実施した。(中学生・高齢者対象)</li> </ul>
会議・研修等	177	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括担当者会議、介護保険運営協議会、地域密着型サービス運営推進会議、県・市主催の研修等に参加し、関係機関と状況共有した。</li> <li>・民生委員・児童委員協議会にて包括の活動内容を紹介し、関係作りに努めた。</li> </ul>
医療・関係機関との連携	292	退院調整会議、ケースカンファレンス、行政機関や関係機関との訪問や会議に参加し、連携を図り対応した。
介護支援員専門員に対する支援	23	居宅・施設からの相談や支援困難ケースが増えており、関係機関と連携を図り対応した。
高齢者実態把握	94	民生・児童委員からの独居台帳をもとにおこなうが、相談業務が多く思うように訪問ができなかった。
介護予防プラン作成件数	10	生活支援型ヘルパー、配食サービス、生きがい対応型デイサービスのプラン作成
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	2,856	事業対象者・要支援1・要支援2



評価・課題

- (1) 地域が広範囲に渡り、高齢者人口も多い丸子地域で、地域からのさまざまな日々の相談やケアマネジャー、市からの困難なケースへの対応依頼も増えており、関係機関との連携をはかり迅速・丁寧な対応に努めた。
- (2) 新規相談やターミナルケアなどの急な依頼も多く相談業務に追われて、高齢者世帯・おひとり暮らし台帳をもとにした訪問や実態把握は十分に実施できなかった。コロナ禍であり、感染対策に十分配慮しできる限りの訪問を行った。
- (3) 丸子・武石地域包括支援センター合同の地域ケア会議を開催し、「安心して暮らしていくためには何が必要か」「私たちに何ができるか」、地域課題の把握や住民同士の支え合いを考えていただく機会を設けた。コロナ禍であるが、できる限り地域リハビリやサロン等へ出向き、関係作りを行ってきた。

**真田地域包括支援センター事業(市受託事業)**

【令和3年度事業費】 24,999 千円

事業実績

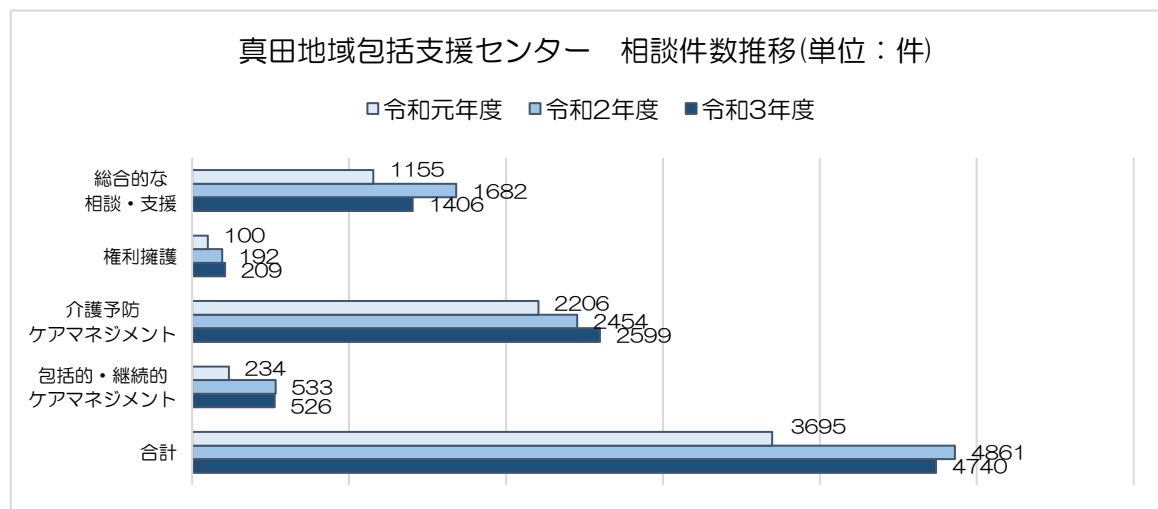
- (1) 相談内容・人数（電話・来所・訪問）  
※ 別表参照
- (2) 事業内容 ※別表参照
- (3) その他
  - ア 地域リハビリテーション事業の新規立ち上げに向け地域のサロン等で事業の広報活動に努めた。コロナ禍でも開催できる方法を助言し活動の継続に努めた（10 か所開催、内1 か所新規）
  - イ 認知症の正しい理解をしてもらうため、認知症サポーター養成講座を開催した。小学生、高齢者学園等、幅広い世代を対象に講座を開催することができた。（3 回開催 41 人参加）
  - ウ 地域ケア会議を開催し、地域包括ケアシステム構築の推進に努めた。（10 回開催）

- エ 真田地域包括支援センター独自事業として、運動教室（笑顔で元気）を開催し介護予防の推進と自立支援に努めた。男性の料理教室は感染対策を図り、2回に分け開催した。（運動教室：8回開催 62人参加）（男性の料理教室：2回開催 12人参加）
- オ いきいきサロン等に参加し、介護予防・特殊詐欺防止の啓発と地域包括ケアシステムについて講座を開催した。
- カ 民生委員・児童委員協議会に出席し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と支援のための関係づくりに努めた。
- キ 真田地域における地域密着型施設の運営推進会議はコロナ禍により中止となったが、書面による情報共有や意見交換を適宜行った。
- ク 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。
- ケ 独居・高齢者世帯・認知症高齢者が増えている中、地域からの相談件数が増加している。関係機関とも連携を図り迅速な対応に心掛けた。
- コ 「包括支援センターだより」を年3回（5月、9月、2月）に発行し、センターの活動や介護予防に関する広報活動に努めた。令和3年度から、真田地域全域への回覧の他、上田市のホームページへの掲載も開始した。
- サ 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- シ 生活支援体制整備事業においては、生活支援コーディネーターを主に第2層協議体を開催し住民主体の介護予防・生活支援サービス等の実施に向けた啓発や調査等に取り組んだ。
- ス 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制を取り対応を行った。

別表

(1) 相談件数の推移（単位：件）

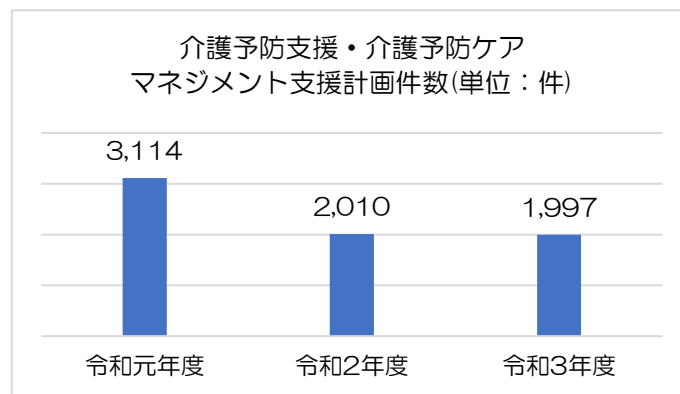
	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合 計
令和元年度	1,155	100	2,206	234	3,695
令和2年度	1,682	192	2,454	533	4,861
令和3年度	1,406	209	2,599	526	4,740





(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	94	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技等	59	いきいきサロン、ふれあい広場、地域リハビリテーション、運動教室（笑顔で元気）、認知症サポーター養成講座等
会議・研修等	287	民生委員・児童委員協議会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修会、各施設運営推進会議等
医療・関係機関との連携	475	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、医療機関から在宅へ向けての支援（認知症独居高齢者の退院の支援について等）高齢者虐待等における行政・警察・成年後見・関係機関等との連携、その他の連携
介護支援員専門員に対する支援	20	支援困難ケースへの対応・支援、研修会の開催
高齢者実態把握	72	新規相談者並びに民生委員・児童委員からの台帳により訪問
介護予防プラン作成件数	11	配食サービス、訪問指導
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	1,997	事業対象者・要支援1・要支援2



評価・課題

- (1) 高齢者に対する地域の総合相談窓口として、関係機関との連携を図りながら迅速な対応に心がけた。相談内容では認知症や虐待等、権利擁護に関する相談のほか、多重問題を抱えた家族の支援等、支援困難ケースに関する相談が増えており、3職種並びに行政や医療機関等、各関係機関との連携を心がけた。今後も関係機関との連携を図りながら対応していきたい。
- (2) 緊急を要する相談が増えており、独居・高齢者台帳に基づいた実態把握訪問が十分に行えなかった。支援を必要としている人の早期発見、地域住民のニーズ把握のため今後努力したい。

(3) 真田包括独自事業として開催している「男性の料理教室」は、コロナ禍で令和2年度は中止としたが、令和3年度は感染対策を図り教室を2回に分ける等コロナ禍でも開催できる方法を検討し実施した。

また、男性の自立支援を考えた教室内容とメニューの工夫を講師と共に検討した。参加された12人のアンケート結果から教室を継続してほしいという意見が多く、独居世帯の増加や高齢者世帯における男性の介護者が増えている。現状を踏まえ今後も、地域高齢者の介護予防・自立支援に向けた支援を提供していきたい。

(4) 生活支援体制整備事業においては、住民主体活動の情報収集とニーズの把握に努め、それらの情報の可視化（ポスター作成）を行い、地域内外で活動する他団体と協力して発表と研修の場を設けた。その後、自治会単位での懇談会を開催し、身近な情報と課題を共有することで顔の見える関係づくりに努めた。

また、各団体や自治会との横のつながりづくりを行い、ニーズとサービス及び各種活動のマッチングを行った。今後も生活支援体制整備事業の推進を図っていきたい。

## 武石地域包括支援センター事業(市受託事業)

【令和3年度決算額】 24,608千円

事業実績
(1) 相談内容・人数（電話・来所・訪問） ※ 別表参照
(2) 事業内容 ※ 別表参照
(3) その他 ア 武石地域6か所、丸子地域10か所の地域リハビリテーションに参加し、介護予防や権利擁護の啓発活動を行った。 イ 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント計画の作成を行った。 ウ 市の介護予防体操の運営に協力し、サロンに出向き介護予防の必要性についての啓発活動を行った。 エ 地域ケア個別会議を1回、「地域での支え合い」をテーマにした地域ケア推進会議を2回開催し、地域包括ケアシステムの構築の推進に努めた。 オ 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。 カ 看護師実習生の受け入れを行い人材育成に協力した。 キ 民生委員・児童委員会に参加し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と事例報告などを行い、情報提供と連携に努めた。 ク 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応した。 ケ 「武石地域包括支援センターだより」を年3回発行し、フレイル予防や成年後見制度、

特殊詐欺の防止等に関する広報活動に努めた。

コ 生活支援体制整備事業の第2層協議体に17回参加して、地域の居場所づくりや支え合いなどについて協議した。

サ 認知症の正しい理解と地域での見守り活動の推進のために、認知症者ポーター養成講座を2回開催し啓発活動を行った。

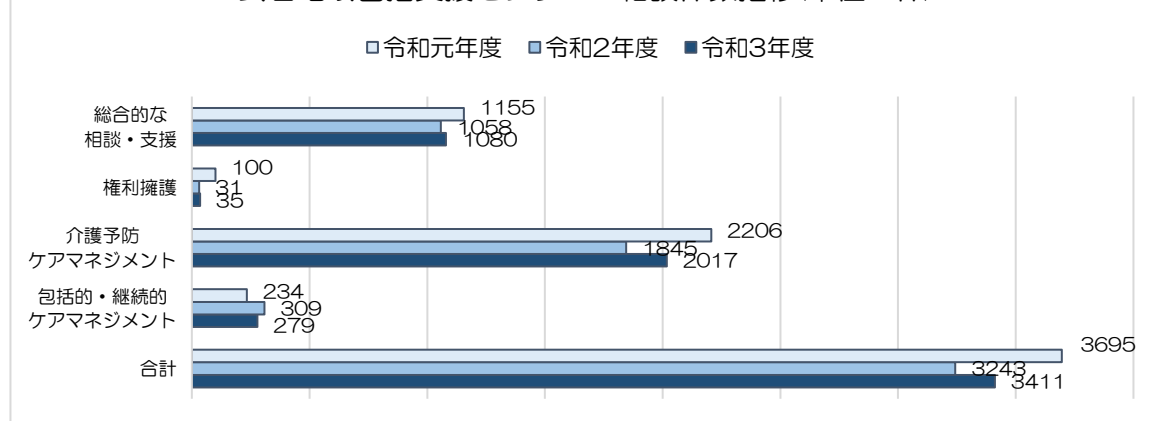
シ 地域の介護支援専門員が抱える困難な事例についての支援・アドバイスをを行い適切な支援につなげることに努めた。

別表

(1) 相談件数の推移 (単位: 件)

	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合計
令和元年度	1,155	100	2,206	234	3,695
令和2年度	1,058	31	1,845	309	3,243
令和3年度	1,080	35	2,017	279	3,411

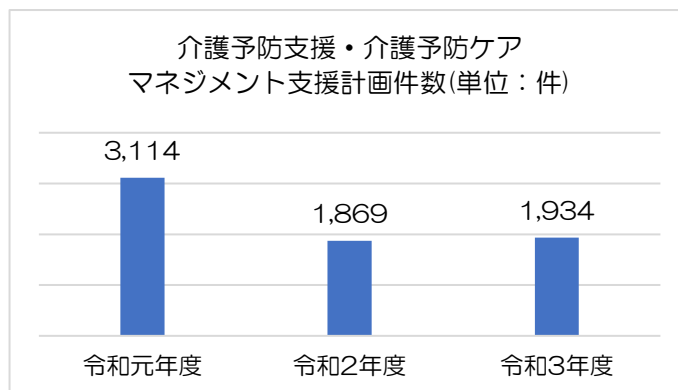
武石地域包括支援センター 相談件数推移(単位: 件)



(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	26	介護保険について、介護相談、夜間の入院患者について等
介護予防活動講演、実技等	39	地域リハビリテーション、地域ふれあい事業、サロン、認知症サポーター養成講座開催等
会議、研修等	65	民生委員・児童委員協議会、地域包括担当者会議、包括所長会議、地域ケア会議、県・市主催の研修、生活支援コーディネータ協議体等
医療・関係機関との連携	22	入退院時の医療機関との連携、介護サービス事業所との連携、困難ケースにおける行政や関係機関との連携、
介護支援専門員に対する支援	7	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	60	民生委員・児童委員からの台帳、当事者・高

		齢者支援係からの依頼により訪問
介護予防プラン作成件数	11	生配食サービス、生きがい対応型デイサービスのプラン作成、介護予防事業
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	1,934	事業対象者・要支援1・要支援2



#### 評価・課題

- (1) 生活支援体制整備事業においては、「地域での支え合い」をテーマに武石地域と丸子地域で地域ケア推進会議を開催することができた。地域ケア会議を通じて、友人や知人などの親しい関係の人同士の間では、身近な支え合いが行われていることが分かった。今後は、支え合いについて地域全体を把握する必要がある。
- (2) 地域包括支援センターの事務所が、武石地域総合センターへ移転したことにより、市の高齢者支援係との連携を密に行うことができた。また、相談者を市の相談窓口へスムーズに紹介することができるようになった。今後は、介護サービス事業所や病院など多職種との連携を更に強めて、高齢者の支援をより充実できるようにしていきたい。
- (3) 介護予防事業においては、地域リハビリに出向き、介護予防や権利擁護についての情報提供を行うことができた。コロナ禍のため、「楽しい会」は休止となっているため、地域高齢者の介護予防につながる工夫や新しい取組をしてゆく必要がある。

## 29 通所介護事業

### 【事業概要】

身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施している。

また、日常生活動作、特に立ち上がりや座る動作、階段昇降に使われる下肢筋力を意識して運動するように目的を明確化している。

## 中央デイサービスセンター事業

【令和3年度事業費】 44,782 千円

### 事業実績

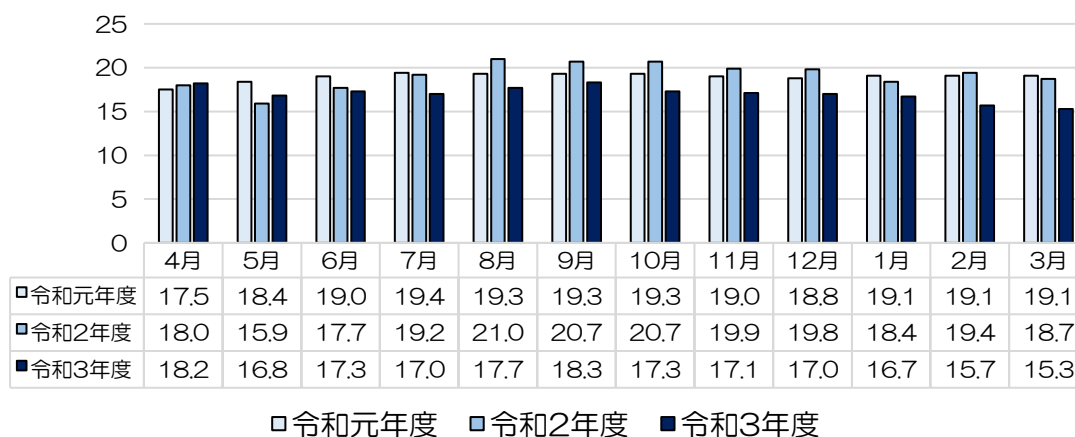
#### (1) 利用者延べ人数(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者	472	419	430	453	450	476	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	431	437	442	377	377	411	5,175

#### (2) 1日平均利用者数(単位：人) ※1日の利用者定員 25人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和元年度	17.5	18.4	19.0	19.4	19.3	19.3	
令和2年度	18.0	15.9	17.7	19.2	21.0	20.7	
令和3年度	18.2	16.8	17.3	17.0	17.7	18.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者平均
令和元年度	19.3	19.0	18.8	19.1	19.1	19.1	18.9
令和2年度	20.7	19.9	19.8	18.4	19.4	18.7	19.1
令和3年度	17.3	17.1	17.0	16.7	15.7	15.3	17.0

中央デイサービスセンター 1日平均利用者数の推移(単位：人)



#### (3) 関わったボランティアの人数(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2	2	2	2	2	2	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	2	18	7	0	0	41

#### (4) 主な行事

ア お花見(ドライブ) 4月1日(木)～6日(火) 参加76人

イ 花桃・鯉のぼり見学 5月3日(月) 参加17人

ウ	藤見学(前山寺)	5月4日(火)	参加18人
エ	藤見学(国分寺)	5月10日(月)～12日(水)	参加49人
オ	坂城バラ園見学	6月1日(火)～3日(木)	参加40人
カ	ラベンダー見学	7月6日(火)	参加19人
キ	あじさい見学(大宮神社)	7月7日(水)	参加14人
ク	あじさい見学(塩田・前山寺)	7月12日(月)～16日(金)	参加72人
ケ	蓮見学(国分寺)	8月2日(月)～9日(月)	参加24人
コ	七夕祭り	8月7日(土)	参加16人
サ	夏祭り	9月6日(月)～7日(火)	参加37人
シ	敬老会	9月20日(月)	参加21人
ス	コスモス見学(丸子音楽村)	10月15日(金)	参加16人
セ	運動会	10月25日(月)～27日(水)	参加59人
ソ	紅葉見学	11月4日(木)	参加83人
タ	お楽しみ会	12月13日(月)～15日(水)	参加57人
チ	節分豆まき	2月2日(火)、3日(木)	参加31人
ツ	ひな祭り	3月3日(木)、4日(金)	参加32人
テ	お誕生日会	随時	

評価・課題

利用者が快適で安心した雰囲気でも過ごせるよう職員一人ひとりが心掛け、業務に取り組んできた。

また、利用者やその家族、担当ケアマネージャーとの連絡を密に図り、個別機能訓練計画のための状況把握にも努めた。

コロナ渦で、介護ボランティア等の受入れが困難であったが、新たなレクリエーションの企画にも取り組んだ。

課題として、利用者との接し方や対応（介助方法等）について職員間で意識や情報の共有を図ってきたが、若干不十分なところがあるため、今後は更にミーティングをこまめに行って、連携していく。

## 神川デイサービスセンター事業

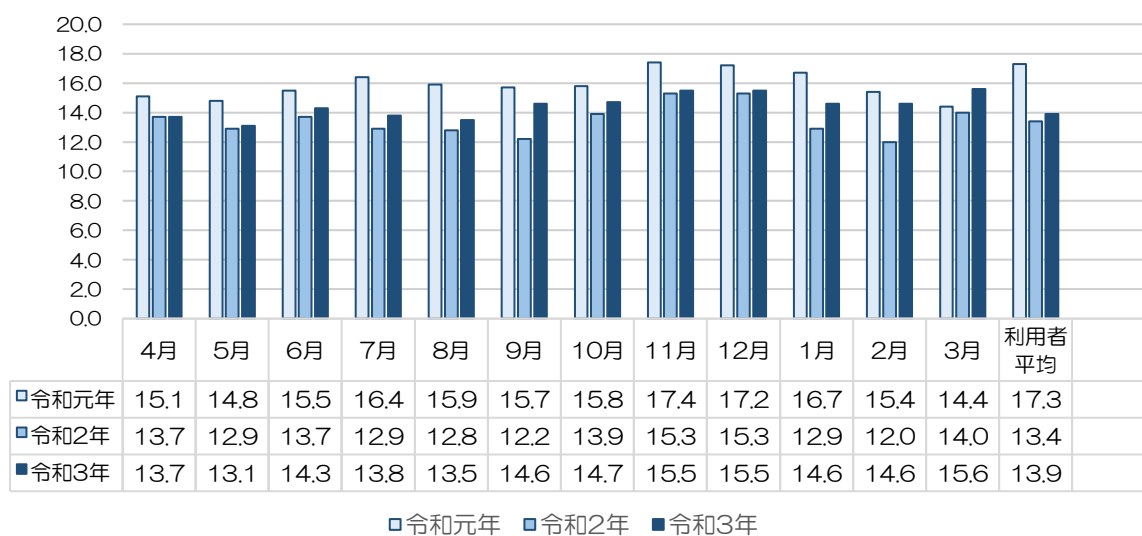
【令和3年度事業費】 40,654千円

事業実績							
(1) 利用者延べ人数(単位：人)							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者	356	340	371	373	352	379	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	382	402	404	351	351	419	4,480

(2) 1日平均利用者数(単位：人) ※1日の利用者定員 25人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和元年度	15.1	14.8	15.5	16.4	15.9	15.7	
令和2年度	13.7	12.9	13.7	12.9	12.8	12.2	
令和3年度	13.7	13.1	14.3	13.8	13.5	14.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者平均
令和元年度	15.8	17.4	17.2	16.7	15.4	14.6	17.3
令和2年度	13.9	15.3	15.3	12.9	12.0	14.0	13.4
令和3年度	14.7	15.5	15.5	14.6	14.6	15.6	13.9

神川デイサービスセンター 1日平均利用者数の推移(単位：人)



(3) 関わったボランティアの人数(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	0	1	2	4	2	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	2	34	1	0	0	47

(4) 主な行事

ア	七夕	8月7日(土)	年1回
イ	運動会	10月13日(水)から10月15日(金)	年3回
ウ	忘年会	12月15日(水)から12月17日(金)	年3回
エ	繭玉づくり	1月14日(金)	年1回
オ	誕生日会	随時	

評価・課題

コロナ渦で外出制限もあり室内活動が多くなり、レクリエーションで新しいゲームに取り組み利用者楽しんでいただけたよう心掛けた。

常に笑顔を意識して利用者に接することができるよう、朝礼で目標を復唱し、利用者が楽しい雰囲気でも過ごせるよう常に心がけ、心がこもったサービスが実施できた。

安全に運転できるよう、朝礼で目標を復唱し、交通安全運動の呼びかけ、職員会議で危険箇所、天候による危険やお盆などに増える県外車による危険、工事情報・事故情報などを共有し、具体的に安全運転を呼びかけ事故なくできた。しかし、送迎の出発時間ギリギリになり慌てて出かけることもあったため、今後も事故なく事業運営ができるよう、ゆとりを持った運転ができるように取り組んでいく。

### 30 居宅介護支援事業

【事業概要】

可能な限り住み慣れた居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況やおかれている環境等に応じた支援をする。地域との連携を図りながら、利用者に適した社会資源の活用や社会参加をすすめ、質の高いサービスの提供に努めている。

#### 介護相談センター事業

【令和3年度事業費】 30,008千円

事業実績

(1) 利用者件数(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
170.5	165.5	165	165	167	168	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
165	164	155.5	161	151	168	1965.5

(2) 認定調査状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3	2	1	2	3	3	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	6	1	4	1	1	31

(3) ケアプラン作成状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
161.5	153.5	152	151	154	150	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
149	154	146.5	143	144	160	1818.5



(4) 介護予防支援受託状況(単位：件)

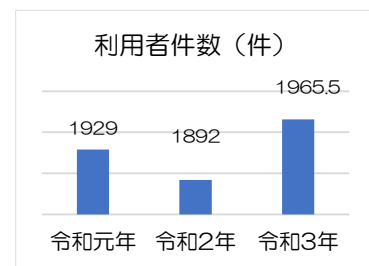
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3	3	2	2	2	2	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	4	3	4	4	4	37

(5) 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	2	1	0	1	1	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	1	0	0	1	2	9

(6) 推移(単位：件)

	令和元年	令和2年	令和3年
利用者件数	1,929	1,892	1965.5
認定調査状況	41	33	31
ケアプラン作成状況	1,825	1,662	1818.5
介護予防支援状況	4	4	37



評価・課題

毎朝と月1回のミーティングで利用者情報の共有や担当事例の検討などによって、職員全員で状況把握を行い、支援困難ケースについては複数人で対応する等の対策を取った。

本人及び家族の病気や不調（特に新型コロナウイルス感染症等に関わること）の際など在宅での生活の継続が困難な状況等の時、協力して対応することができた。

利用者に対してアンケートを実施（回収率8割以上）し、概ね良い評価をいただくことができた。

また、年間の新規利用者件数は33件であったが、それ以上に亡くなる方や、施設入所により利用者が減少した。

今後も、利用者数を増やせるよう介護予防プランも受けながら安定的な利用を図りたい。

また、災害時における利用者への緊急対応なども見直して、職員同士で更に協力し、適正に事業を継続していきたい。

# 神川介護相談センター事業

【令和3年度事業費】 17,922 千円

事業実績						
(1) 利用者件数(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
94	91	91	92	95	93	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
93	92	94	93	92	90	1,110
(2) 認定調査状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2	2	2	2	1	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	3	1	2	15
(3) ケアプラン作成状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
87	82	86	86	88	90	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
88	88	87	87.5	89	87.5	1,046
(4) 介護予防支援受託状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4	4	4	4	4	4	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	4	4	3	2	3	44
(5) 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	0	1	0	0	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	1
(6) 推移(単位：件)						
	令和元年	令和2年	令和3年			
利用者件数	1,313	1,228	1,110			
認定調査状況	20	13	15			
ケアプラン作成状況	1,517	1,116	1,046			
介護予防支援状況	8	30	44			

利用者件数 (件)

年度	利用者件数 (件)
令和元年	1,313
令和2年	1,228
令和3年	1,110

評価・課題

要介護度1、2の利用者の件数が約6割を占め、軽度利用の方が多い状況である。介護予防の件数については月平均3.6件と令和2年度と大きく変わらなかった。

認知症の診断を受けている利用者が多い中、症状の進行に伴い、在宅困難となってグループホームや特養等施設入所に移行していくケースが多かった。

また、病院への入院も多く、年間31件の新規利用の契約があったが、結果的に利用者増にはつながらなかった。

入退院、入退所時において、病院や介護老人保健施設等との連携を図っているが、引き続き文書や電話等による情報提供により、更に連携を進めていく。

コロナ禍の中、職員のスキルアップを目指し、オンラインでの研修等にも積極的に参加しながら事業を進めていく。

## 丸子介護相談センター事業

【令和3年度事業費】 16,199千円

事業実績

(1) 利用者件数(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
102.5	99	106	102	109	113	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
108	105	107	103	103.5	102.5	1260.5

(2) 認定調査状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	0	3	1	4	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	3	0	0	0	1	12

(3) ケアプラン作成状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
106.5	98	98	123	93	97	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
94	101	92	91	92.5	90.5	1176.5

(4) 介護予防支援受託状況(単位：件)

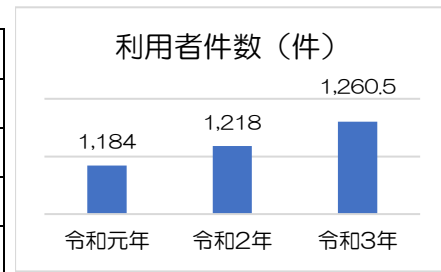
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3	3	2	2	2	2	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	4	4	2	3	3	32

(5) 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続状況(単位：件 0)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	0	0	0	2	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	1	1	4

(6) 推移(単位：件)

	令和元年	令和2年	令和3年
利用者件数	1,184	1,218	1,260.5
認定調査状況	11	9	12
ケアプラン作成状況	1,169	1,169.5	1,176
介護予防支援状況	8	26	32



評価・課題

令和3年度は、新規利用者確保に努力したが、ターミナル対応や施設への入所が多かった。

また、高齢により亡くなるなどで、介護支援専門員一人当たりの担当者数が予定よりも減少した。比較的ほかの地域よりも要介護3、4、5の方は多いものの、介護度が高い方ほど体調を崩しやすく、入院や老健施設への入所が増え、ケアプラン作成件数が減少した結果となった。今後、利用者の確保に向けて、予防プランの受託を増やすなど、長期的な視野で臨んでいきたい。

また、質の高いケアプランを提供できるよう外部研修に参加し、自己研鑽に努めるとともに、市、包括、医療のなどの多職種との連携を図りながら職員一人ひとりが危機感と責任感を持って職務を遂行していきたい。

### 3 1 児童館・児童センター事業(指定管理事業)

【令和3年度事業費】 64,277 千円

#### 上田地区児童館・児童センター事業

##### 【事業概要】

児童福祉法第40条に規定されている児童厚生施設として、上田市が設置した3児童館(朝日が丘・緑が丘・下丸子)・6児童センター(川辺町・秋和・東塩田・大星・神科・神川)を平成9年度から、下丸子児童館は、昭和58年から上田市社会福祉協議会が管理運営している。

地域の子どもたちに安心して遊べる場を提供し、いろいろな遊びや活動を通して、健康で情操豊かな子どもを育てることを目的としている。

(1) 開館時間：平日 午後1時～午後6時

土曜日や長期休み等小学校の休業日 午前9時～午後6時

※下丸子児童館のみ下記時間

平日 5月～10月 午後3時30分～午後5時30分

11月～4月 午後3時～午後5時

小学校の休業日 5月～10月 午後1時～午後5時30分

11月～4月 午後1時～午後5時

(2) 休館日：毎週日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、8月13日～8月16日、12月29日～翌年1月6日

※下丸子児童館のみ 毎週土曜日も休館

##### 事業実績

小学校からの直接来館や小学校休業日に弁当持参での利用について共働き世帯の増加により必要性が高まり、児童の登録数も年々増加傾向にある。

新型コロナウイルス感染状況に伴う措置に対応しながら、児童館の感染防止対策を徹底し取り組み、来館者の利用方法についても利用者の理解と協力を得ながら児童が安心安全で楽しく集える居場所となるよう努めた。

(1) 地区懇談会 コロナ禍のため中止

(2) 研修会への参加

・ファミリー・サポート・センター講習会  
(支援を必要としている子どもへの対応等)

・救急法講習会

・放課後子ども総合プラン研修会

(3) 利用者アンケート 実施なし

(4) その他

年間を通して、工作や手芸、ドッチボールや一輪車などの体育的活動を実施した。

また、毎月児童館だよりを発行し小学校に配布した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、安全を第一に考え、従来の行事等を見合わせた。

利用状況

(1) 上田地区児童館

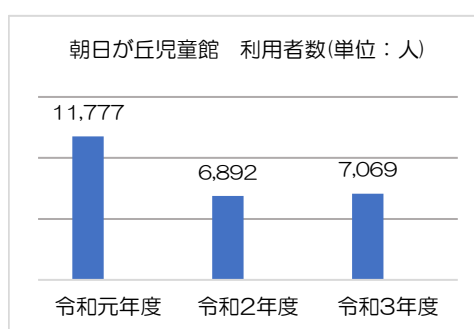
ア 朝日が丘児童館

(ア) 令和3年度利用状況

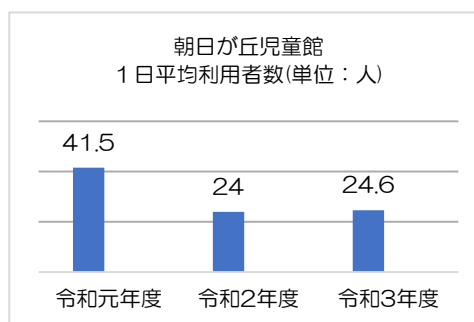
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	747	653	722	877	699	549	
開館日数(日)	25	23	26	25	22	24	
1日平均利用者(人)	29.9	28.4	27.8	35.1	31.8	22.9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	566	573	560	294	291	538	7,069
開館日数(日)	26	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	21.8	23.9	23.3	14.7	13.2	20.7	24.6

(イ) 推移

	利用者数(人)
令和元年度	11,777
令和2年度	6,892
令和3年度	7,069



	開館日数(日)
令和元年度	284
令和2年度	287
令和3年度	287



	1日平均利用者(人)
令和元年度	41.5
令和2年度	24
令和3年度	24.6

イ 緑が丘児童館

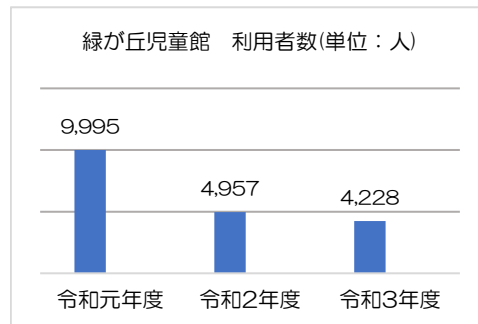
(ア) 令和3年度利用状況

※西小休校に伴う5日間の休館

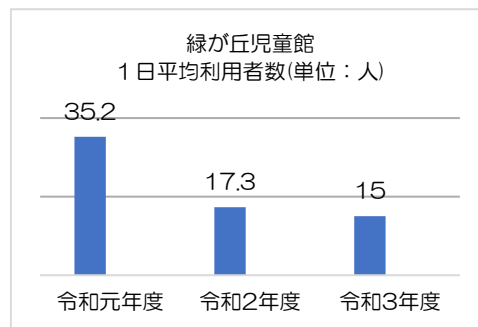
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	453	361	525	440	259	273	
開館日数(日)	25	23	26	25	22	24	
1日平均利用者(人)	18.1	15.7	20.2	17.6	11.8	11.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	341	395	407	244	212	318	4,228
開館日数(日)	26	24	24	20	17	26	282
1日平均利用者(人)	13.1	16.5	17.0	12.2	12.5	12.2	15.0

(イ) 推移

	利用者数(人)
令和元年度	9,995
令和2年度	4,957
令和3年度	4,228



	開館日数(日)
令和元年度	284
令和2年度	287
令和3年度	282



	1日平均利用者(人)
令和元年度	35.2
令和2年度	17.3
令和3年度	15

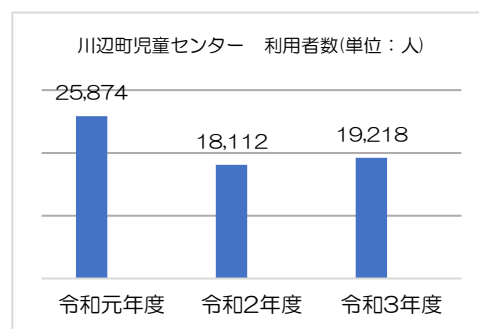
ウ 川辺町児童センター

(ア) 令和3年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	1,650	1,696	2,151	2,139	1,463	1,459	
開館日数(日)	25	23	26	25	22	24	
1日平均利用者(人)	66.0	73.7	82.7	85.6	66.5	60.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	1,535	1,619	1,631	1,173	1,093	1,609	19,218
開館日数(日)	26	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	59.0	67.5	68.0	58.7	49.7	61.9	67.0

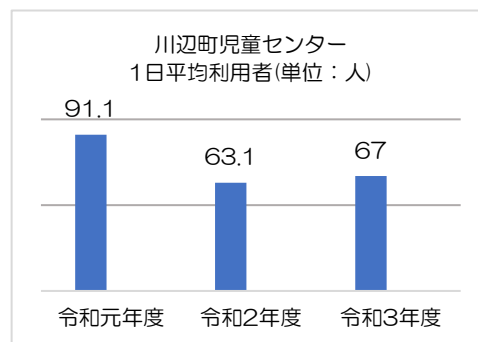
(イ) 推移

	利用者数(人)
令和元年度	25,874
令和2年度	18,112
令和3年度	19,218



	開館日数(日)
令和元年度	284
令和2年度	287
令和3年度	287

	1日平均利用者(人)
令和元年度	91.1
令和2年度	63.1
令和3年度	67



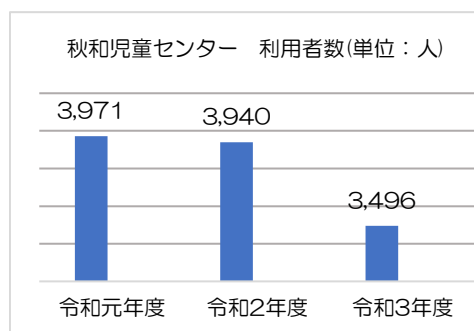
エ 秋和児童センター

(ア) 令和3年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	660	427	528	509	213	180	
開館日数(日)	25	23	26	25	22	24	
1日平均利用者(人)	26.4	18.6	20.3	20.4	9.7	7.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	302	256	174	62	52	133	3,496
開館日数(日)	26	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	11.6	10.7	7.3	3.1	2.4	5.1	12.2

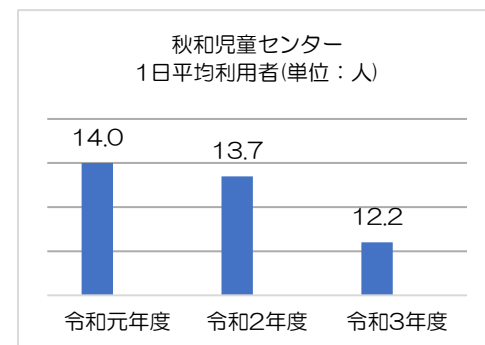
(イ) 推移

	利用者数(人)
令和元年度	3,971
令和2年度	3,940
令和3年度	3,496



	開館日数(日)
令和元年度	284
令和2年度	287
令和3年度	287

	1日平均利用者(人)
令和元年度	14.0
令和2年度	13.7
令和3年度	12.2





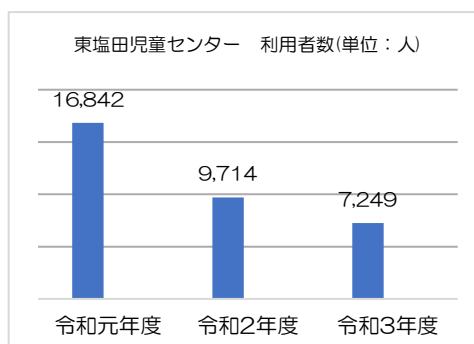
オ 東塩田児童センター

(ア)令和3年度利用状況

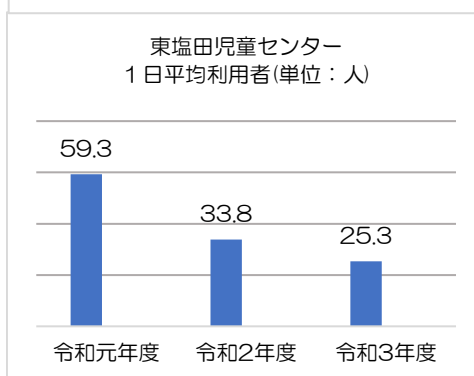
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	692	631	802	784	504	656	
開館日数(日)	25	23	26	25	22	24	
1日平均利用者(人)	27.7	27.4	30.8	31.4	22.9	27.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	720	406	705	478	441	430	7,249
開館日数(日)	26	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	27.7	16.9	29.4	23.9	20.0	16.5	25.3

(イ)推移

	利用者数(人)
令和元年度	16,842
令和2年度	9,714
令和3年度	7,249



	開館日数(日)
令和元年度	284
令和2年度	287
令和3年度	287



	1日平均利用者(人)
令和元年度	59.3
令和2年度	33.8
令和3年度	25.3

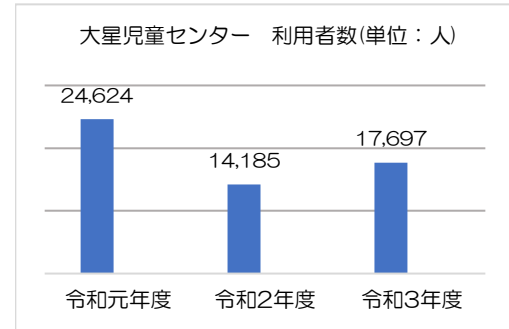
カ 大星児童センター

(ア)令和3年度利用状況

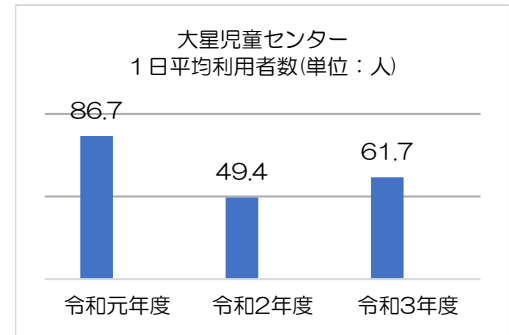
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	1,519	1,607	1,909	1,787	1,243	1,438	
開館日数(日)	25	23	26	25	22	24	
1日平均利用者(人)	60.8	69.9	73.4	71.5	56.5	59.9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	1,716	1,754	1,660	1,054	936	1,074	17,697
開館日数(日)	26	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	66.0	73.1	69.2	52.7	42.5	41.3	61.7

(イ) 推移

	利用者数(人)
令和元年度	24,624
令和2年度	14,185
令和3年度	17,697



	開館日数(日)
令和元年度	284
令和2年度	287
令和3年度	287



	1日平均利用者(人)
令和元年度	86.7
令和2年度	49.4
令和3年度	61.7

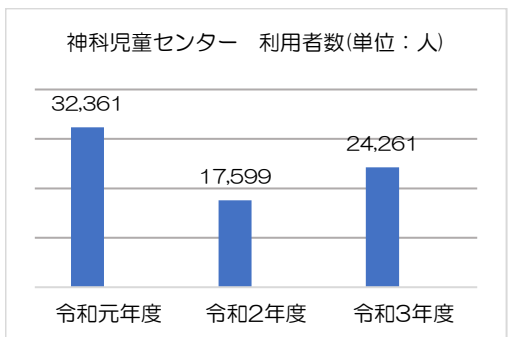
キ 神科児童センター

(ア) 令和3年度利用状況

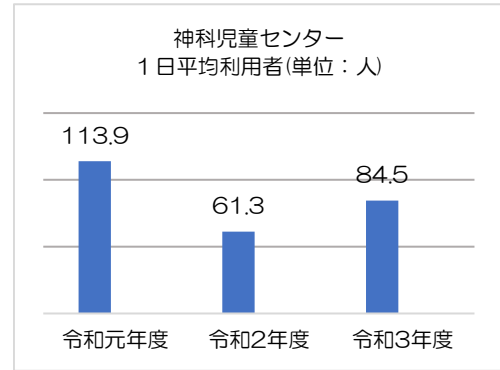
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	2,216	2,171	2,431	2,213	1,991	2,007	
開館日数(日)	25	23	26	25	22	24	
1日平均利用者(人)	88.6	94.4	93.5	88.5	90.5	83.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	2,216	2,147	2,122	1,423	1,456	1,868	24,261
開館日数(日)	26	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	85.2	89.5	88.4	71.2	66.2	71.8	84.5

(イ) 推移

	利用者数(人)
令和元年度	32,361
令和2年度	17,599
令和3年度	24,261



	開館日数(日)
令和元年度	284
令和2年度	287
令和3年度	287



	1日平均利用者(人)
令和元年度	113.9
令和2年度	61.3
令和3年度	84.5

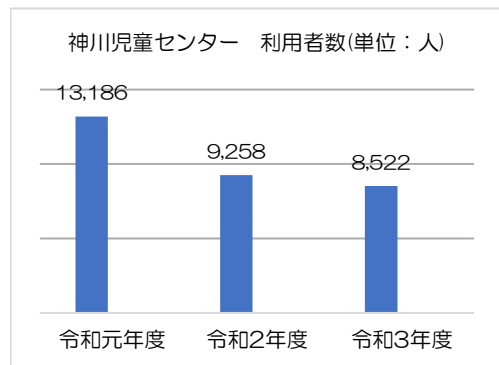
ク 神川児童センター

(ア) 令和3年度利用状況

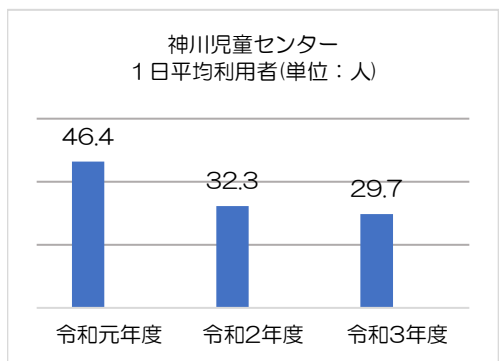
	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数(人)	831	820	943	831	600	721		
開館日数(日)	25	23	26	25	22	24		
1日平均利用者(人)	33.2	35.7	36.3	33.2	27.3	30.0		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
利用者数(人)	763	701	742	551	523	496	8,522	
開館日数(日)	26	24	24	20	22	26	287	
1日平均利用者(人)	29.3	29.2	30.9	27.6	23.8	19.1	29.7	

(イ) 推移

	利用者数(人)
令和元年度	13,186
令和2年度	9,258
令和3年度	8,522



	開館日数(日)
令和元年度	284
令和2年度	287
令和3年度	287



	1日平均利用者(人)
令和元年度	46.4
令和2年度	32.3
令和3年度	29.7

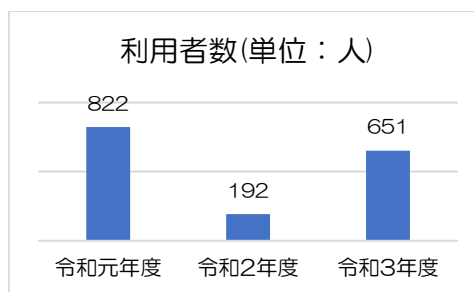
ケ 下丸子児童館

(ア) 令和3年度利用状況

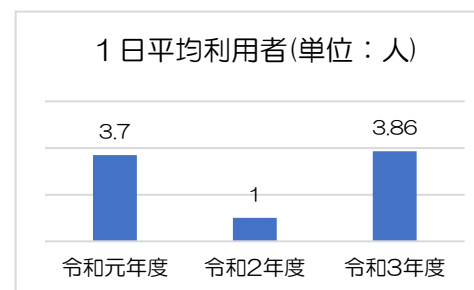
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	73	116	120	127	48	29	
開館日数(日)	21	18	22	20	19	8	
1日平均利用者(人)	3.5	6.4	5.5	6.4	2.5	3.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	55	31	51	1	0	0	651
開館日数(日)	19	20	19	3	0	0	169
1日平均利用者(人)	2.9	1.6	2.7	0.3	0	0	3.86

(イ) 推移

	利用者数(人)
令和元年度	822
令和2年度	192
令和3年度	651



	開館日数(日)
令和元年度	225
令和2年度	201
令和3年度	169



	1日平均利用者(人)
令和元年度	3.7
令和2年度	1.0
令和3年度	3.86

コ 上田地区児童館(9館)

(ア) 令和3年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	8,841	8,482	10,131	9,707	7,020	7,312	
開館日数(日)	221	202	230	220	195	200	
1日平均利用者(人)	40.0	42.0	44.0	44.1	36.0	36.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	8,214	7,882	8,056	5,280	5,004	6,466	92,395
開館日数(日)	227	212	211	163	171	208	2,460
1日平均利用者(人)	36.2	37.2	38.2	32.4	39.4	31.1	37.6

(イ) 推移	
	利用者数(人)
令和元年度	139,452
令和2年度	84,873
令和3年度	92,395
	開館日数(日)
令和元年度	2,497
令和2年度	2,497
令和3年度	2,460
	1日平均利用者(人)
令和元年度	55.8
令和2年度	34.0
令和3年度	37.6

上田地区児童館(9館)  
利用者数(単位：人)

年度	利用者数(人)
令和元年度	139,452
令和2年度	84,873
令和3年度	92,395

上田地区児童館(9館)  
1日平均利用者(単位：人)

年度	1日平均利用者(人)
令和元年度	55.8
令和2年度	34.0
令和3年度	37.6

**評価・課題**

新型コロナウイルス感染症収束の兆しが見えない中、低学年を優先した来館や自由来館時の事前連絡等、利用者の理解と協力をいただき、感染対策を徹底することができた。

また、手洗い、手指消毒、検温、マスク着用、換気、館内消毒をしっかりと行った。開催を見合わせた行事もあったが、友達同士関わり合いながら児童が多様な体験や活動ができるよう進めてきた。

施設内外の安全点検を毎月実施し、避難訓練の実施や救急法の講習会に参加し、安全管理に努め、特徴がある児童について職員同士の共通理解を図り、個々に合った分かりやすい支援に心がけ、保護者や小学校専門機関と連携を取りながら対応した。

コロナ禍のため自由来館利用ができない期間が続き、本来児童センターが担うべき役割を果たすことが難しく、感染状況の収束を願うとともに、児童館の規模や地域性に合わせた柔軟な対応を検討していきたい。

今後も利用者にとって信頼される児童館となるよう毎年現状を見直し、職員の資質向上に努め、児童や保護者の安心安全につなげていきたい。

## 3 2 その他の事業

### 団体事務局

(1) 上田地区センター

ア 上田市高齢者クラブ連合会

上田市高齢者クラブ連合会は4地域(上田、丸子、真田、武石)の活動の交流や長野県シニアクラブ連合会の事業への参加等を行っている。

(ア) 高齢者クラブ数 96 単位クラブ 会員 4,712 人

(イ) 長野県シニアクラブ連合会等主催行事への参加

- ・東信地区 ブロック研修会 6月17日(木) 19人参加  
真田地区 つくし寿会 活動報告する。
- ・東信地区 女性指導者研修会 7月15日(木) 17人参加
- ・マレットゴルフ大会 塩田の郷マレットゴルフ場 9月22日(水) 8人参加  
上田Bチームが優勝する。
- ・第61回長野県シニアクラブ大会 10月22日(金) 24人参加  
真田地区 つくし寿会が活動賞を授与される。

(ウ) 大会、講習会等の合同開催について

- ・第39回 三世代ファミリースポーツ大会(ゲートボール) 8月8日(日)  
コロナ禍のため中止
- ・第14回マレットゴルフ大会 10月14日(木) 102人参加
- ・男性料理教室 11月下旬から12月上旬 コロナ禍のため中止  
代替えとしてレシピカレンダーを作成し、会員に配布

(エ) 役員会の開催

- ・会計監査 4月20日(火)
- ・正副会長会議 4月20日(火) 上平氏会長に推薦される。
- ・理事会 4月20日(火) 議事 新役員、事業報告、会計決算、事業計画、  
予算、会則改定が承認される。
- ・上田市市長、上田市社会福祉協議会長へ表敬訪問 1月7日(金)
- ・正副会長、事務局会議 1月7日(金)  
議事：事業報告、事業計画、会則の変更、新役員について

イ 上田地域福寿クラブ連合会

上田地域福寿クラブ連合会の活動は、健康長寿、フレイル予防、引きこもり防止のため各種シルバースポーツの推進、生きがいと健康づくりの推進の維持、継続を行う。

(ア) 高齢者クラブ数 40 単位クラブ 会員 2,184 人

(イ) 正副会長関係

- ・令和2年度会計監査 4月2日(金)
- ・総務教養、女性部会議 4月5日(月)
- ・社会福祉、保健部会議 4月6日(火)
- ・理事会、代議員会 4月13日(火)
- ・表彰審査委員会(福寿クラブ会長表彰) 5月7日(金)
- ・第37回福寿クラブ連合会定期大会 6月4日(金) コロナ禍のため中止
- ・県シニア連 東信地区ブロック研修会 6月17日(木) 19人参加
- ・福寿クラブ指導者(単位クラブ会長)研修会 6月22日(火)
- ・県シニア連 東信地区女性指導者研修会 7月15日(木) 17人参加
- ・理事会 8月20日(金) コロナ禍のため中止
- ・第61回長野県シニアクラブ大会 10月22日(金) 24人参加
- ・他県老連交流会 11月9日(火)～10日(水) コロナ禍のため中止
- ・人権啓発担当者研修会 11月27日(土) 4人参加

- ・人権を考える市民のつどい 11月28日(日) UCVによるリモート開催
  - ・正副会長会 1月18日(火) コロナ禍のため中止
  - ・理事会 2月16日(水) コロナ禍のため中止
  - ・通年事業：金婚祝賀事業(昭和46年結婚夫婦) 25組
  - ・お茶のみサロン設置事業 21クラブ
  - ・新規加入会員募集 76人加入
- (ウ) 総務教養部関係
- ・総務教養部会 4月5日(月)
  - ・第37回福寿クラブ連合会定期大会 6月4日(金) コロナ禍のため中止
  - ・福寿だより編集委員会 8月30日(月)  
コロナ禍により編集委員会は行わず郵送にて各委員宅にて原稿確認
  - ・第84号「うえだ福寿だより」発行 10月1日(土)
  - ・第61回長野県シニアクラブ大会 10月22日(金) 24人参加
  - ・他県老連交流会 11月9日(火)～10日(水) コロナ禍のため中止
  - ・人権啓発担当者研修会 11月27日(土) 4人参加
  - ・人権を考える市民のつどい 11月28日(日) UCVによるリモート開催
  - ・福寿だより編集委員会 1月25日(火)  
コロナ禍により編集委員会は行わず郵送にて各委員宅にて原稿確認
  - ・第85号「うえだ福寿だより」発行 3月1日(火)
- (エ) 保健部関係
- ・保健部会 4月6日(火)
  - ・第4回福寿連グラウンド・ゴルフ大会 5月12日(水) 46人参加
  - ・第29回スマイルボウリング大会 6月9日(水) 170人参加
  - ・第39回ファミリーゲートボール大会 8月8日(日) コロナ禍のため中止
  - ・第29回福寿連ゲートボール大会 9月1日(水) コロナ禍のため中止
  - ・県シニア連 マレットゴルフ大会 9月1日(水) 8人参加
  - ・男性料理教室事前打合せ 10月4日(月)  
教室はコロナ禍のため中止とし、レシピカレンダーを作成し配布
  - ・第23回福寿連マレットゴルフ大会 10月5日(火) 94人参加
  - ・第14回市高齢者クラブ マレットゴルフ大会 10月14日(木) 102人参加
  - ・シルバースポーツ教室 1月26日(水)～2月7日(月)  
コロナ禍のため 中止
  - ・ファミリースマイルボウリング大会 3月21日(月) コロナ禍のため中止
- 通年事業：パソコン教室 前期4月開講 受講者32人  
後期10月開講 受講者32人
- (オ) 社会福祉部関係
- ・社会福祉部会 4月6日(火)
  - ・寝たきり老人調査依頼 6月下旬
  - ・前期ふれあい献金事業開始 9月～
  - ・寝たきり会員訪問活動(紙おむつ配布) 9月6日、7日 各支部指定場所 44人
  - ・第43回うえだ市民ふれあい広場 10月9日(土) コロナ禍のため中止

- ・後期ふれあい献金事業開始 2月～ 献金額 354,013円
- (カ) 女性部関係
  - ・女性部会 4月 5日(月)
  - ・県シニア連 東信地区女性指導者研修会 7月15日(木) 17人参加
  - ・男性料理教室事前打合せ 10月4日(月)
  - 教室はコロナ禍のため中止とし、レシピカレンダーを作成し配布
  - ・女性部会(ふれあい広場準備会) 10月 4日(月) コロナ禍のため中止
  - ・第43回うえだ市民ふれあい広場 10月 9日(土) コロナ禍のため中止
  - ・赤い羽根共同募金運動参加 10月1日(火) 7人参加
- (キ) 女性部 理事関係
  - ・理事会 4月13日(火)
  - ・第37回福寿クラブ連合会定期大会 6月 4日(金) コロナ禍のため中止
  - ・県シニア連 東信地区女性指導者研修会 7月15日(木) 17人参加
  - ・理事会 8月20日(金) コロナ禍のため中止
  - ・第61回長野県シニアクラブ大会 10月22日(金) 24人参加
  - ・他県老連交流会 11月9日(火)～10日(水) コロナ禍のため中止
  - ・理事会 2月16日(水) コロナ禍のため中止

ウ 上田市遺族会

- (ア) 役員総会 4月22日(木)
- (イ) 全国戦没者追悼式 8月15日(土) コロナ禍のため、参列取り止め
- (ウ) 長野県護国神社参拝 10月22日(金)
- (エ) 令和3年度長野県戦没者遺族大会 10月22日(金)
- (オ) 令和3年度長野県戦没者追悼式 10月23日(土)
- (カ) 上田市遺族会主催 命の写真パネル展 11月24日(水)～11月26日(金)
- (キ) 令和3年度上田市戦没者追悼式 11月25日(木)
- (ク) 令和3年度上田市戦没者遺族大会 11月25日(木)

(2) 丸子地区センター

ア 丸子地域高齢者クラブ連合会事務局

(ア) 高齢者クラブ数 32単位クラブ 1,243人

(イ) 会議、行事等

- ・丸子地域高齢者クラブ連合会総会 4月15日(木) コロナ禍のため中止(書面議決)
- ・県シニアクラブブロック研修会 6月17日(木)
- ・県シニアクラブ女性指導者研修会 7月15日(木)
- ・いきいきフェスティバル(シルバー作品展) 7月23日(金)、24日(土)
- コロナ禍のため中止
- ・第26回丸子地域シルバースポーツ大会 9月22日(水) コロナ禍のため中止
- ・県シニアクラブマレットゴルフ大会 9月22日(水)
- ・上田市高連マレットゴルフ大会 10月14日(木)
- ・第61回長野県シニアクラブ大会 10月22日(金)
- ・女性部手芸講習会 10月29日(金)



- ・役員研修会（県内木曾方面） 12月 2日（木）
- ・冬季スポーツ交流会（全4回）12月6日（月）、1月20日（木）、2月22日（火）、3月17日（木） コロナ禍のため中止
- ・他 三役会、理事会、監査 5回開催

イ 上田市丸子地区赤十字奉仕団

（ア） 炊き出し訓練

- 丸子第1・第2地区対象の炊き出し訓練 8月29日（土） コロナ禍のため中止
- まるこ福祉会0円スーパー・0円食堂 12月19日（日）7人参加

（イ） 講習会

上田市出前ときめき講座上田市の防災対策講座開催 10月28日（木）

講師 上田市危機管理防災課 土屋大地氏 21人参加

救急法講習会 6月30日（水）、2月2日（水） コロナ禍のため中止

（ウ） 視察研修

日本赤十字社長野県支部 9月 コロナ禍のため中止

(3) 真田地区センター

ア 真田地域長寿会

（ア） 高齢者クラブ数 13単位クラブ 会員782人

（イ） 会議、行事等

- ・第62回 総代会 5月17日（月） コロナ禍のため中止、書面議決
- ・東信地区市町村シニアクラブブロック研修会 6月17日（木）
- ・真田地域マレットゴルフ大会 6月18日（金）
- ・真田地域マレットゴルフ大会 7月29日（木）
- ・シニアクラブ女性指導者研修会 7月15日（木）
- ・金婚祝いお届け 9月11日（土）
- ・第43回体育祭 10月27日（水）
- ・第33回ふれあい広場 in さなだ 9月11日（土） コロナ禍のため中止
- ・さわやかゲートボール大会 10月5日（火）
- ・にこにこ健康教室 10月14日（水）
- ・第61回長野県シニアクラブ連合会大会（岡谷市） 10月22日（金）
- ・第12回高齢者の健康を考えるつどい 2月9日（土） コロナ禍のため中止  
代替：高齢者の健康に関する資料配布 2月17日（木）
- ・視察研修 長野市長沼地区 3月1日（火） コロナ禍のため中止  
代替：防災講演と資料配布 3月22日（火）
- ・他正副会長・相談役会、役員会、総会 8回開催
- ・伝承広場の開催 長地区：7月16日（金）実施 他3地区コロナ禍のため中止

(4) 武石地区センター

ア 武石高齢者クラブ

（ア） 地区高齢者クラブ 11単位クラブ 会員 500人

（イ） 会議・行事

- ・評議員会（総会） 4月14日（水）、3月16日（水）
- ・上田市高齢者クラブ連合会理事会 4月20日（火）
- ・ともしび洗濯物たたみ奉仕活動 5月～12月（15回） 述べ35人参加
- ・マレットゴルフ大会 5月28日（金）42人、10月8日（金） 36人参加
- ・県シニアクラブ連合会東信ブロック研修会 6月17日（金） 正副会長参加
- ・県シニアクラブ連合会女性指導者研修会 7月15日（木） 3人参加
- ・ニュースポーツ大会 7月29日（木）38人、2月2日（水）コロナ禍のため中止
- ・女性部講習会（カードケース作り）10月～1月（6回）32人参加
- ・県シニアマレットゴルフ大会 9月22日（水） 2人参加
- ・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 10月14日（木） 14人参加
- ・第61回長野県シニアクラブ大会 10月22日（金）正副会長参加
- ・役員研修旅行 11月12日（金） 15人参加
- ・上田市高齢者クラブ連合会正副会長会 1月7日（金） 会長参加

#### イ 武石もみじ会

- （ア）春の研修会 コロナ禍のため中止
- （イ）秋の研修会 11月29日（月） 9人参加
- （ウ）総会 6月24日（水）

#### ウ 武石身体障害者福祉協会

- （ア）第48回上小地区障がい者スポーツ大会 コロナ禍のため中止
- （イ）第21回長野県障がい者スポーツ大会 コロナ禍のため中止
- （ウ）視察研修 11月29日（月） 2人参加
- （エ）総会 3月12日（金）

#### エ 武石遺族会

- （ア）役員会 6月28日（月）
- （イ）武石地区靖国霊社祭 11月18日（木）

## 実行委員会事務局

### (1) 上田地区センター

#### ア うえだ市民ふれあい広場実行委員会

コロナ禍のため、うえだ市民ふれあい広場が中止となり、実行委員会は開催しなかった。

### (2) 丸子地区センター

#### ア いきいきフェスティバル実行委員会

コロナ禍のため、交流事業は中止し、慶祝集合写真撮影のみ実施した。

- ・7月30日（金）上田市丸子文化会館 小ホール
- ・慶祝集合写真（米寿：24人、白寿：1人、金婚式：11組）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度に引き続き祭典方式は取らず、慶祝集合写真撮影のみの実施で縮小開催とした。写真撮影も完全予約制の形を取り、感染予防対策に留意し実施した。